

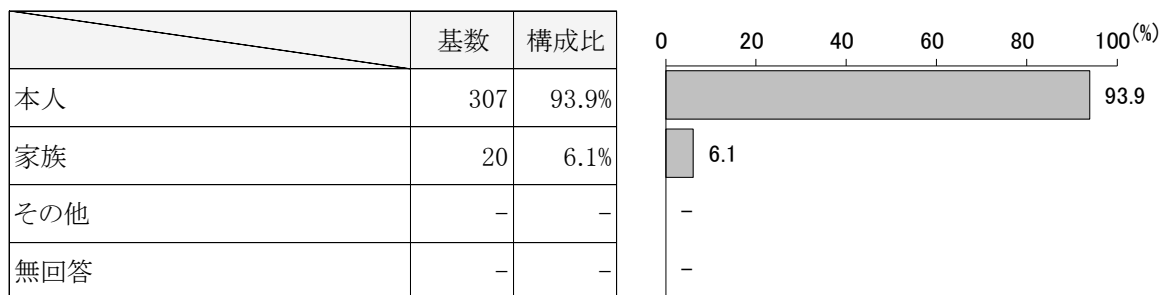
第3章 一般市民実態調査

1. 基本属性

(1) 回答者

問1 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。(○印は1つ)

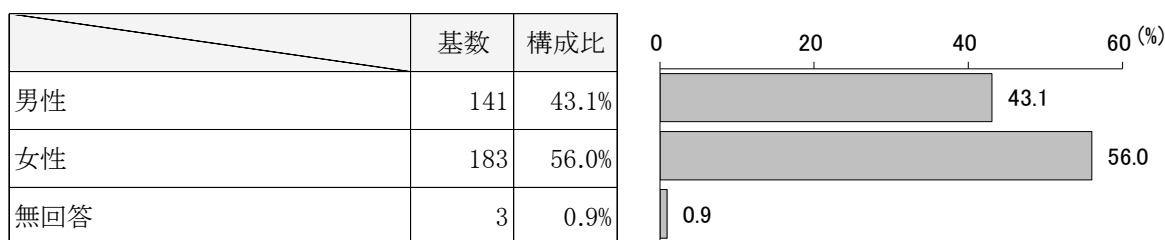
図表1-1-1 回答者 全体



(2) 性別

問2 あなた(あて名のご本人:以下の問も同じです)の性別はどちらですか。(○印は1つ)なお、未記入のままお進みいただいてもかまいません。

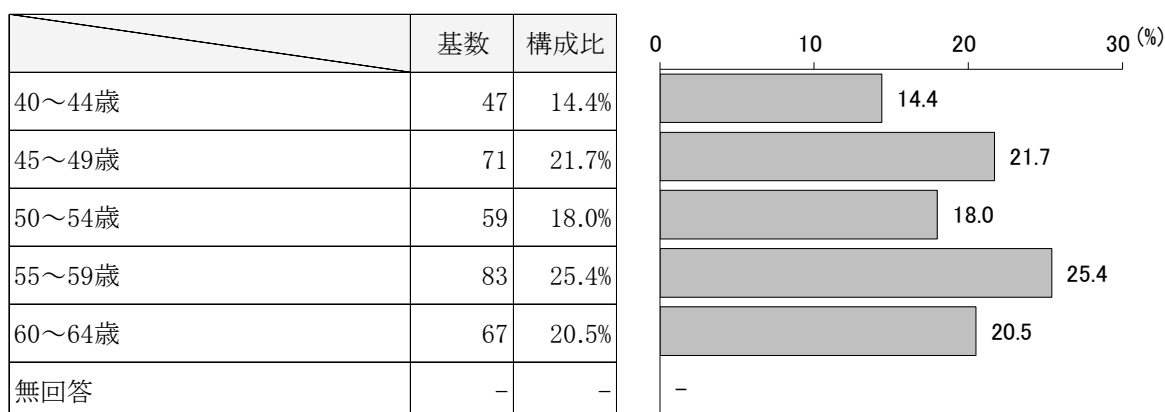
図表1-2-1 性別 全体



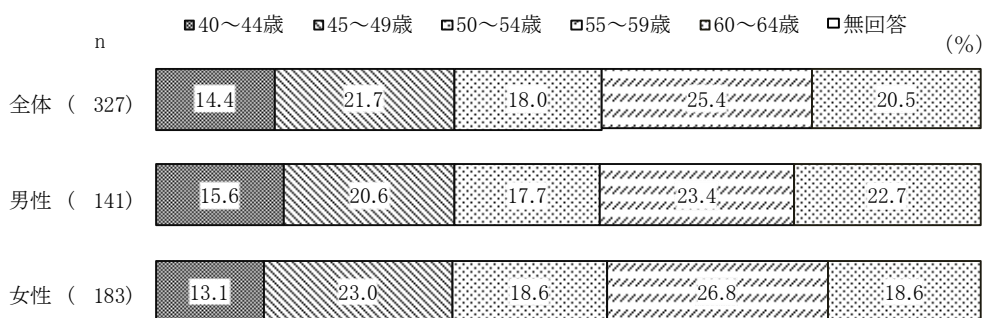
(3) 年齢

問3 あなたの年齢は次のうちのどれですか。(○印は1つ)

図表1-3-1 年齢 全体



図表1-3-2 年齢 性別

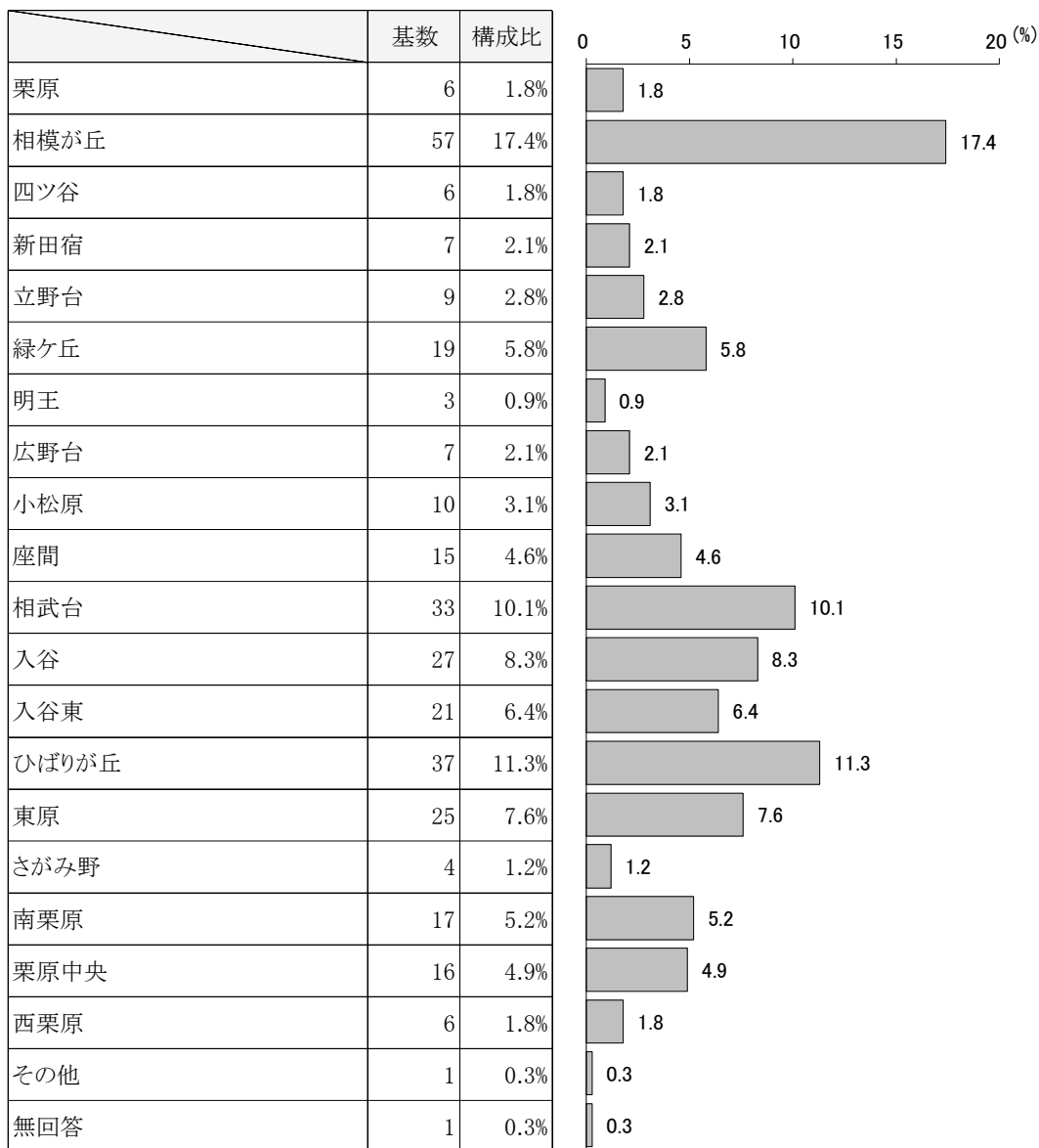


性別にみると、男女とも「55～59歳」が最も高くなっている。

(4) 居住地

問6 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○印は1つ)

図表1-4-1 居住地 全体

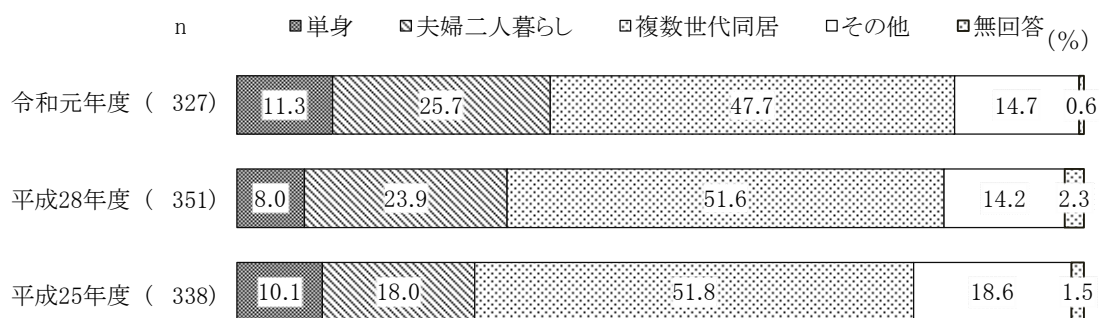


2. あなた自身のことについて

(1) 家族構成

問4 家族構成は次のうちのどれですか。(○印は1つ)

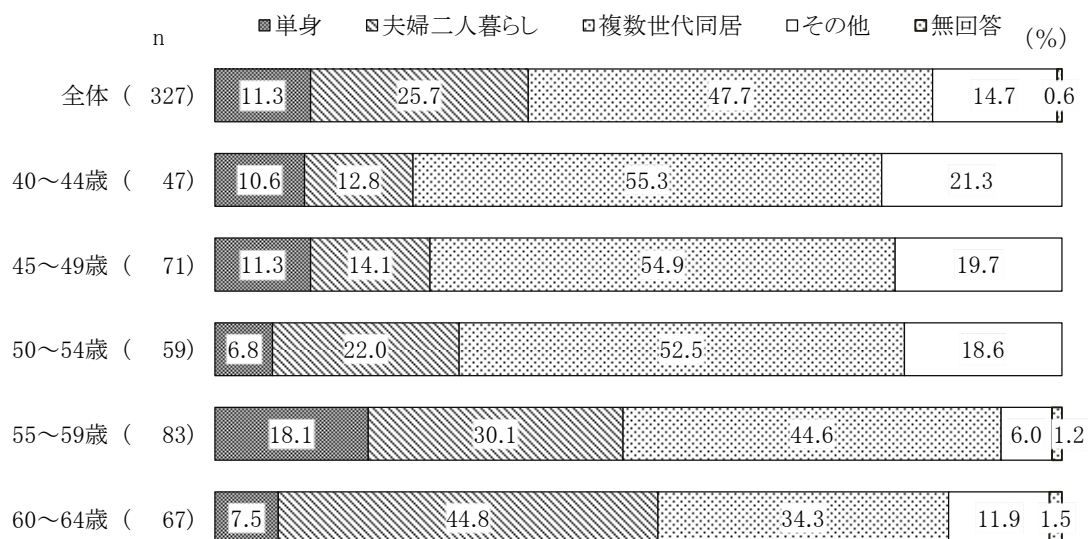
図表2-1-1 家族構成 全体



家族構成については、「複数世代同居」(47.7%)が最も高かった。以下、「夫婦二人暮らし」(25.7%)、「その他」(14.7%)、「単身」(11.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「単身」が3.3ポイント、「夫婦二人暮らし」が1.8ポイント高く、「複数世代同居」3.9ポイント低くなっている。

図表2-1-2 家族構成 年齢別

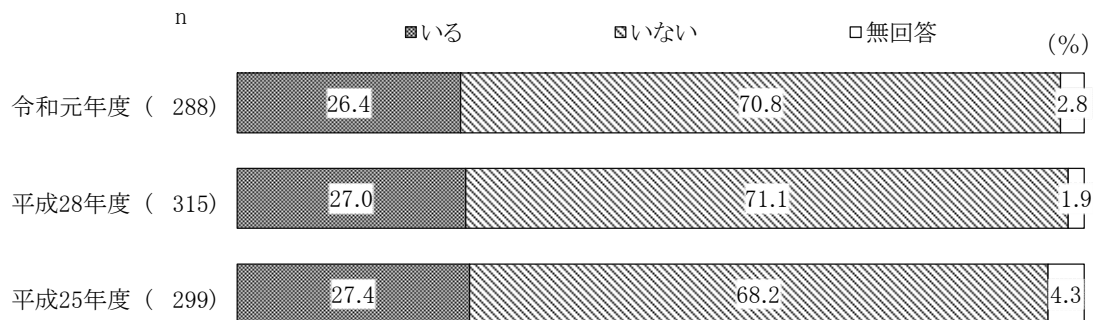


年齢別にみると、「複数世代同居」は40～44歳が55.3%で最も高く、次いで45～49歳が54.9%、50～54歳が52.5%となっている。「夫婦二人暮らし」は60～64歳が44.8%で最も高く、次いで55～59歳が30.1%、50～54歳が22.0%となっている。「単身」は55～59歳が18.1%で最も高く、次いで45～49歳が11.3%、40～44歳が10.6%となっている。

(2) 65歳以上の家族がいるか

問4-1 問4で「2. 3. 4」と回答した方のみお答えください。
65歳以上の家族がいますか。(○印は1つ)

図表2-2-1 65歳以上の家族がいるか 全体



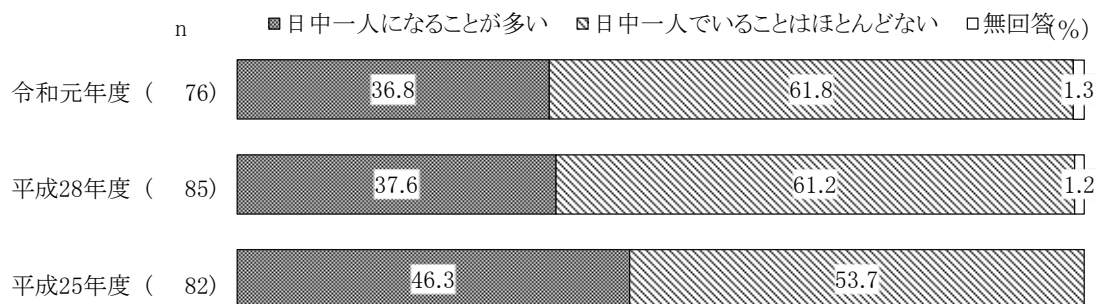
65歳以上の家族がいるかについては、「いない」が70.8%を占めていた。一方、「いる」は26.4%となっている。

前回調査と比較すると、「いる」が0.6ポイント低くなっている。

(3) 65歳以上の家族は日中1人か

問4-2 問4-1で「1. いる」と回答した方のみお答えください。
65歳以上の家族は日中、1人ですか。(○印は1つ)

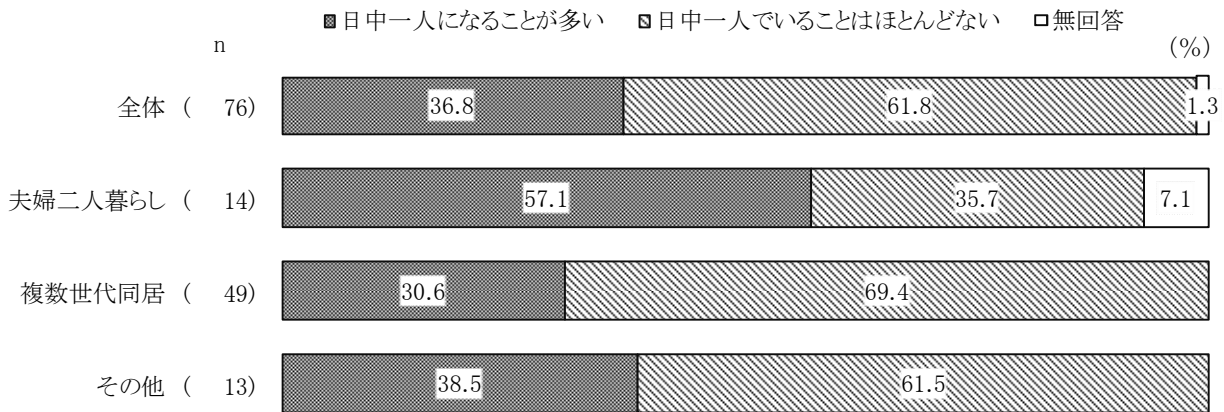
図表2-3-1 65歳以上の家族は日中1人か 全体



65歳以上の家族は日中1人かについては、「日中一人であることはほとんどない」が61.8%を占めていた。一方、「日中一人になることが多い」は36.8%となっている。

前回調査と比較すると、「日中一人であることはほとんどない」が0.6ポイント高く、「日中一人になることが多い」が0.8ポイント低くなっている。

図表2-3-2 65歳以上の家族は日中1人か 家族構成別

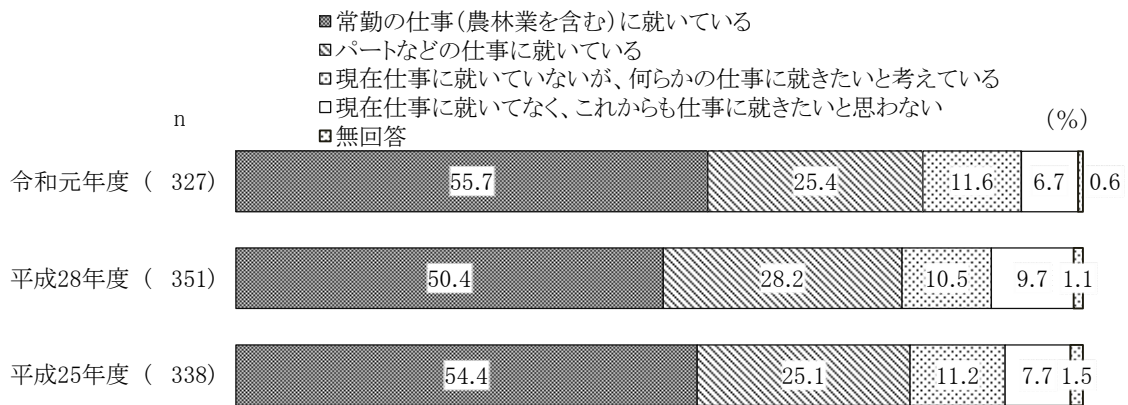


家族構成別にみると、「日中一人であることはほとんどない」は複数世代同居で69.4%と高い。

(4) 就業状況

問5 あなたは、現在、仕事をしていますか。(○印は1つ)

図表2-4-1 就業状況 全体



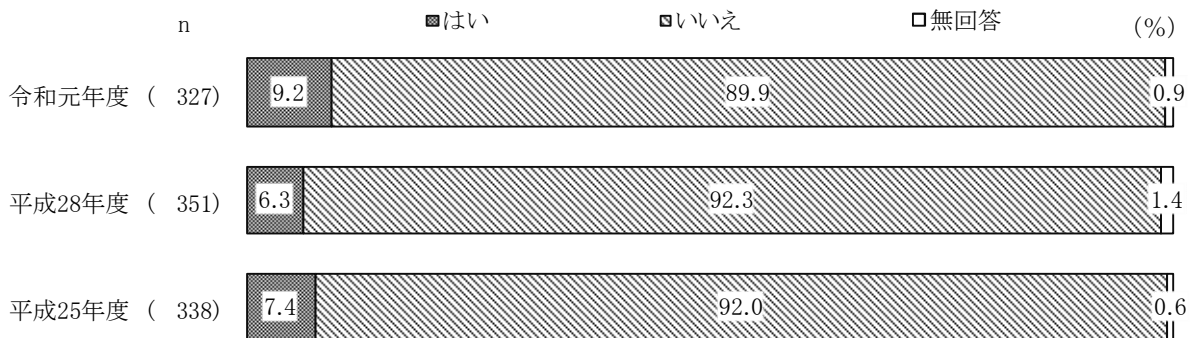
就業状況については、「常勤の仕事（農林業を含む）に就いている」（55.7%）が最も高かった。以下、「パートなどの仕事に就いている」（25.4%）、「現在仕事に就いていないが、何らかの仕事に就きたいと考えている」（11.6%）、「現在仕事に就いてなく、これからも仕事に就きたいと思わない」（6.7%）となっている。

前回調査と比較すると、「常勤の仕事（農林業含む）に就いている」が5.3ポイント高く、「パートなどの仕事に就いている」が2.8ポイント、「現在は仕事に就いてなく、これからも仕事に就きたいとは思わない」が3.0ポイント低くなっている。

(5) 現在、家族の介護をしているか

問7 あなたは、現在、家族を介護していますか。(○印は1つ)

図表2-5-1 現在、家族の介護をしているか 全体



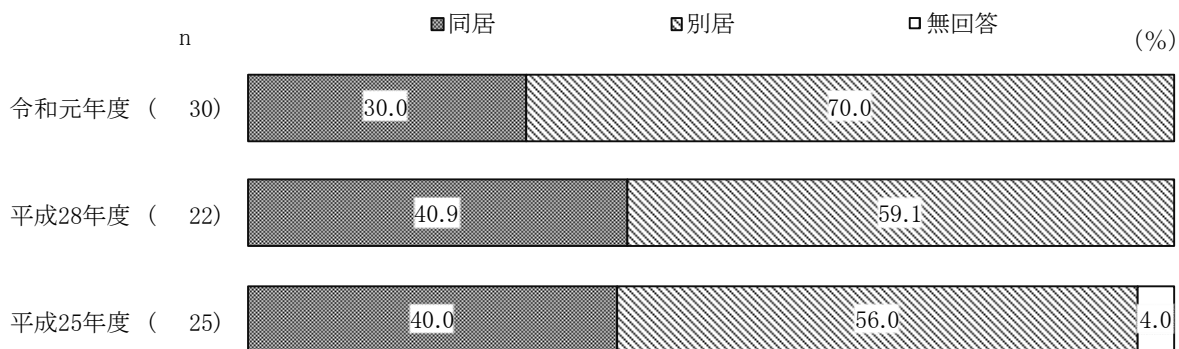
現在、家族の介護をしているかについては、「いいえ」が89.9%を占めていた。一方、「はい」は9.2%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が2.9ポイント高くなっている。

(6) 介護している家族は同居か

問7-1 問7で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
介護をしている家族の方は同居ですか。別居ですか。(○印は1つ)

図表2-6-1 介護している家族は同居か 全体



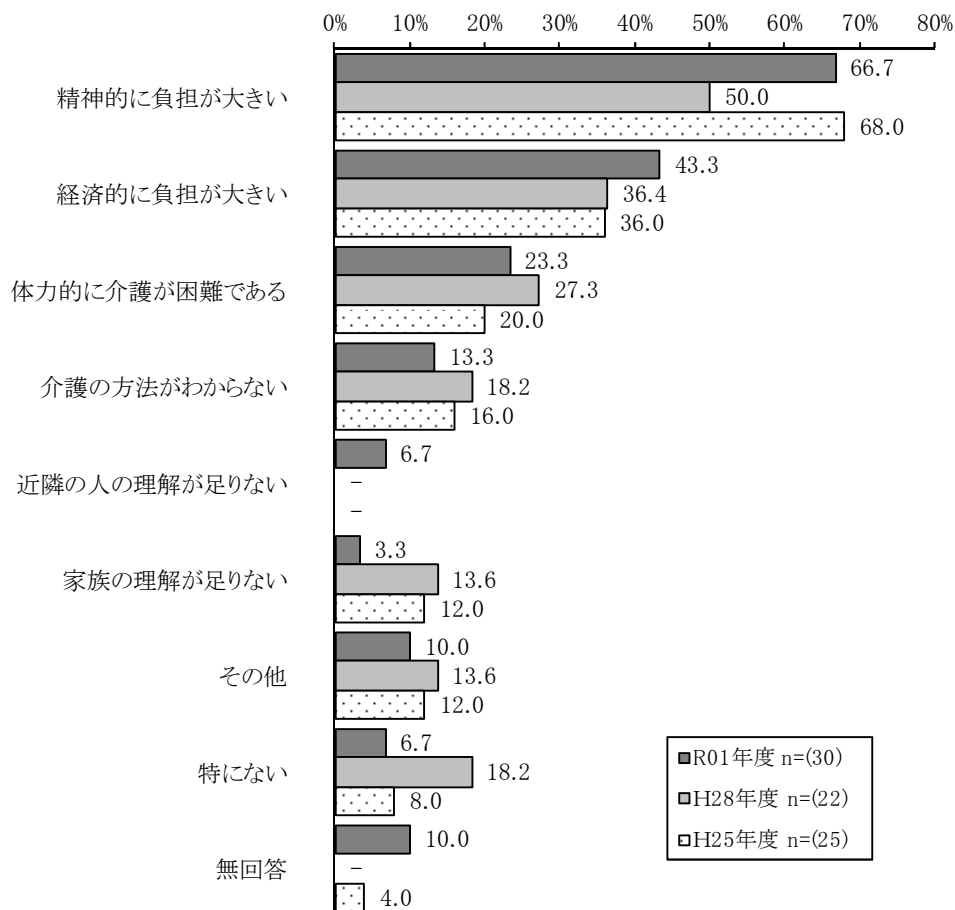
介護をしている家族は同居かについては、「別居」が70.0%を占めていた。一方、「同居」は30.0%となっている。

前回調査と比較すると、「別居」が10.9ポイント高く、「同居」が10.9ポイント低くなっている。

(7) 介護を行う上で困っていること

問7-2 問7で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
 介護を行う上で困っていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-7-1 介護を行う上で困っていること 全体



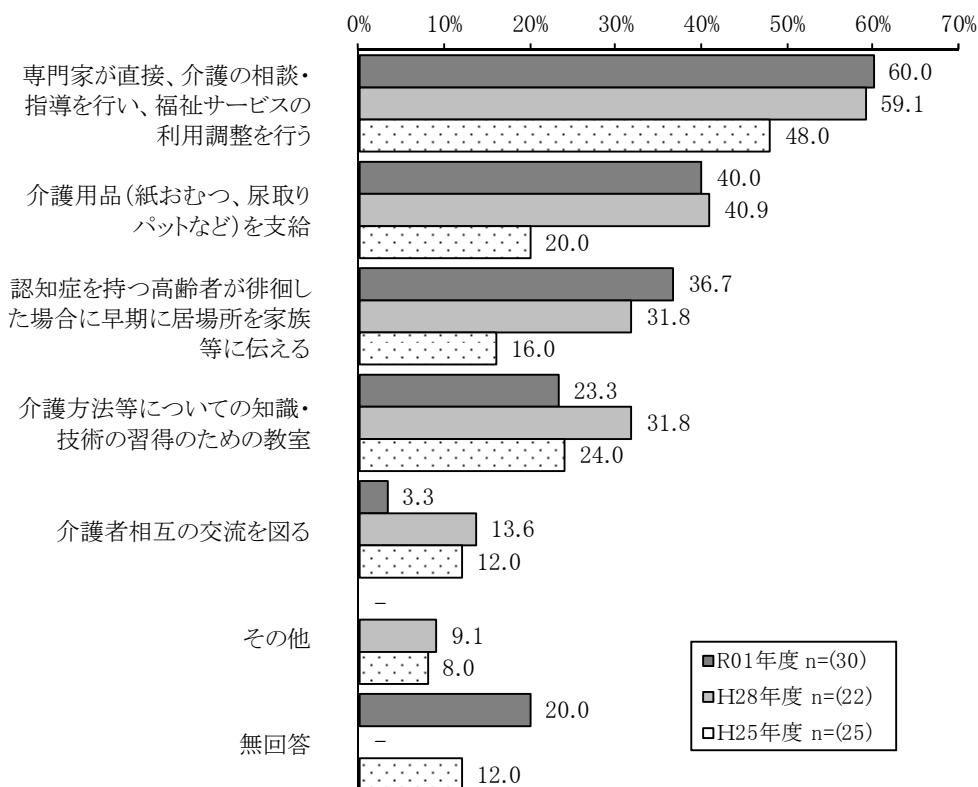
介護を行う上で困っていることについては、「精神的に負担が大きい」(66.7%)が最も高かった。以下、「経済的に負担が大きい」(43.3%)、「体力的に介護が困難である」(23.3%)、「介護の方法がわからない」(13.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「精神的に負担が多い」が16.7ポイント、「経済的に負担が多い」が6.9ポイント高く、「家族の理解が足りない」が10.3ポイント低くなっている。

(8) 今後利用したい介護者支援

問7-3 問7で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
 今後利用したい介護者支援は何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-8-1 今後利用したい介護者支援 全体



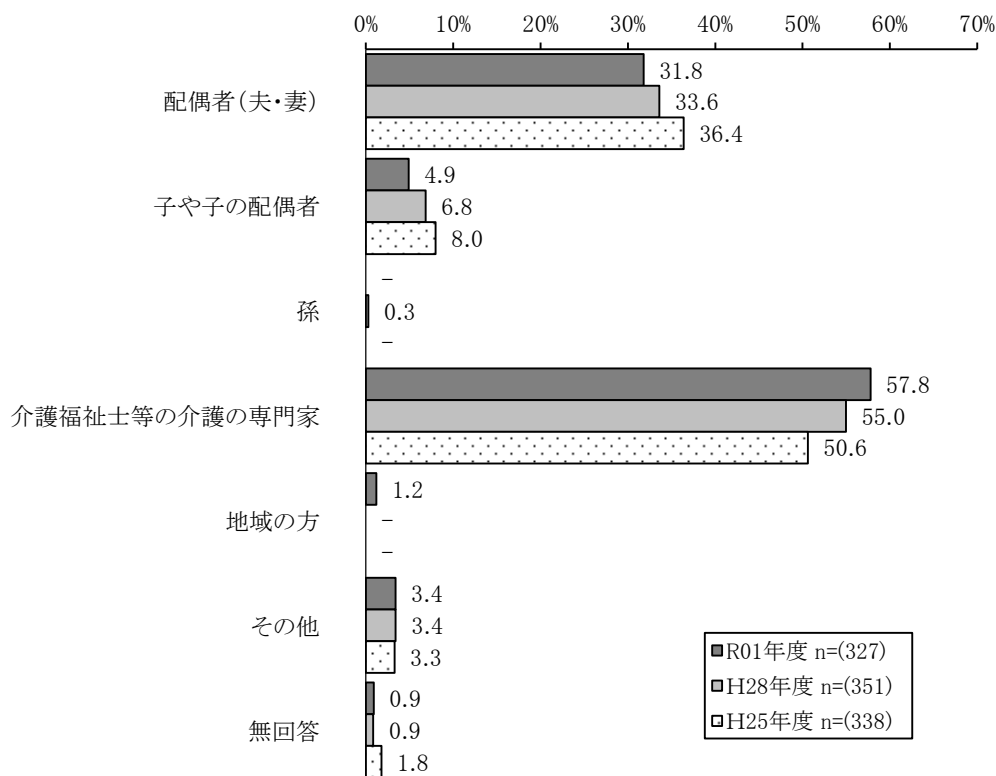
今後利用したい介護者支援については、「専門家が直接、介護の相談・指導を行い、福祉サービスの利用調整を行う」(60.0%)が最も高かった。以下、「介護用品(紙おむつ、尿取りパットなど)を支給」(40.0%)、「認知症を持つ高齢者が徘徊した場合に早期に居場所を家族等に伝える」(36.7%)、「介護方法等についての知識・技術の習得のための教室」(23.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「認知症を持つ高齢者が徘徊した場合に早期に居場所を家族等に伝える」が4.9ポイント高く、「介護方法等についての知識・技術の習得のための教室」が8.5ポイント、「介護者相互の交流を図る」が10.3ポイント低くなっている。

(9) 介護が必要になったときに介護してもらいたい人

問8 あなたが、介護が必要になったとき、誰に介護してもらいたいですか。(○印は1つ)

図表2-9-1 介護が必要になったときに介護してもらいたい人 全体



介護が必要になったときに介護をしてもらいたい人については、「介護福祉士等の介護の専門家」(57.8%)が最も高かった。以下、「配偶者(夫・妻)」(31.8%)、「子や子の配偶者」(4.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「介護福祉士等の介護の専門家」が2.8ポイント高く、「配偶者(夫・妻)」が1.8ポイント、「子や子の配偶者」が1.9ポイント低くなっている。

第3章 一般市民実態調査

図表2-9-2 介護が必要になったときに介護してもらいたい人 年齢別

		(%)							
		n	配偶者 (夫・妻)	子 や 子 の 配 偶 者	孫	護 介 の 専 福 の 護 社 士 専 門 社 士 家 等 の 介	地 域 の 方	そ の 他	無 回 答
	全体	327	31.8	4.9	-	57.8	1.2	3.4	0.9
年齢別	40～44歳	47	19.1	8.5	-	68.1	-	2.1	2.1
	45～49歳	71	35.2	2.8	-	53.5	1.4	5.6	1.4
	50～54歳	59	25.4	3.4	-	67.8	-	3.4	-
	55～59歳	83	32.5	4.8	-	55.4	2.4	4.8	-
	60～64歳	67	41.8	6.0	-	49.3	1.5	-	1.5

年齢別にみると、「介護福祉士等の介護の専門家」が各世代を通じて最も高く、特に40～44歳では68.1%、50～54歳では67.8%にのぼっている。「配偶者」は60～64歳が41.8%で最も高く、次いで45～49歳が35.2%、55～59歳が32.5%となっている。

図表2-9-3 介護が必要になったときに介護してもらいたい人 家族構成別

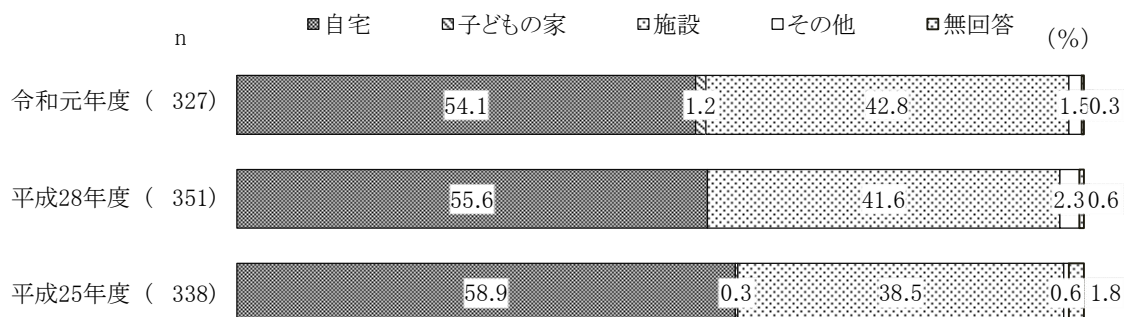
		(%)							
		n	配偶者 (夫・妻)	子 や 子 の 配 偶 者	孫	護 介 の 専 福 の 護 社 士 専 門 社 士 家 等 の 介	地 域 の 方	そ の 他	無 回 答
	全体	327	31.8	4.9	-	57.8	1.2	3.4	0.9
家族構成別	単身	37	5.4	2.7	-	75.7	10.8	5.4	-
	夫婦二人暮らし	84	41.7	6.0	-	47.6	-	3.6	1.2
	複数世代同居	156	35.3	4.5	-	57.7	-	2.6	-
	その他	48	25.0	6.3	-	60.4	-	4.2	4.2

家族構成別では、「介護福祉士等の介護の専門家」が各世帯を通じて最も高く、特に単身世帯では75.7%にのぼっている。「配偶者（夫・妻）」は夫婦二人暮らしが41.7%で最も高く、次いで複数世代同居が35.3%となっている。

(10) 介護が必要になったとき生活したい場所

問9 あなたが、介護が必要になったとき、どこで生活したいですか。(○印は1つ)

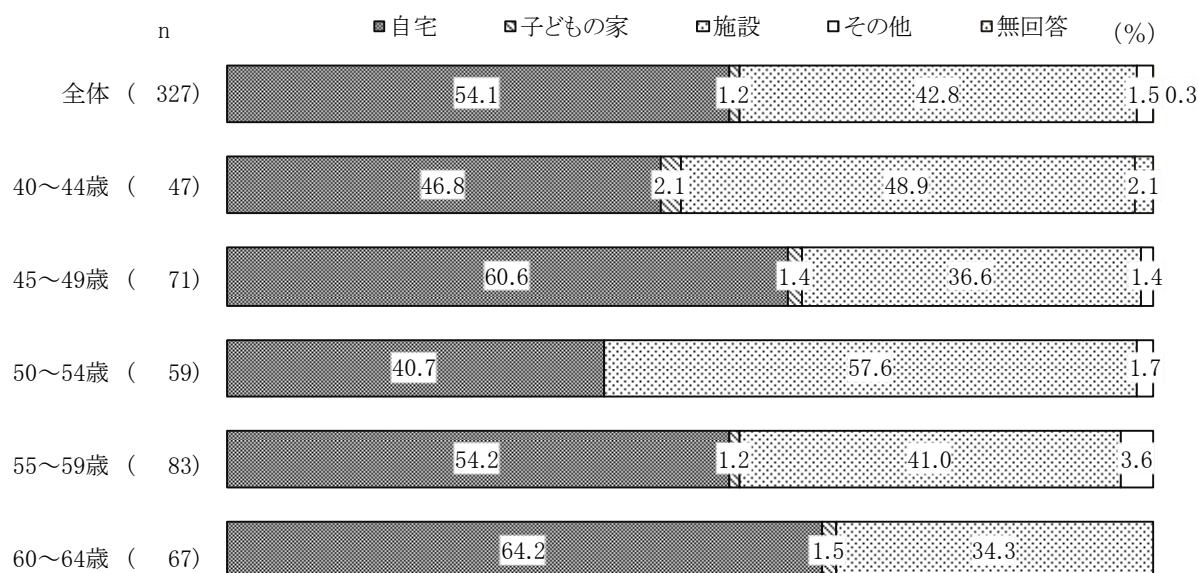
図表2-10-1 介護が必要になったときに生活したい場所 全体



介護が必要になったときに生活したい場所については、「自宅」(54.1%)が最も高かった。以下、「施設」(42.8%)、「子どもの家」(1.2%)となっている。

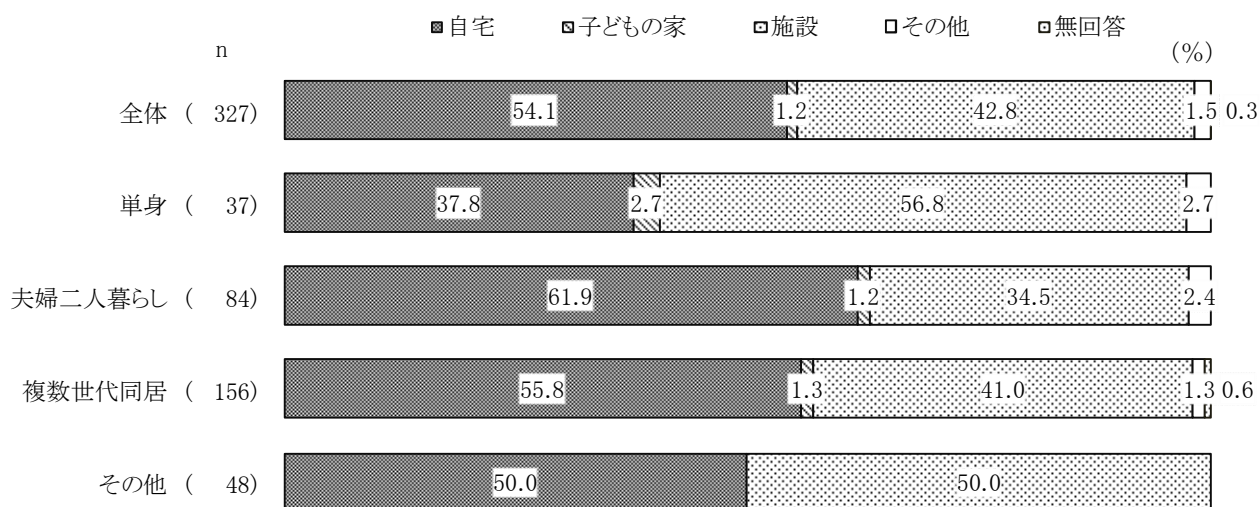
前回調査と比較すると、「施設」が1.2ポイント高く、「自宅」が1.5ポイント低くなっている。

図表2-10-2 介護が必要になったときに生活したい場所 年齢別



年齢別にみると、「自宅」は60～64歳が64.2%で最も高く、次いで45～49歳が60.6%、55～59歳が54.2%となっている。「施設」は50～54歳が57.6%で最も高く、次いで40～44歳が48.9%、55～59歳が41.0%となっている。

図表2-10-3 介護が必要になったときに生活したい場所 家族構成別

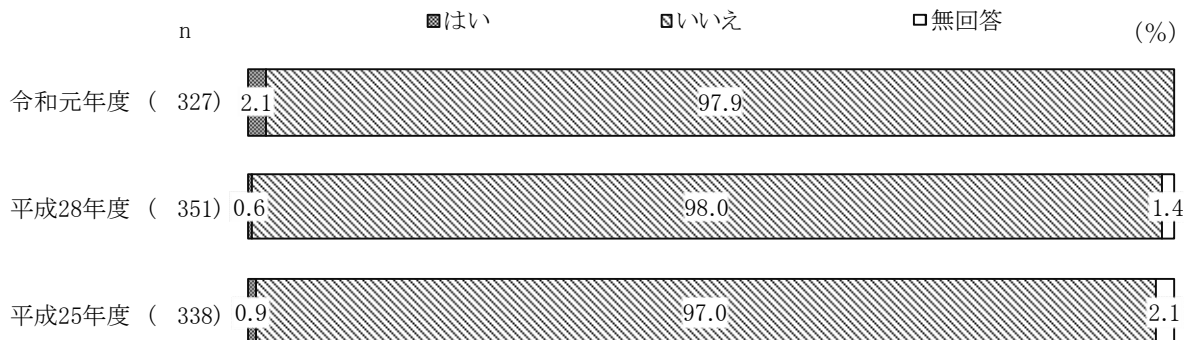


家族構成別にみると、「自宅」は夫婦二人暮らしが61.9%で最も高く、次いで複数世代同居が55.8%、その他が50.0%となっている。「施設」は単身が56.8%で最も高く、次いでその他が50.0%、複数世代同居が41.0%となっている。

(11) 現在、介助・支援を受けているか

問10 あなたは今、何らかの介助や支援を受けていますか。(○印は1つ)

図表2-11-1 現在、介助・支援を受けているか 全体



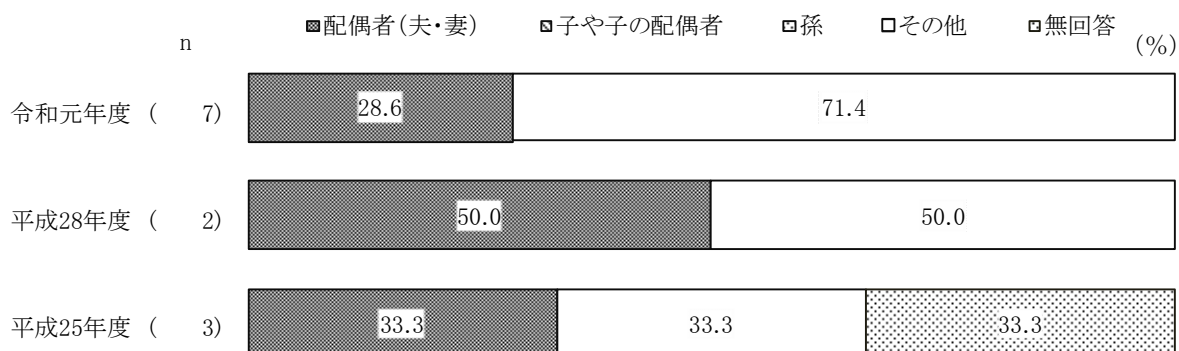
現在、介助・支援を受けているかについては、「いいえ」が97.9%を占めていた。一方、「はい」は2.1%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が1.5ポイント高くなっている。

(12) 主な介助・支援者

問10-1 問10で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
主に誰に介助や支援を受けていますか。(○印は1つ)

図表2-12-1 主な介助・支援者 全体

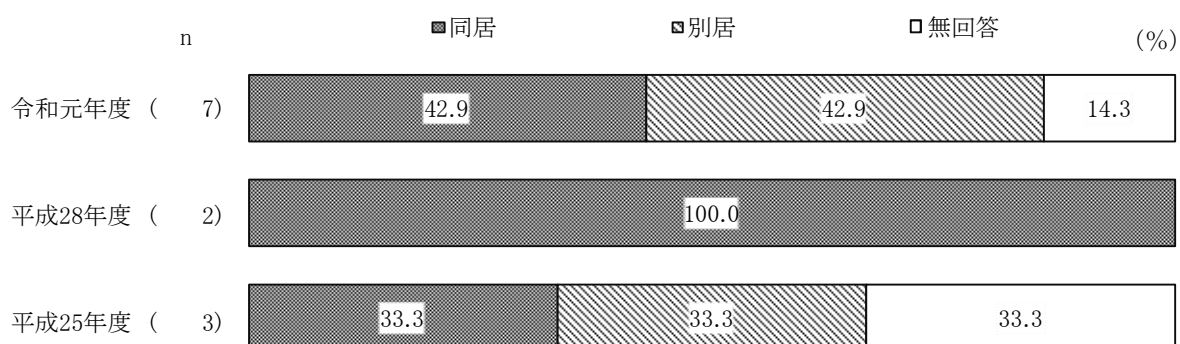


※基数が少ないため、参考として掲載

(13) 主な介助・支援者は同居か別居か

問10-2 問10で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
介助や支援をしてくれる方とは同居ですか。別居ですか。(○印は1つ)

図表1-13-1 主な介助・支援者は同居か別居か 全体

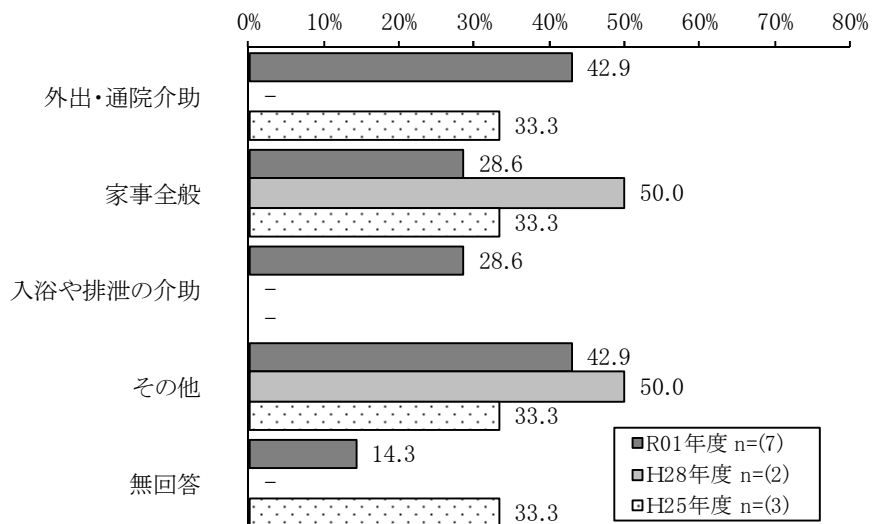


※基数が少ないため、参考として掲載

(14) 介助・支援の内容

問10-3 問10で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
 介助や支援の内容は次のどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

図表2-14-1 介助・支援の内容 全体

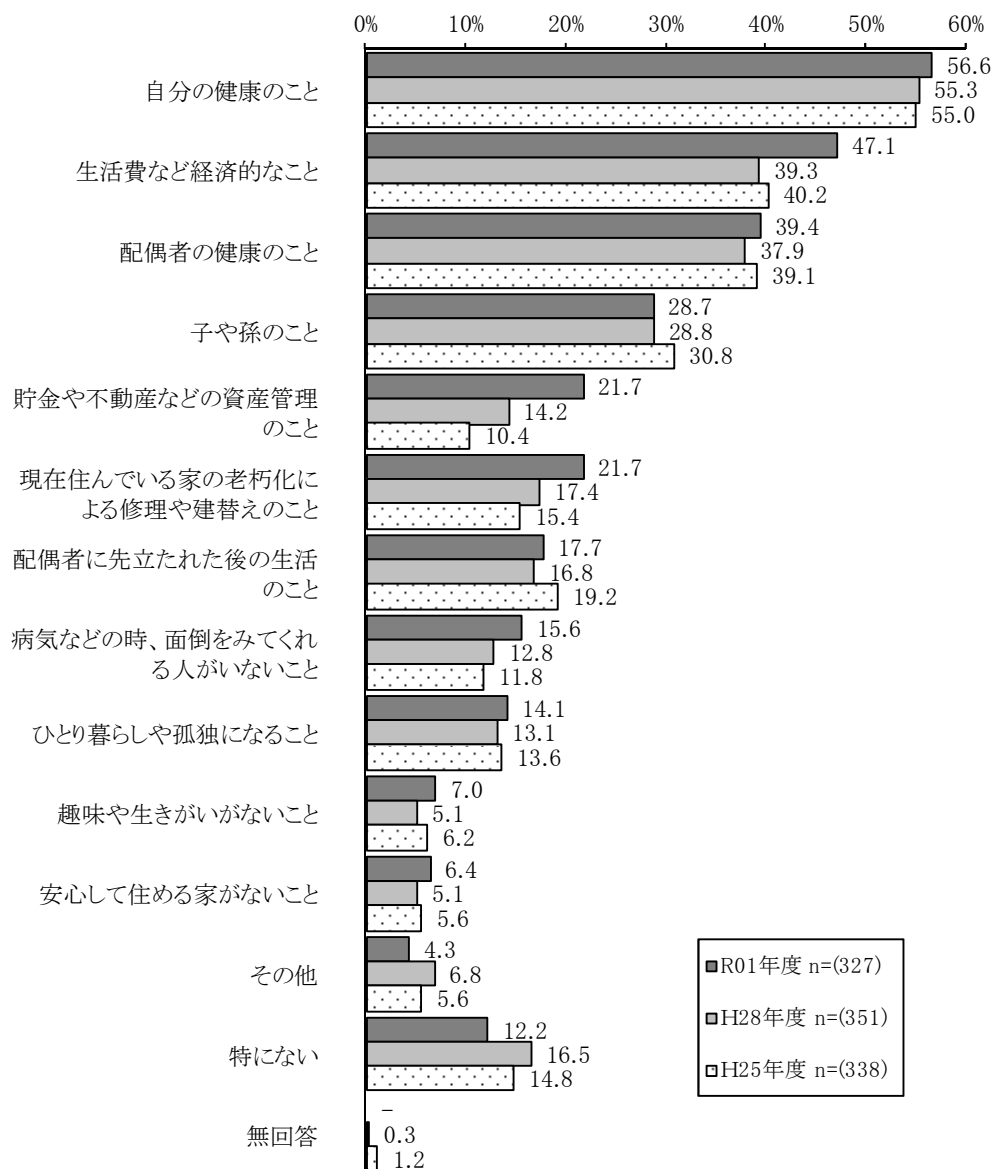


※基数が少ないため、参考として掲載

(15) 現在の生活における悩み事・心配事

問11 現在、生活の中で悩んだり、心配になっていることは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-15-1 現在の生活における悩み事・心配事 全体



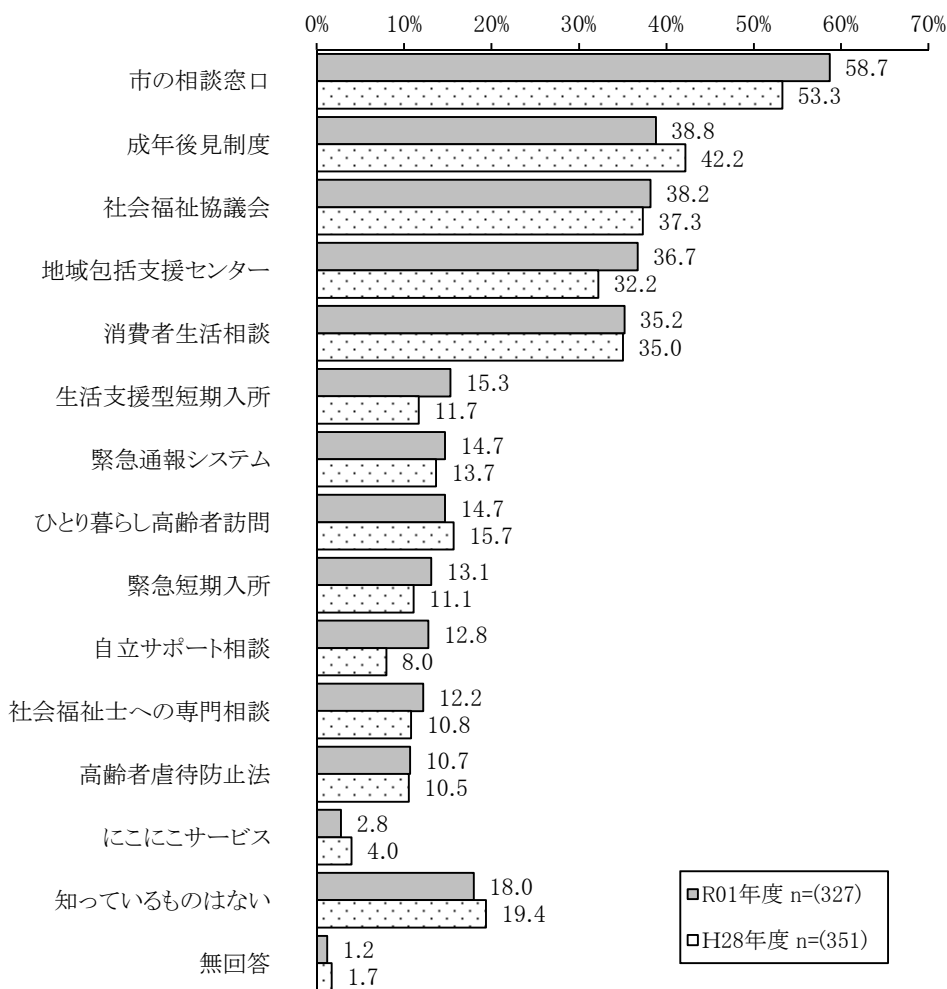
現在の生活における悩み事・心配事については、「自分の健康のこと」(56.6%)が最も高かった。以下、「生活費など経済的なこと」(47.1%)、「配偶者の健康のこと」(39.4%)、「子や孫のこと」(28.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「生活費など経済的なこと」が7.8ポイント、「貯金や不動産などの資産管理のこと」が7.5ポイント、「現在住んでいる家の老朽化による修理や建て替えのこと」が4.3ポイント高くなっている。

(16) 高齢者に関する制度や相談窓口の認知

問12 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたをご存知のものはありますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-16-1 高齢者に関する制度や相談窓口の認知 全体



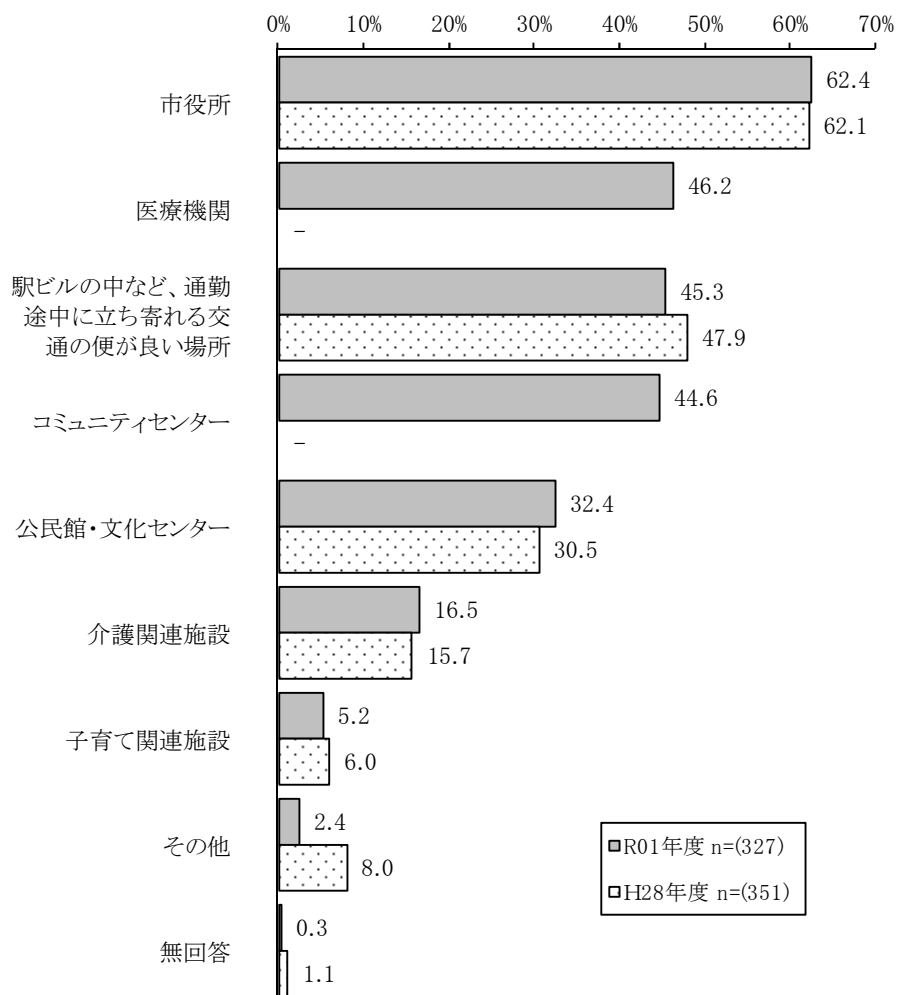
高齢者に関する制度や相談窓口の認知については、「市の相談窓口」(58.7%)が最も高かった。以下、「成年後見制度」(38.8%)、「社会福祉協議会」(38.2%)、「地域包括支援センター」(36.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「市の相談窓口」が5.4ポイント、「地域包括支援センター」が4.5ポイント、「生活支援型短期入所」が3.6ポイント、「自立サポート相談」が4.8ポイント高く、「成年後見制度」が3.4ポイント低くなっている。

(17) 福祉に関する相談窓口設置場所の希望

問13 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-17-1 福祉に関する相談窓口設置場所の希望 全体



福祉に関する相談窓口設置場所の希望については、「市役所」(62.4%)が最も高かった。以下、「医療機関」(46.2%)、「駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所」(45.3%)、「コミュニティセンター」(44.6%)となっている。

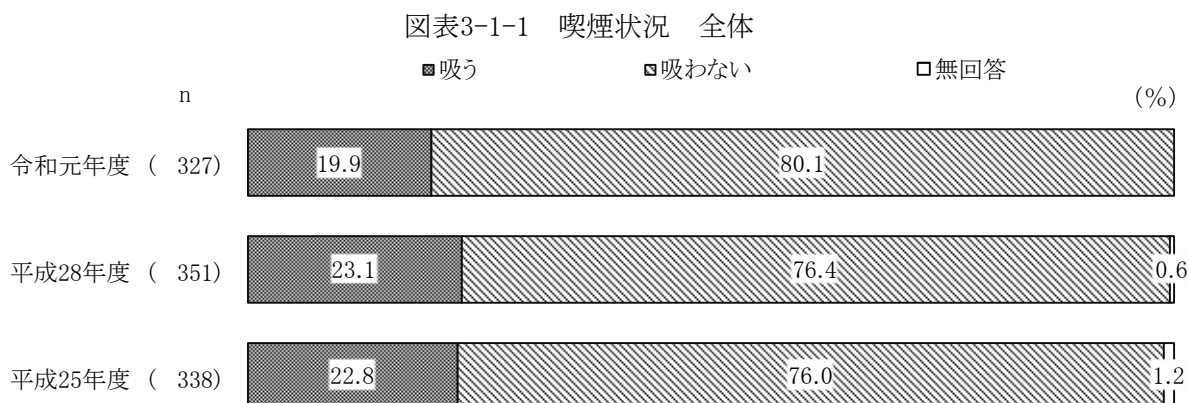
前回調査と比較すると、「公民館・文化センター」が1.9ポイント高く、「駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の良い場所」が2.6ポイント低くなっている。

3. 健康や普段の生活意識などについて

問14 あなたの健康づくりに関する行動について、次の(1)～(12)のそれぞれについて、どちらか1つに○印を付けてください。

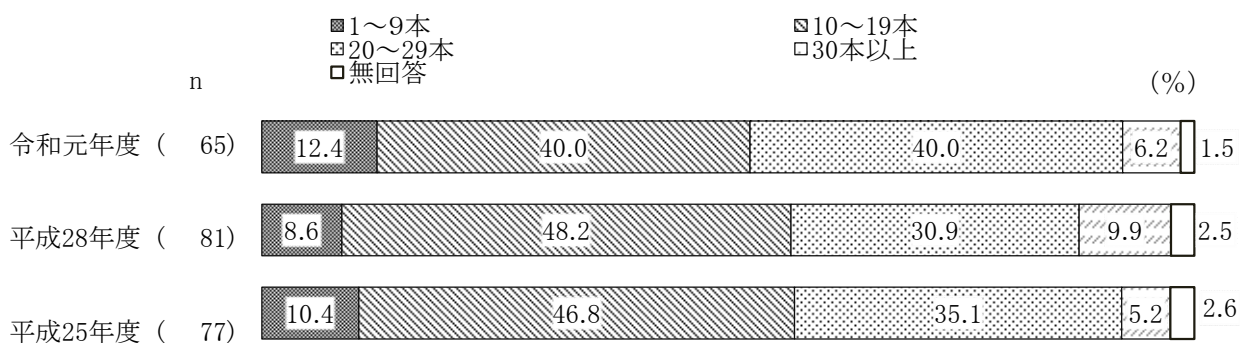
(1) たばこについて

問14 (1) たばこについて



たばこについては、「吸わない」が80.1%を占めていた。一方、「吸う」は19.9%となっている。前回調査と比較すると、「吸う」が3.2ポイント低くなっている。

図表3-1-2 1日にたばこを吸う本数 全体



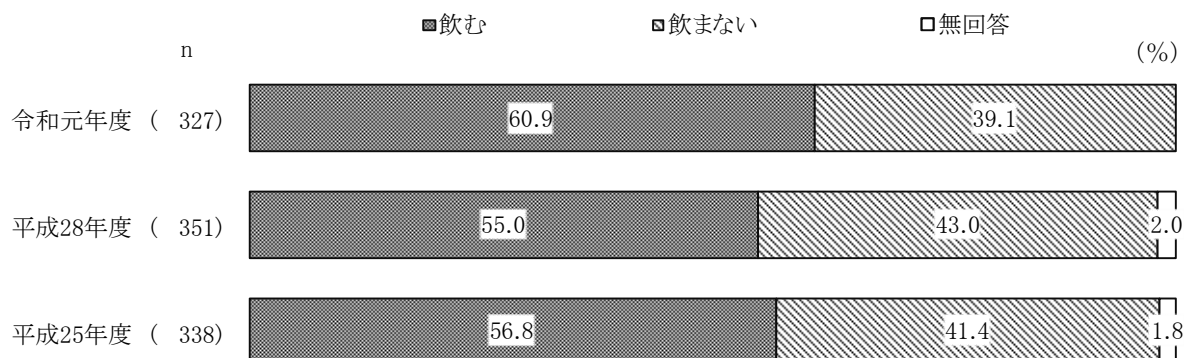
1日にたばこを吸う本数については、「10～19本」と「20～29本」(ともに40.0%)が高かった。以下、「1～9本」(12.4%)、「30本以上」(6.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「20～29本」が9.1ポイント高く、「10～19本」が8.2ポイント低くなっている。

(2) お酒について

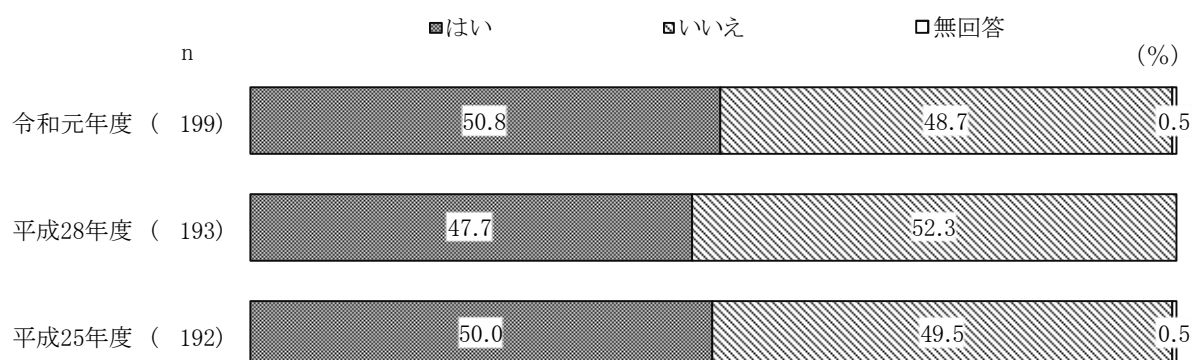
問14 (2) お酒について

図表3-2-1 飲酒状況 全体



お酒については、「飲む」が60.9%を占めていた。一方、「飲まない」は39.1%となっている。前回調査と比較すると、「飲む」が5.9ポイント高くなっている。

図表3-2-2 1日に飲む量は日本酒1合か 全体



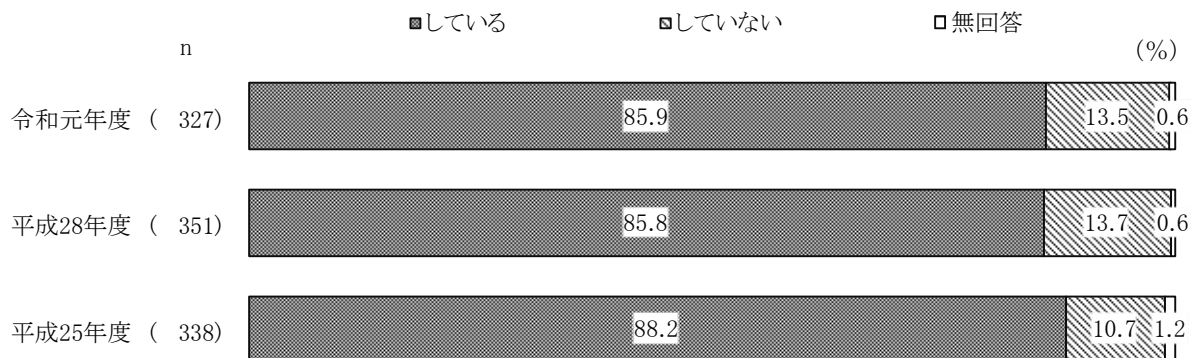
お酒を飲む量は週3回以上で飲む量は日本酒1合以上かについては、「はい」は50.8%、「いいえ」は48.7%となっていた。

前回調査と比較すると、「はい」が3.1ポイント高くなっている。

(3) 規則的な食事

問14 (3) 規則的な食事

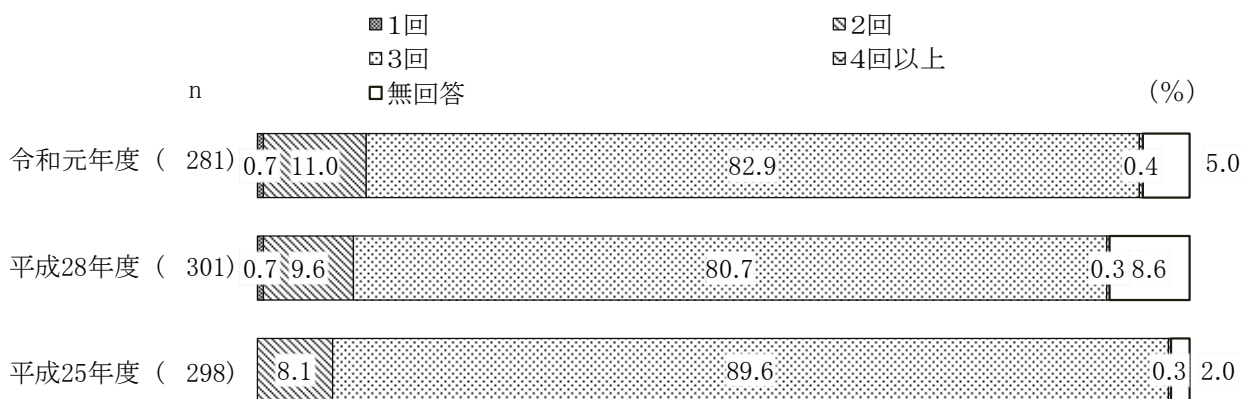
図表3-3-1 規則的な食事 全体



規則的な食事については、「している」が85.9%を占めていた。一方、「していない」は13.5%となっている。

前回調査と比較すると、「している」が0.1ポイント高くなっている。

図表3-3-2 1日の食事の回数 全体

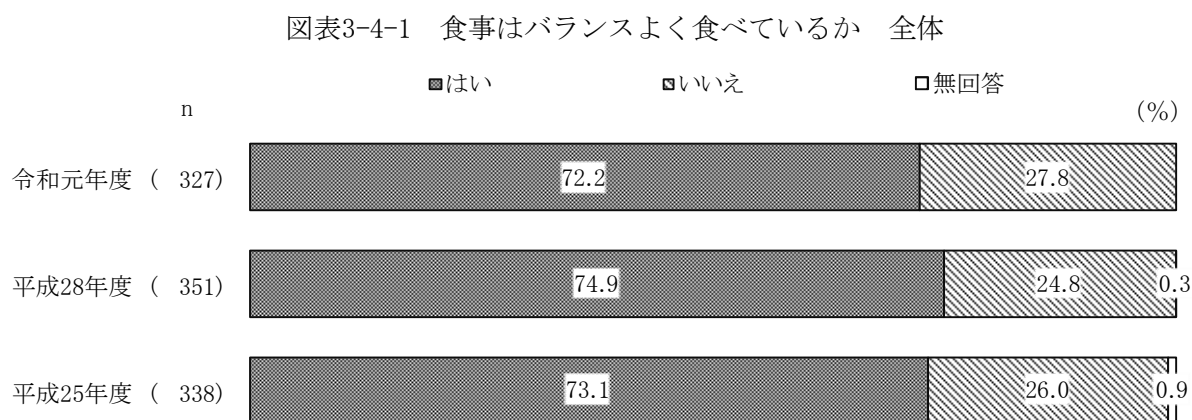


1日の食事の回数については、「3回」(82.9%)が最も高かった。以下、「2回」(11.0%)、「1回」(0.7%)、4回以上(0.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「2回」が1.4ポイント高くなっている。

(4) 食事はバランスよく食べているか

問14 (4) 食事はバランスよく食べていますか。

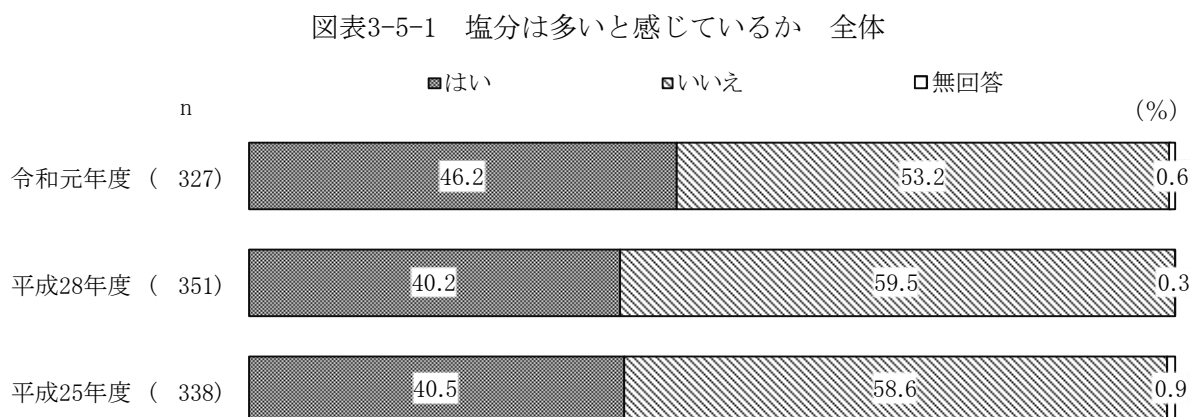


食事はバランス良く食べているかについては、「はい」が72.2%を占めていた。一方、「いいえ」は27.8%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が2.7ポイント低くなっている。

(5) 塩分は多いと感じているか

問14 (5) 塩分は多いと感じていますか。



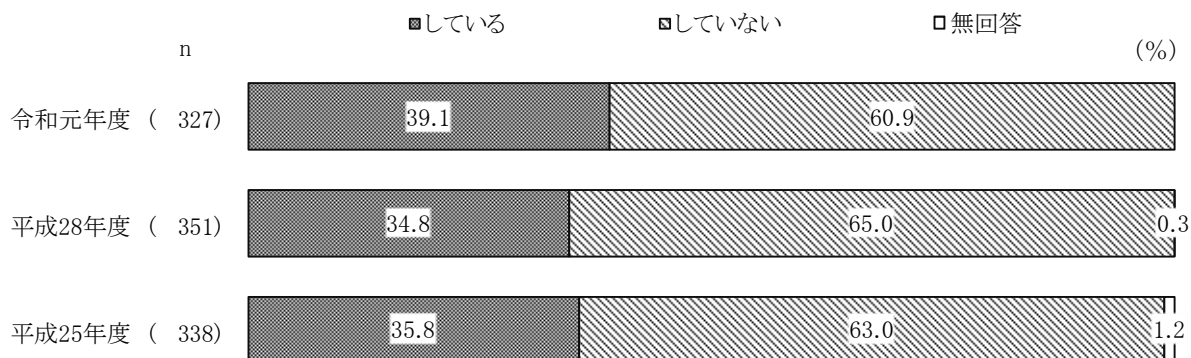
塩分は多いと感じているかについては、「いいえ」は53.2%、「はい」は46.2%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が6.0ポイント高くなっている。

(6) 定期的な運動

問14 (6) 定期的な運動

図表3-6-1 定期的な運動 全体



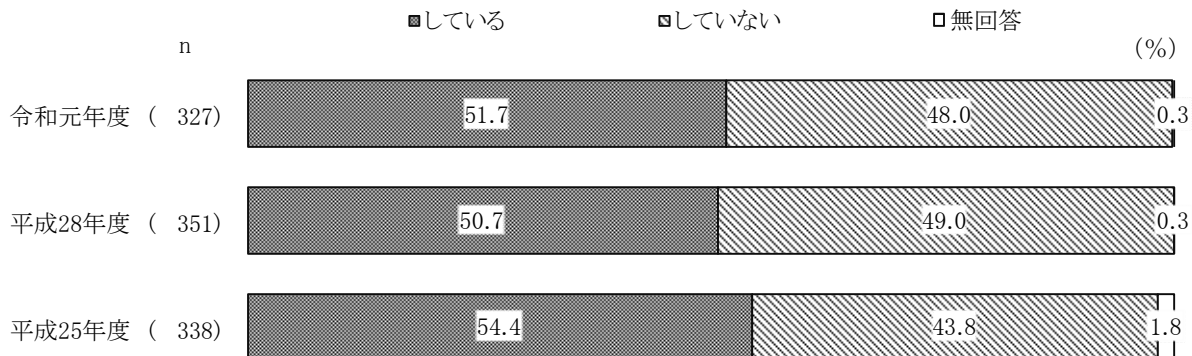
定期的な運動については、「していない」が60.9%を占めていた。一方、「している」は39.1%となっている。

前回調査と比較すると、「している」が4.3ポイント高くなっている。

(7) 適正体重のコントロール

問14 (7) 適正体重のコントロール

図表3-7-1 適正体重のコントロール 全体

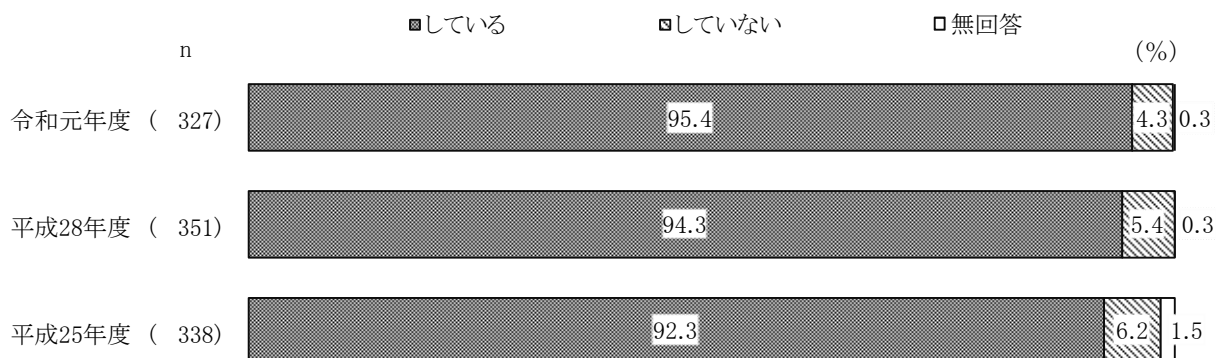


適正体重のコントロールについては、「している」は51.7%、「していない」は48.0%となっている。前回調査と比較すると、「している」が1.0ポイント高くなっている。

(8) 歯の健康維持（歯みがき等）

問14（8）歯の健康維持（歯みがき等）

図表3-8-1 歯の健康維持（歯みがき等） 全体



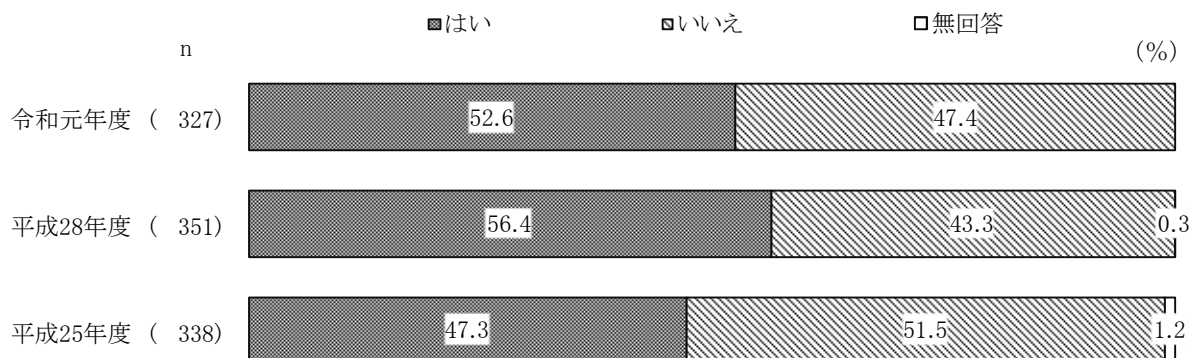
歯の健康維持（歯みがき等）については、「している」が95.4%を占めていた。一方、「していない」は4.3%となっている。

前回調査と比較すると、「している」が1.1ポイント高くなっている。

(9) 歯科検診を定期的に受けるなど歯の健康に注意しているか

問14（9）歯科検診を定期的に受けるなど歯の健康に注意していますか。

図表3-9-1 歯科検診を定期的に受けるなど歯の健康に注意しているか 全体



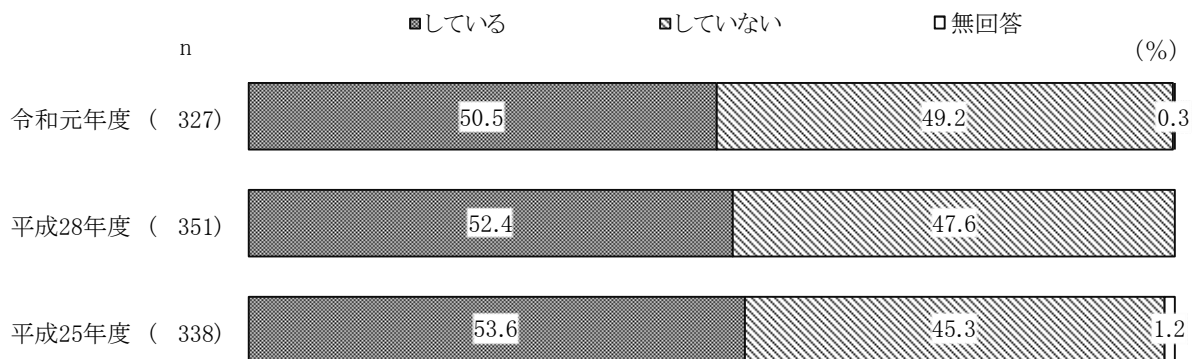
歯科検診を定期的に受けるなど歯の健康に注意しているかについては、「はい」は52.6%、「いいえ」は47.4%となっている。

前回調査と比較すると、「している」が3.8ポイント低くなっている。

(10) 趣味活動

問14 (10) 趣味活動

図表3-10-1 趣味活動 全体

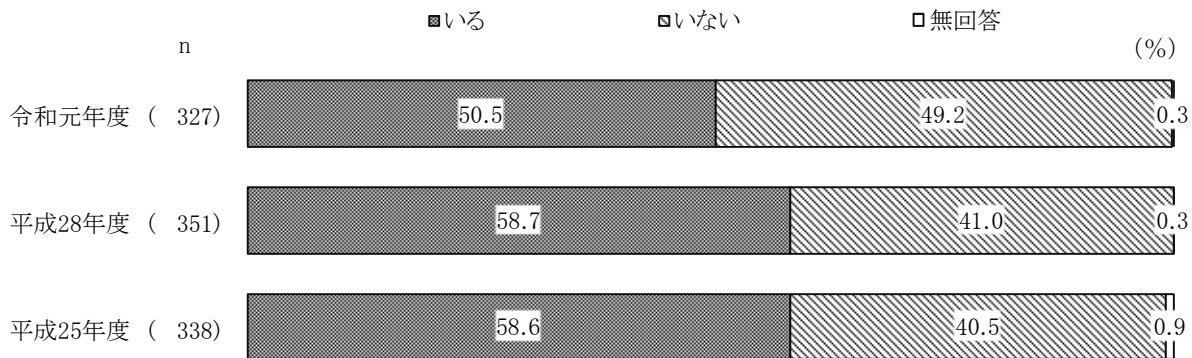


趣味活動については、「している」は50.5%、「していない」は49.2%となっている。
 前回調査と比較すると、「している」が1.9ポイント低くなっている。

(11) かかりつけの医師

問14 (11) かかりつけの医師

図表3-11-1 かかりつけの医師 全体

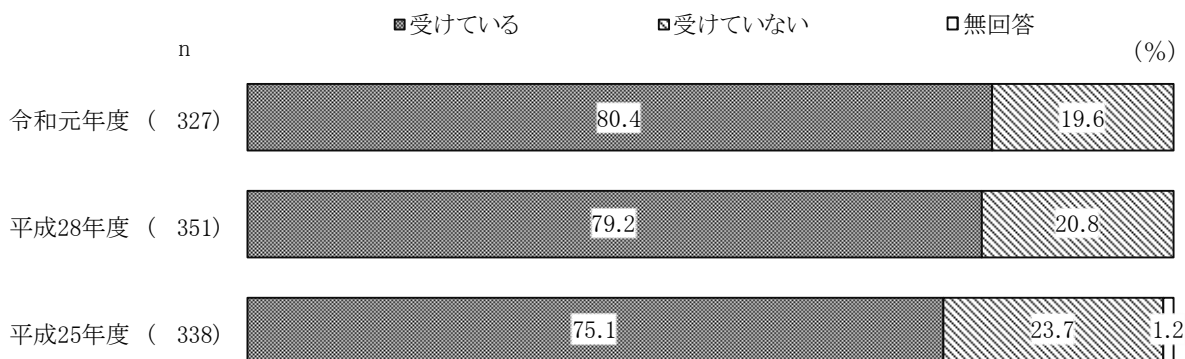


かかりつけの医師については、「いる」は50.5%、「いない」は49.2%となっている。
 前回調査と比較すると、「いる」が8.2ポイント低くなっている。

(12) 定期的な健康診断

問14 (12) 定期的な健康診断

図表3-12-1 定期的な健康診断 全体



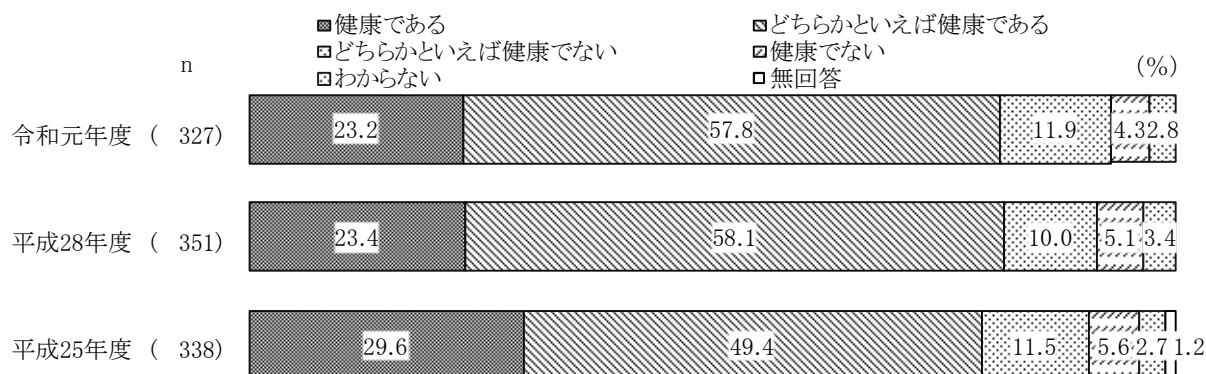
定期的な健康診断については、「受けている」が80.4%を占めていた。一方、「受けていない」は19.6%となっている。

前回調査と比較すると、「受けている」が1.2ポイント高くなっている。

(13) あなたの健康状態

問15 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(○印は1つ)

図表3-13-1 あなたの健康状態 全体



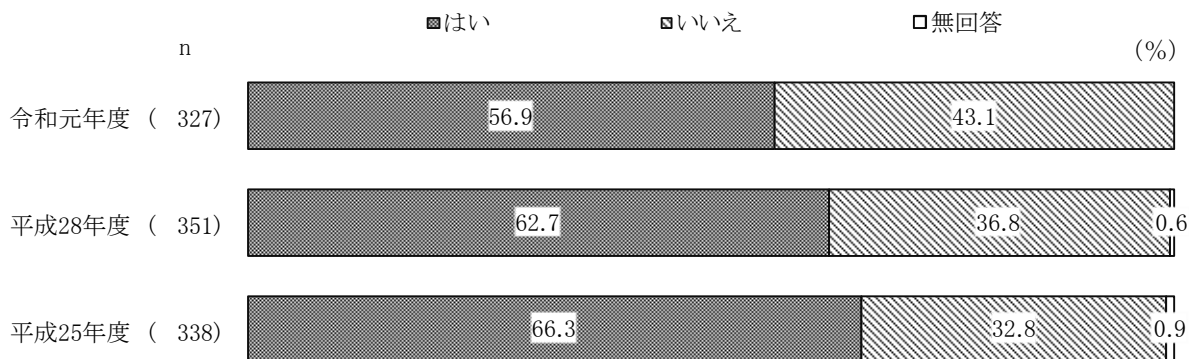
あなたの健康状態については、「健康である」(23.2%)と「どちらかといえば健康である」(57.8%)を合わせた『健康である』は81.0%を占めていた。一方、「どちらかといえば健康でない」(11.9%)と「健康でない」(4.3%)を合わせた『健康でない』は16.2となっている。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば健康でない」が1.9ポイント高く、「健康でない」が0.8ポイント低くなっている。

(14) 睡眠によって休養が十分にとれているか

問16 あなたのこころの健康について、次の(1)～(4)それぞれについて、あてはまるものに1つ○印を付けてください。
 (1) 睡眠によって休養が十分にとれていますか。

図表3-14-1 睡眠によって休養が十分にとれているか 全体



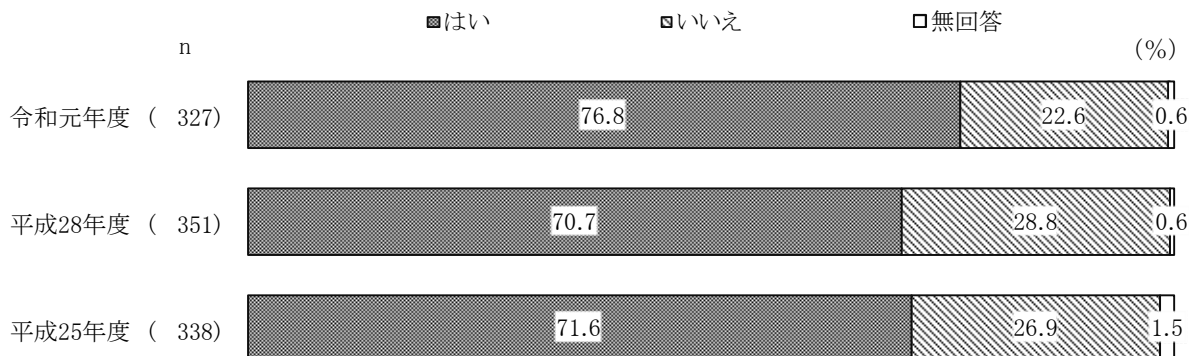
睡眠によって休養が十分にとれているかについては、「はい」は56.9%、「いいえ」は43.1%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が5.8ポイント低くなっている。

(15) 最近1ヶ月にストレスを感じたか

問16 (2) 最近1ヶ月にストレスを感じたことがありますか。

図表3-15-1 最近1ヶ月にストレスを感じたか 全体



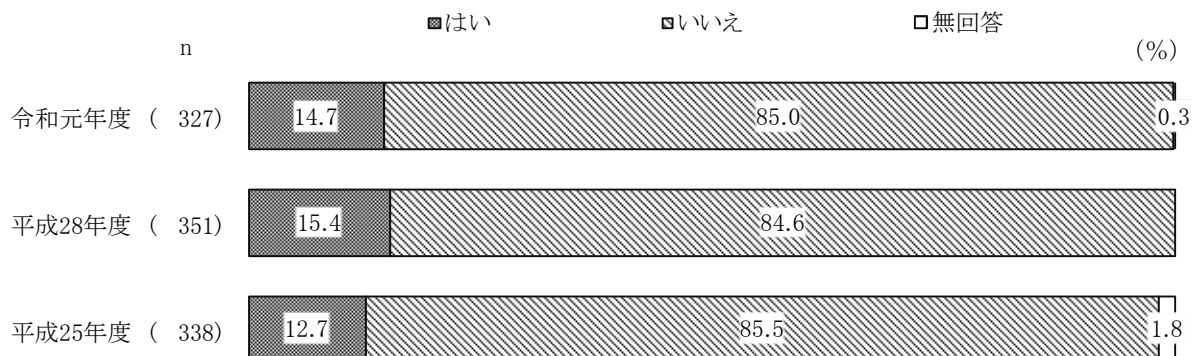
最近1ヶ月にストレスを感じたかについては、「はい」は76.8%を占めていた。一方、「いいえ」は22.6%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が6.1ポイント高くなっている。

(16) 眠りを助けるために薬やアルコールを使うことがあるか

問16 (3) 眠りを助けるために薬やアルコールを使うことがありますか。

図表3-16-1 眠りを助けるために薬やアルコールを使うことがあるか 全体



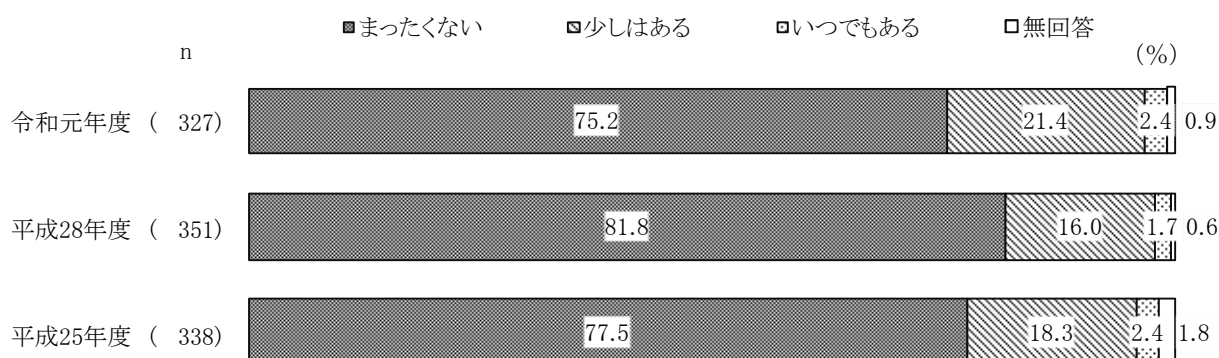
眠りを助けるために薬やアルコールを使うことがあるかについては、「いいえ」が85.0%を占めていた。一方、「はい」は14.7%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が0.7ポイント低くなっている。

(17) 憂うつで死んでもかまわないと思うことがあるか

問16 (4) 憂うつで死んでもかまわないと思うことがありますか。

図表3-17-1 憂うつで死んでもかまわないと思うことがあるか 全体



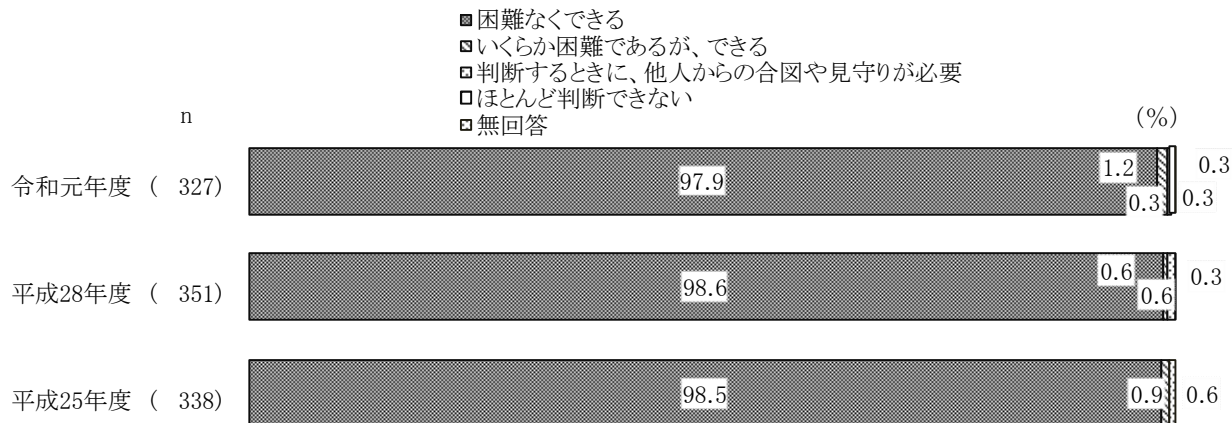
憂うつで死んでもかまわないと思うことがあるかについては、「まったくない」(75.2%)が最も高かった。以下、「少しはある」(21.4%)、「いつでもある」(2.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「少しはある」が5.4ポイント高く、「まったくない」が6.6ポイント低くなっている。

(18) その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）の自己判断ができるか

問17 あなたは、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。
 (○印は1つ)

図表3-18-1 その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）の自己判断ができるか 全体



その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の自己判断ができるかについては、「困難なくできる」が97.9%を占めていた。一方、それ以外の選択肢は「いくらか困難であるが、できる」(1.2%)、「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」「ほとんど判断できない」(ともに0.3%)の順となっている。

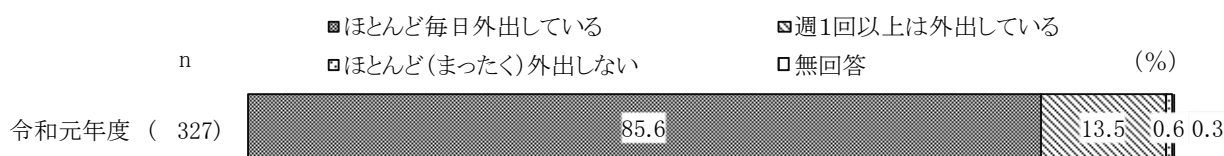
前回調査と比較すると、「いくらか困難であるが、できる」が0.6ポイント高く、「困難なくできる」が0.7ポイント低くなっている。

4. 外出の状況について

(1) 外出する機会

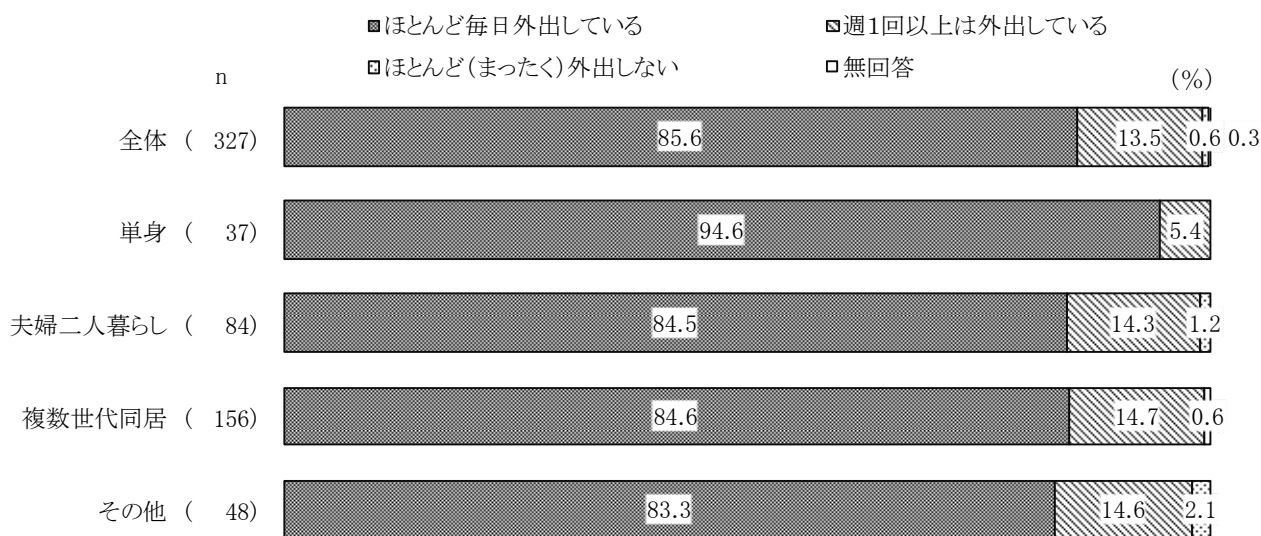
問18 外出する機会がありますか。(○印は1つ)

図表4-1-1 外出する機会 全体



外出する機会はあるかについては、「ほとんど毎日外出している」(85.6%)が最も高かった。以下、「週1回以上は外出している」(13.5%)、「ほとんど(まったく)外出しない」(0.6%)、となっている。

図表4-1-2 外出する機会 家族構成別

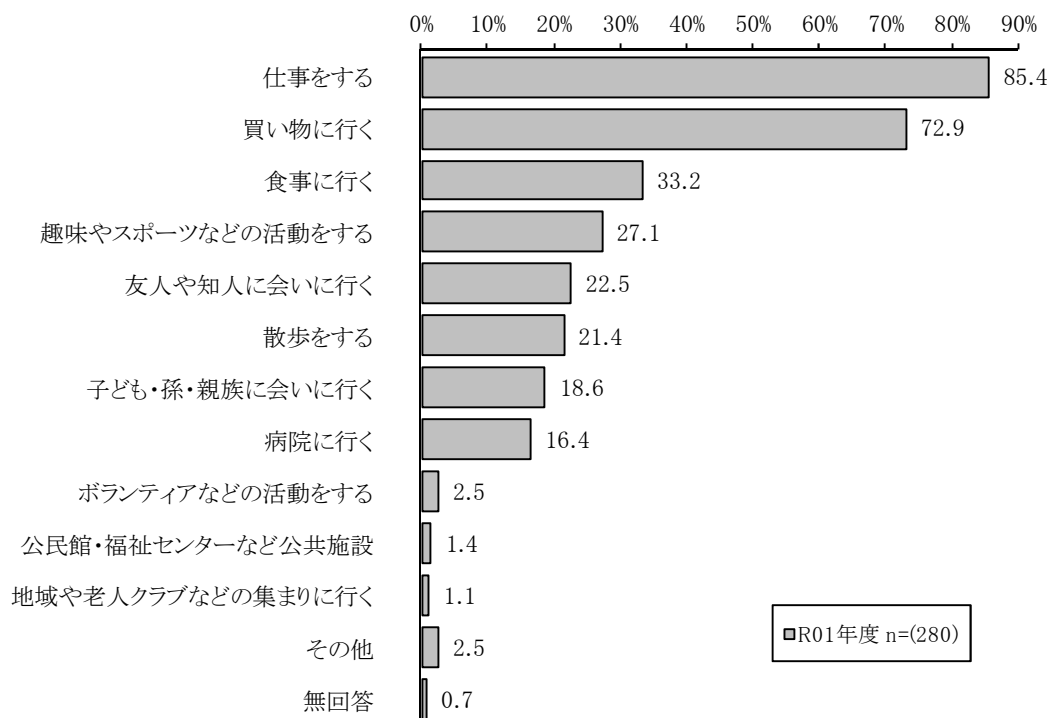


家族構成別にみると、「ほとんど外出している」は単身が94.6%で最も高く、次いで複数世代同居(84.6%)、夫婦二人暮らし(84.5%)の順となっている。「週1回以上は外出している」は複数世代同居が14.7%で最も高く、次いでその他(14.6%)、夫婦二人暮らし(14.3%)の順となっている。

(2) 外出する理由

問18-1 問18で「1. ほとんど毎日外出している」と回答した方のみお答えください。
 どのようなことでよく外出しますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-2-1 外出する理由 全体



どのようなことでよく外出するかについては、「仕事をする」(85.4%)が最も高かった。以下、「買い物に行く」(72.9%)、「食事に行く」(33.2%)、「趣味やスポーツなどの活動をする」(27.1%)となっている。

図4-2-2 外出する理由 家族構成別

(%)

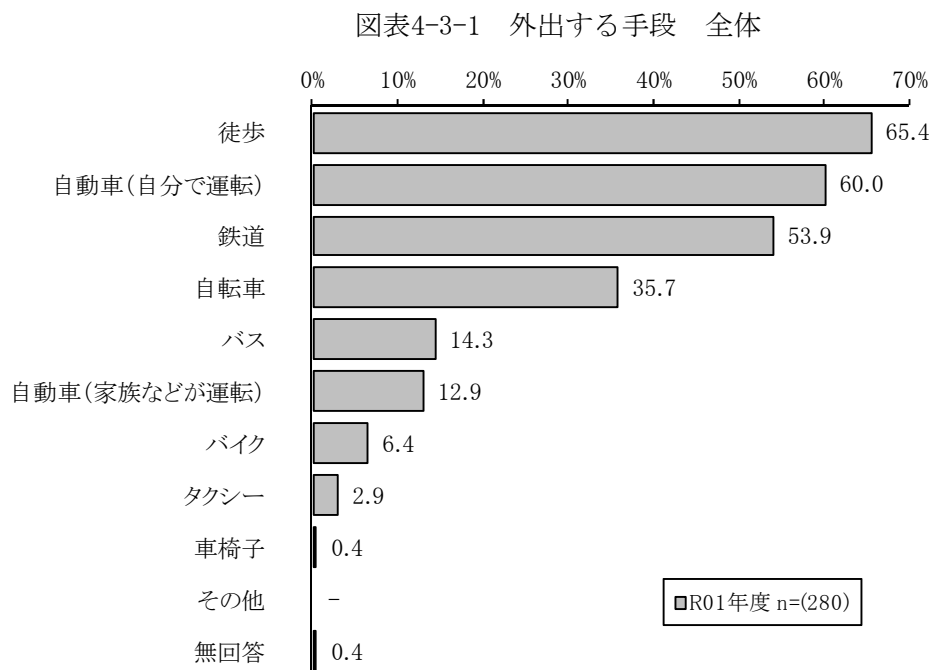
		n	仕事をする	買い物に行く	食事に行く	趣味やスポーツなどの活動をする	友人や知人に会いに行く	散歩をする	子ども・孫・親族に会いに行く	病院に行く	ボランティアなどの活動をする	公民館・福祉センターなど公共施設	地域や老人クラブなど集まりに行く	その他	無回答
	全体	280	85.4	72.9	33.2	27.1	22.5	21.4	18.6	16.4	2.5	1.4	1.1	2.5	0.7
家族構成別	単身	35	85.7	68.6	31.4	28.6	25.7	31.4	5.7	22.9	5.7	2.9	2.9	-	-
	夫婦二人暮らし	71	87.3	67.6	36.6	33.8	23.9	21.1	25.4	16.9	1.4	-	1.4	-	-
	複数世代同居	132	85.6	78.0	31.8	25.0	21.2	18.9	18.9	12.9	1.5	0.8	0.8	3.8	-
	その他	40	82.5	72.5	35.0	22.5	22.5	22.5	17.5	22.5	5.0	5.0	-	5.0	2.5

家族構成別にみると、「仕事をする」は各層を通じて8割以上と高くなっている。「買い物に行く」は複数世代同居が78.0%で最も高く、次いでその他（72.5%）、単身（68.6%）の順となっている。「食事に行く」は夫婦二人暮らしが36.6%で最も高く、次いでその他（35.0%）、複数世代同居（31.8%）の順となっている。

また、「趣味やスポーツなどの活動をする」は夫婦二人暮らしが33.8%で最も高く、次いで単身（28.6%）、複数世代同居（25.0%）の順、「友人や知人に会いに行く」は単身が25.7%で最も高く、次いで夫婦二人暮らし（23.9%）、その他（22.5%）の順となっている。

(3) 外出する手段

問18-2 問18で「1. ほとんど毎日外出している」と回答した方のみお答えください。
 どのような手段で外出されることが多いですか。(あてはまる番号すべてに○印)



どのような手段で外出するかについては、「徒歩」(65.4%)が最も高かった。以下、「自動車(自分で運転)」(60.0%)、「鉄道」(53.9%)、「自転車」(35.7%)となっている。

図表4-3-2 外出する手段 家族構成別

	n	家族構成別 (%)											
		徒歩	自動車(自分で運転)	鉄道	自転車	バス	転自動車(家族などが運)	バイク	タクシー	車椅子	その他	無回答	
全体	280	65.4	60.0	53.9	35.7	14.3	12.9	6.4	2.9	0.4	-	0.4	
家族構成別	単身	35	65.7	48.6	68.6	22.9	17.1	2.9	14.3	5.7	2.9	-	-
	夫婦二人暮らし	71	71.8	57.7	57.7	29.6	18.3	12.7	2.8	2.8	-	-	1.4
	複数世代同居	132	58.3	65.9	46.2	40.2	11.4	15.9	4.5	2.3	-	-	-
	その他	40	75.0	57.5	60.0	40.0	12.5	12.5	12.5	2.5	-	-	-

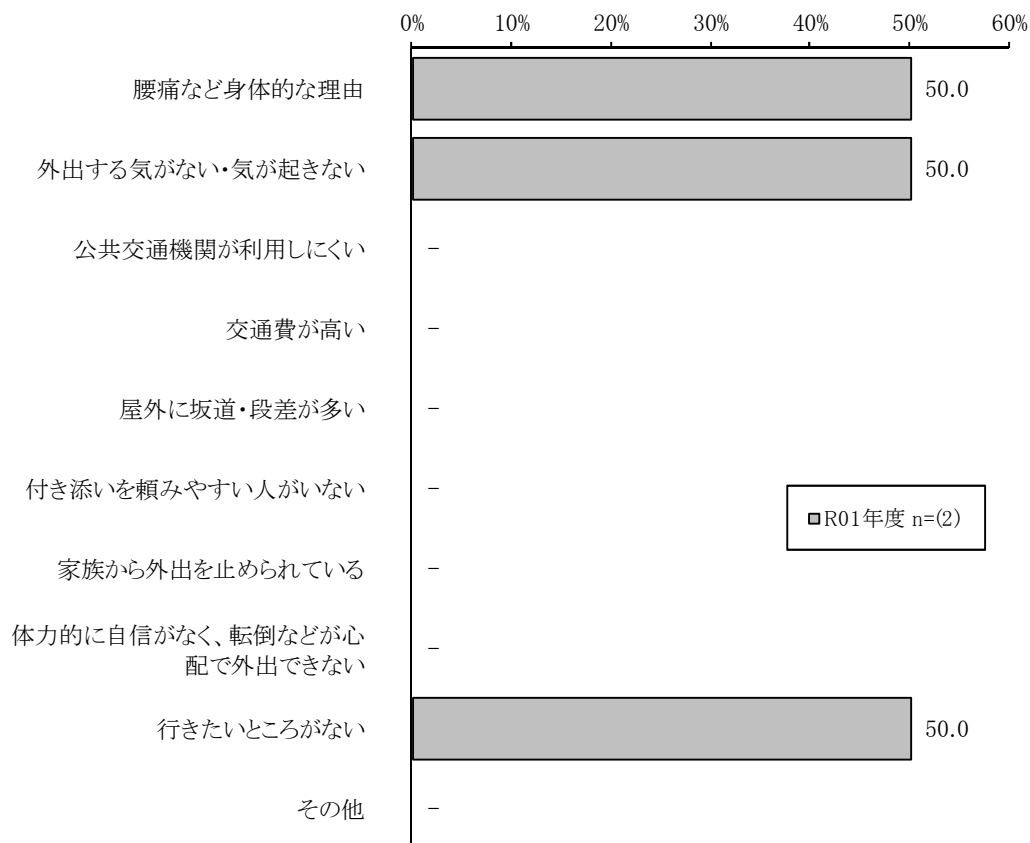
家族構成別にみると、「徒歩」はそのほか75.0%で最も高く、次いで夫婦二人暮らし(71.8%)、単身(65.7%)となっている。「自動車(自分で運転)」は複数世代同居が65.9%で最も高く、次いで夫婦二人暮らし(57.7%)、その他(57.5%)の順となっている。

また、「鉄道」は単身が68.6%で最も高く、次いでその他(60.0%)、夫婦二人暮らし(57.7%)の順、「自転車」は複数世代同居が40.2%で最も高く、次いでその他(40.0%)、夫婦二人暮らし(29.6%)の順となっている。

(4) 外出しない理由

問18-3 問18で「3. ほとんど(まったく)外出しない」を回答した方のみお答えください。
 外出しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-4-1 外出しない理由 全体

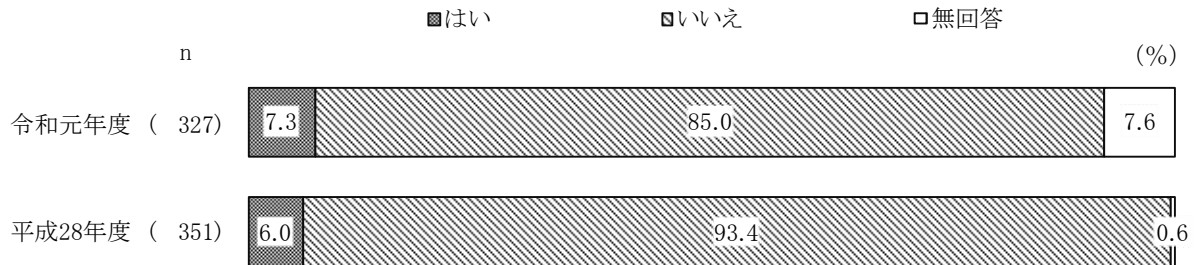


※基数が少ないため、参考として掲載

(5) 買物に行くのに不便を感じているか

問19 買物に行くのに不便を感じていますか。(○印は1つ)

図表4-5-1 買物に行くのに不便を感じているか 全体



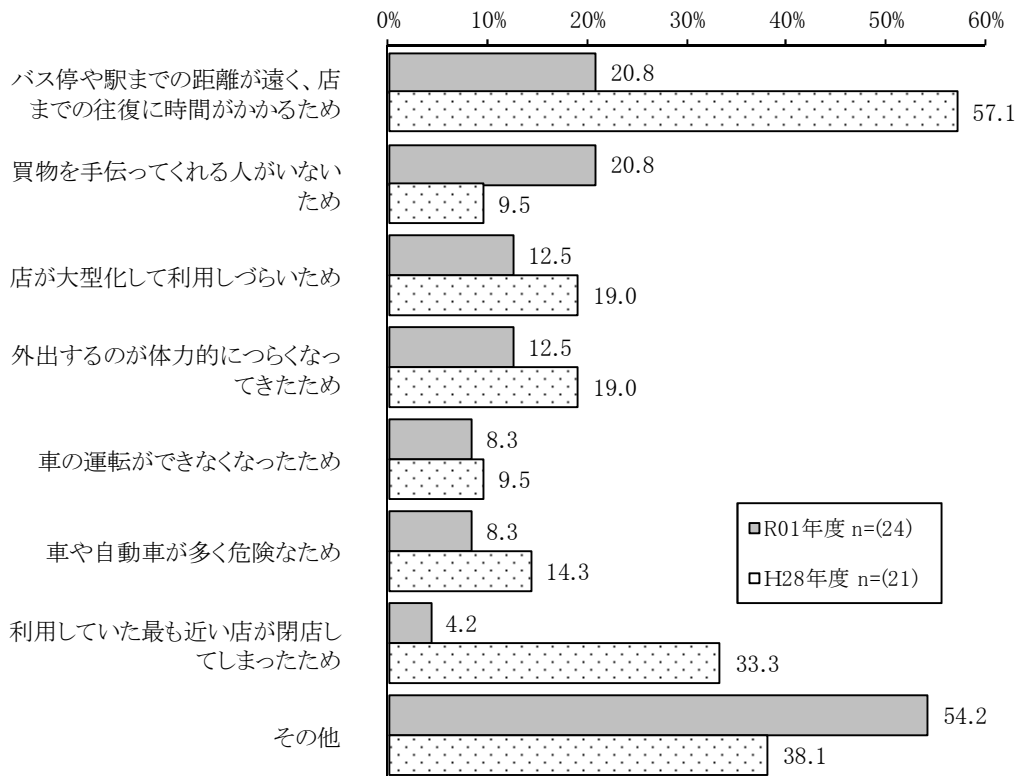
買物に行くのに不便を感じているかについては、「いいえ」が85.0%を占めていた。一方、「はい」(7.3%) となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が1.3ポイント高くなっている。

(6) 買物に不便を感じる理由

問19-1 問19で「1. はい」と回答した方のみお答えください。
買物に不便を感じる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-6-1 買物に不便を感じる理由 全体

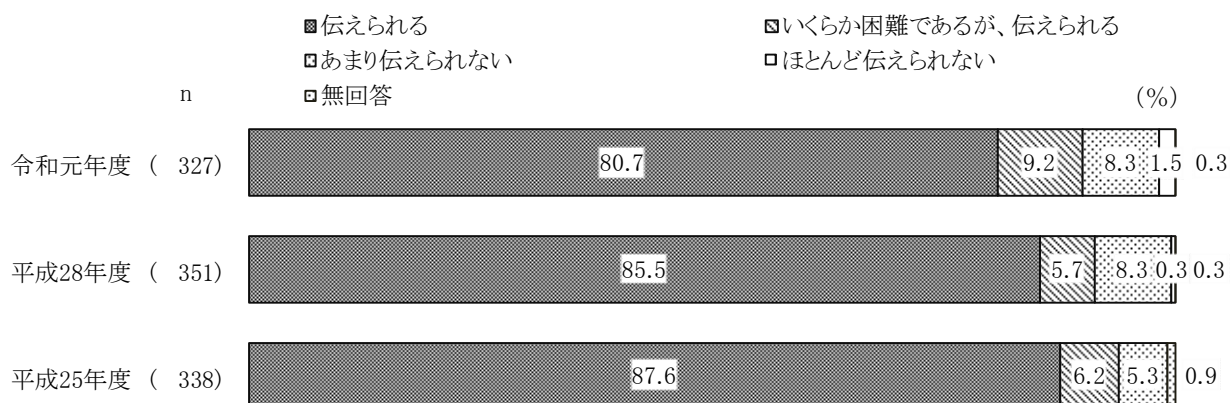


※基数が少ないため、参考として掲載

(7) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

問20 あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか。(○印は1つ)

図表4-7-1 人に自分の考えをうまく伝えられるか 全体



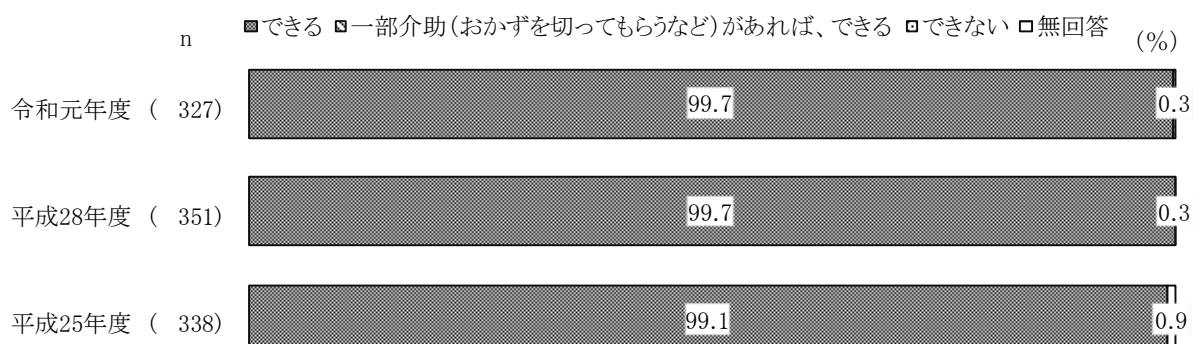
人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」(80.7%)と「いくらか困難であるが、伝えられる」(9.2%)を合わせた『伝えられる』は89.9%を占めていた。一方、「あまり伝えられない」(8.3%)と「ほとんど伝えられない」(1.5%)を合わせた『伝えられない』は9.8%となっている。

前回調査と比較すると、「いくらか困難であるが、伝えられる」が3.5ポイント高く、「伝えられる」が4.8ポイント低くなっている。

(8) 食事は自分で食べられるか

問21 あなたは、食事は自分で食べられますか。(○印は1つ)

図表4-8-1 食事は自分で食べられるか 全体



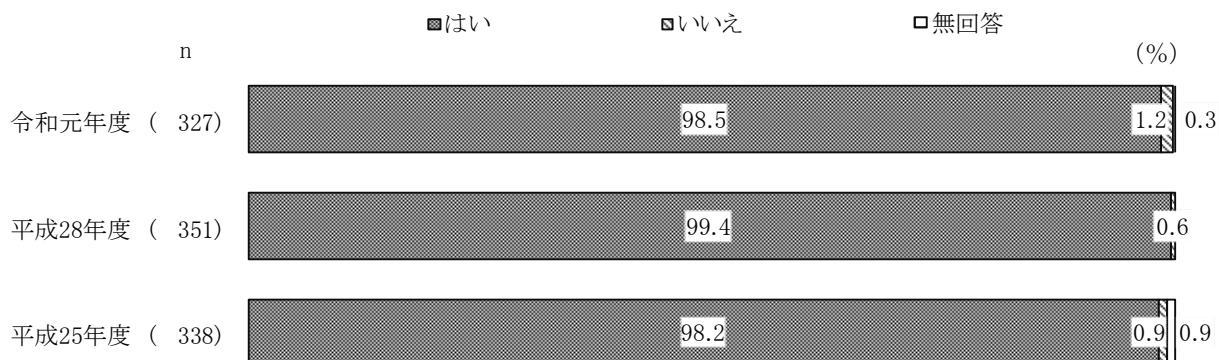
食事は自分で食べられるかについては、「できる」(99.7%)が最も高かった。次いで、「できない」(0.3%)となっている。

前回調査と同様、「できる」が99.7%を占めていた。

(9) 5分前のことが思い出せるか

問22 あなたは、5分前のことが思い出せますか。(○印は1つ)

図表4-9-1 5分前のことが思い出せるか 全体



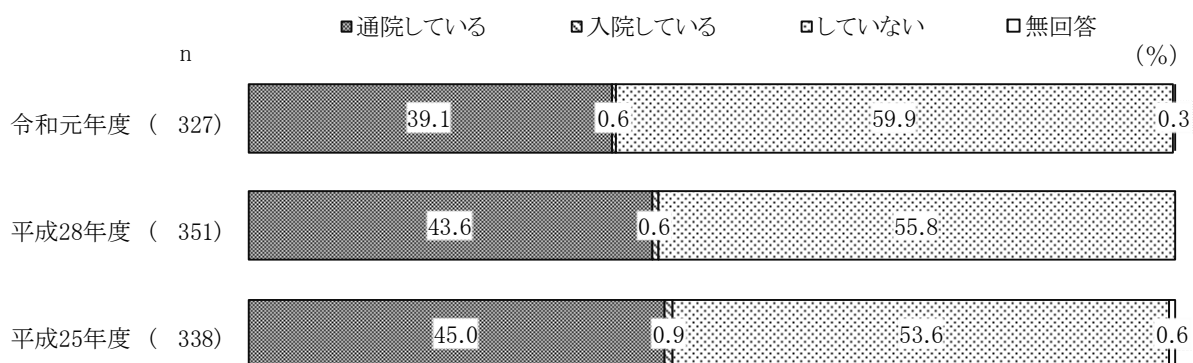
5分前のことが思い出せるかについては、「はい」が98.5%を占めていた。一方、「いいえ」は1.2%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.6ポイント高く、「はい」が0.9ポイント低くなっている。

(10) 現在、医療機関に通院・入院しているか

問23 現在、医療機関に通院・入院していますか。(○印は1つ)

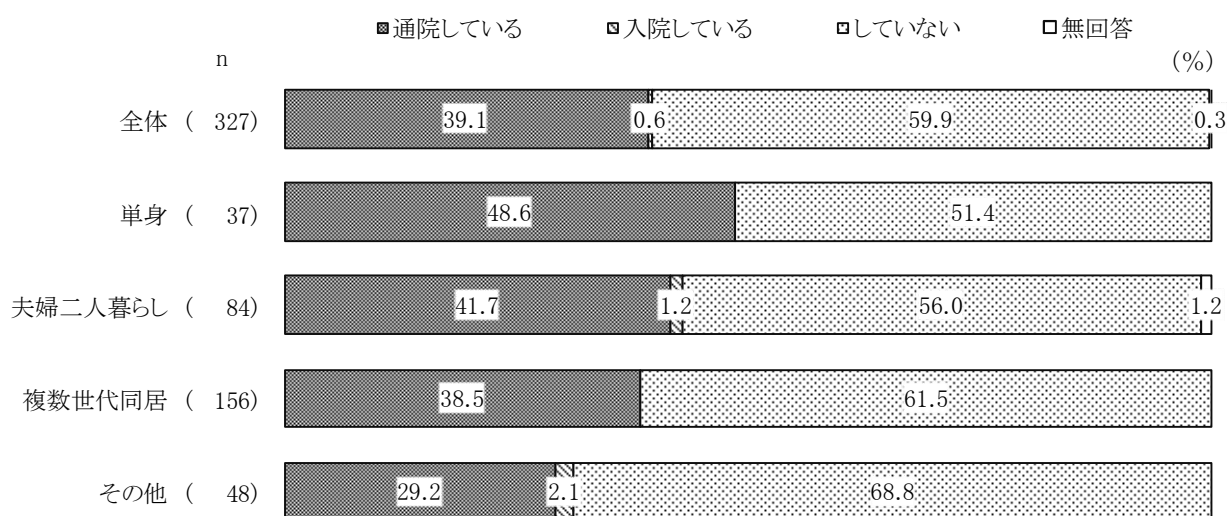
図表4-10-1 現在、医療機関に通院・入院しているか 全体



現在、医療機関に通院・入院しているかについては、「していない」(59.9%)が最も高かった。以下、「通院している」(39.1%)、「入院している」(0.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「していない」が4.1ポイント高く、「通院している」が4.5ポイント低くなっている。

図表4-10-2 現在、医療機関に通院・入院しているか 家族構成別

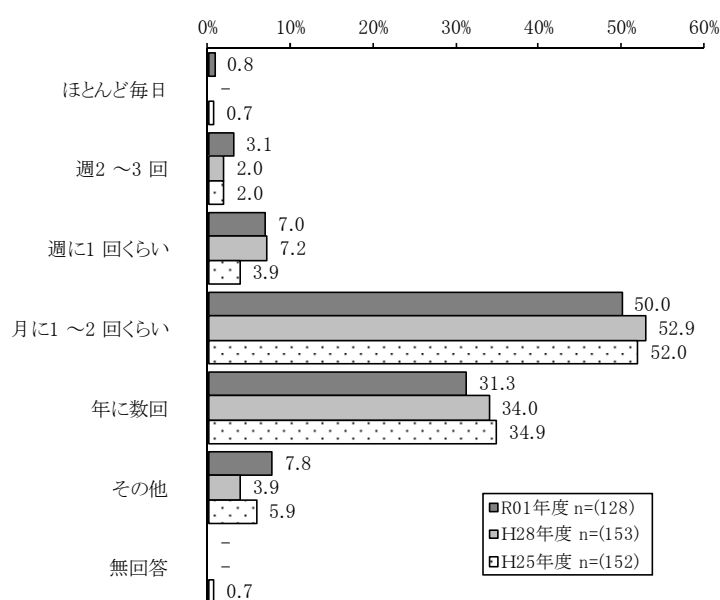


家族構成別にみると、「通院している」は単身が48.6%で最も高く、次いで夫婦二人暮らし(41.7%)、複数世代同居(38.5%)の順となっている。「していない」はその他が68.8%で最も高く、次いで複数世代同居(61.5%)、夫婦二人暮らし(56.0%)の順となっている。

(11) 医療機関への通院頻度

問23-1 問23で「1. 通院している」を回答した方のみお答えください。
医療機関への通院の回数はどのくらいですか。(○印は1つ)

図表4-11-1 医療機関への通院頻度 全体



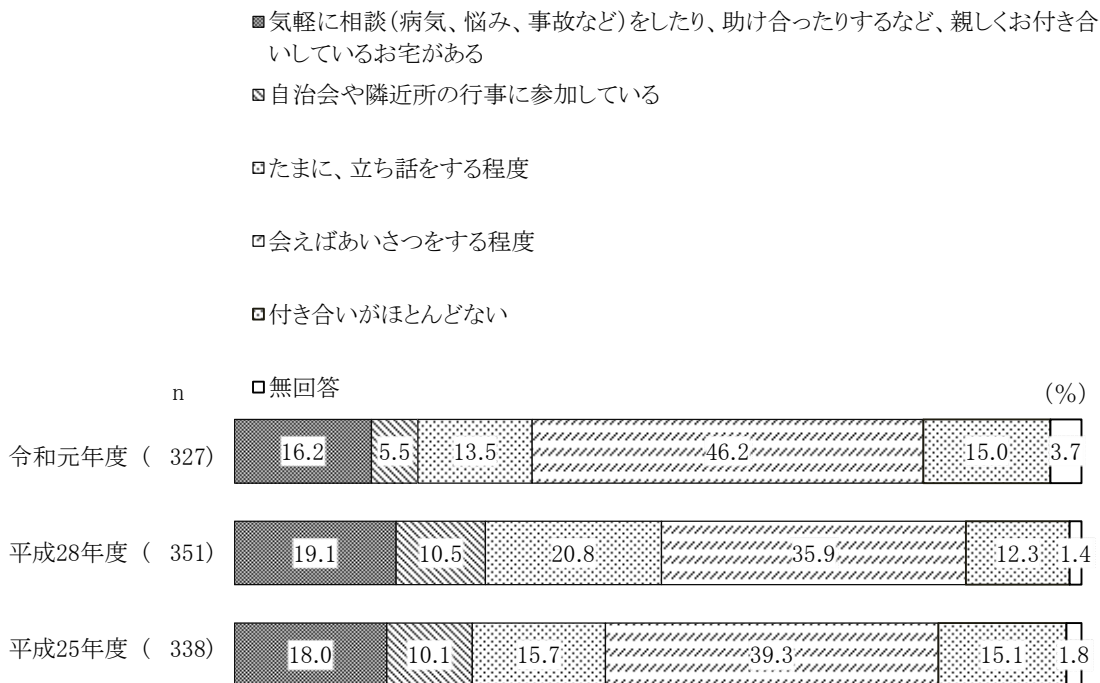
医療機関への通院頻度については、「月に1~2回くらい」(50.0%)が最も高かった。以下、「年に数回」(31.3%)、「その他」(7.8%)、「週に1回くらい」(7.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「その他」が3.9ポイント高く、「月に1~2回」が2.9ポイント、「年に数回」が2.7ポイント低くなっている。

(12) 近隣との交流状況

問24 近隣の人との交流の状況についてお伺いします。(○印は1つ)

図表4-12-1 近隣との交流状況 全体



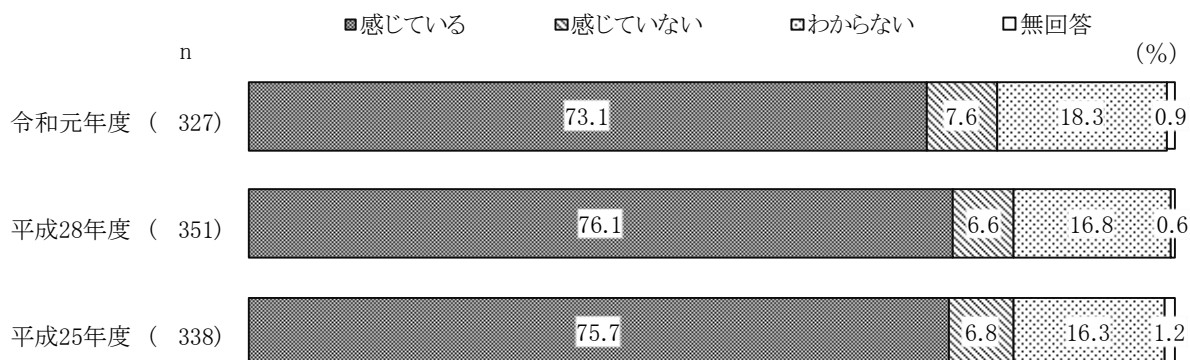
近隣との交流状況については、「会えばあいさつをする程度」(46.2%)が最も高かった。以下、「気軽に相談(病気、悩み、事故など)をしたり、助け合ったりするなど、親しくお付き合いしているお宅がある」(16.2%)、「付き合いがほとんどない」(15.0%)、「たまに、立ち話をする程度」(13.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「会えばあいさつをする程度」が10.3ポイント、「付き合いがほとんどない」が2.7ポイント高く、「気軽に相談したり、助け合ったりするなど、親しくお付き合いしているお宅がある」が2.9ポイント、「たまに、立ち話をする程度」が7.3ポイント、「自治会や隣近所の行事に参加している」が5.0ポイント低くなっている。

(13) 生きがいを感じているか

問25 あなたは、生きがいを感じていますか（生活の支えとなるものがありますか）。
（○印は1つ）

図表4-13-1 生きがいを感じているか 全体



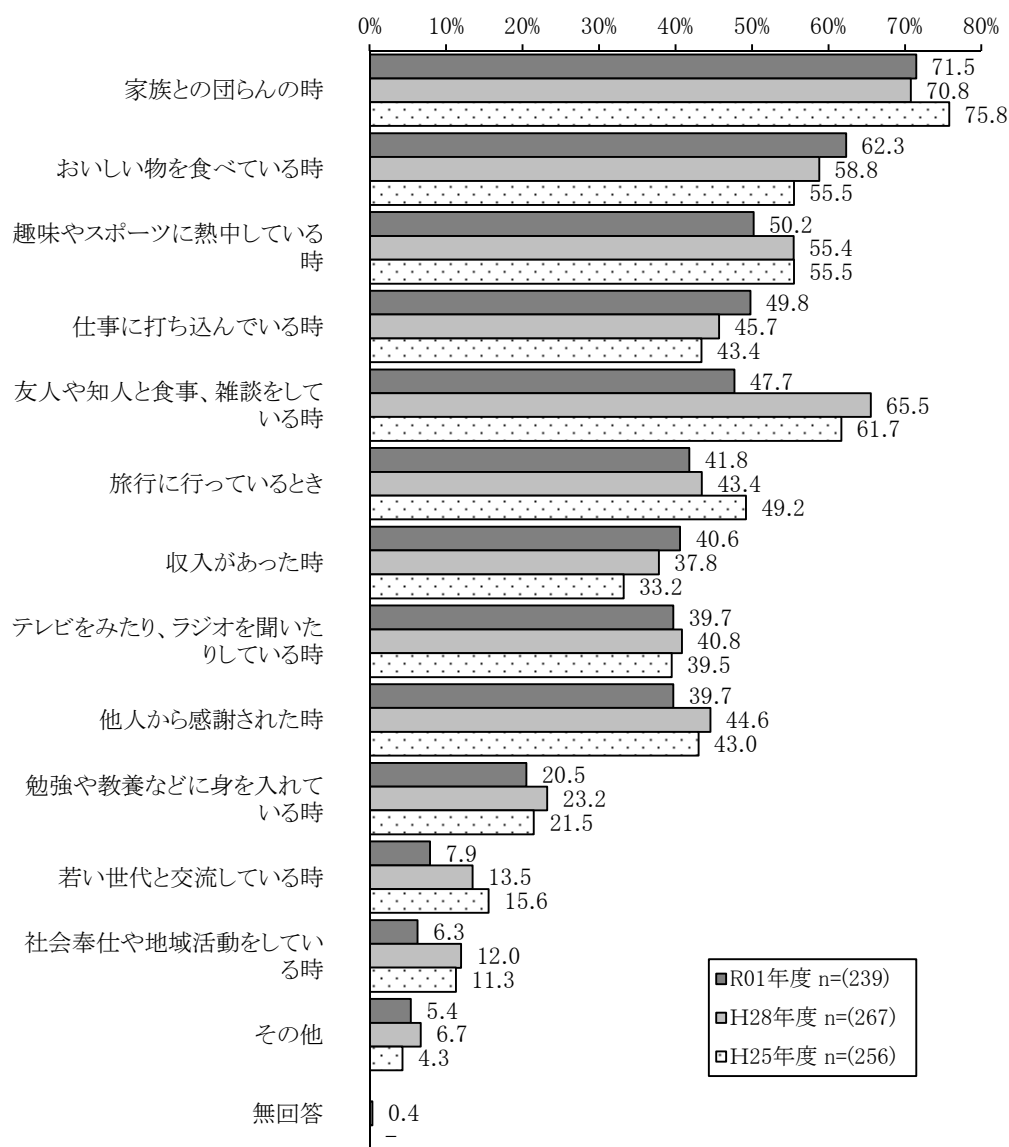
生きがいを感じているかについては、「感じている」(73.1%)が最も高かった。以下、「わからない」(18.3%)、「感じていない」(7.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「感じていない」が1.0ポイント、「わからない」が1.5ポイント高く、「感じている」が3.0ポイント低くなっている。

(14) 生きがいの内容

問25-1 問25で「1. 感じている」と回答した方のみお答えください。
 どのようなことに生きがいを感じますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-14-1 生きがいの内容 全体



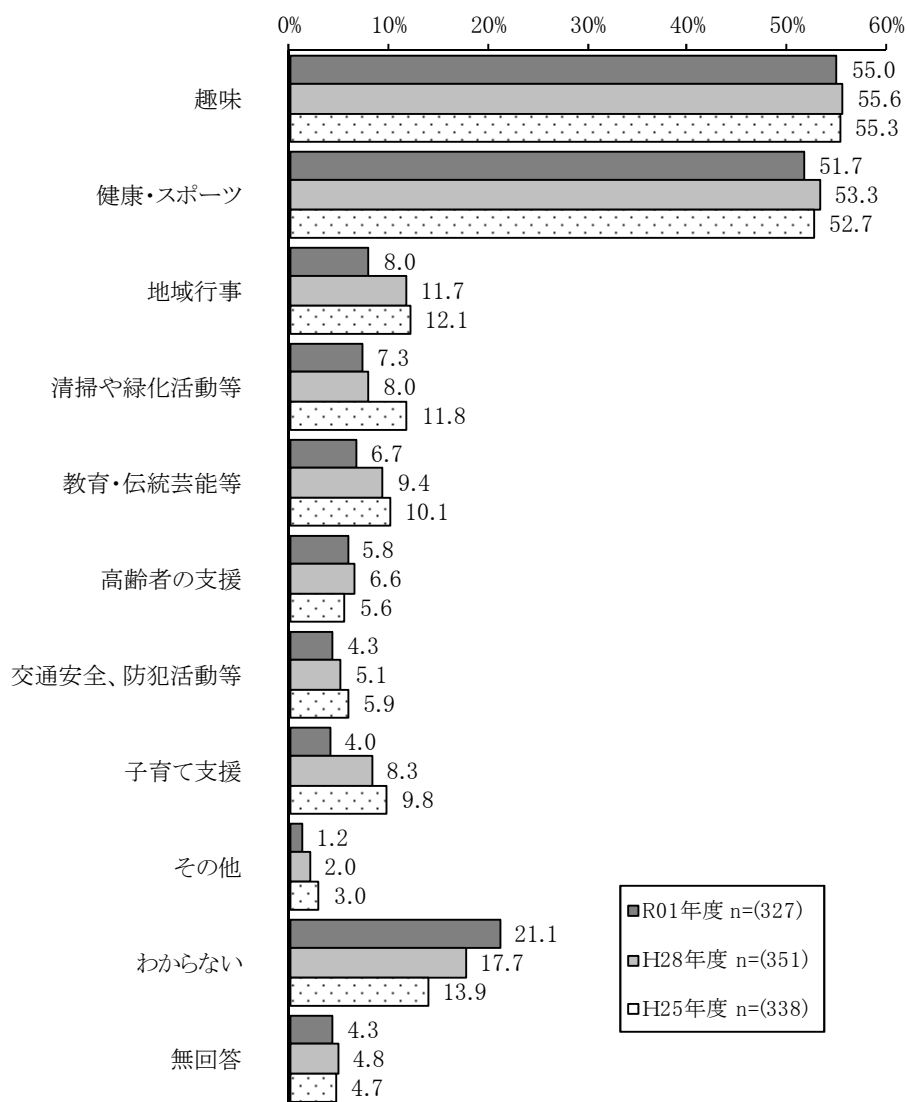
生きがいの内容については、「家族との団らんの時」(71.5%)が最も高かった。以下、「おいしい物を食べている時」(62.3%)、「趣味やスポーツに熱中している時」(50.2%)、「仕事に打ち込んでいる時」(49.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「おいしい物を食べている時」が3.5ポイント、「仕事に打ち込んでいる時」が4.1ポイント、「収入があった時」が2.8ポイント高く、「趣味やスポーツに熱中している時」が5.2ポイント、「友人や知人と食事・雑談をしている時」が17.8ポイント、「他人から感謝された時」が4.9ポイント、「勉強や教養など身を入れている時」が2.7ポイント、「若い世代と交流している時」が5.6ポイント、「社会奉仕や地域活動をしている時」が5.7ポイント低くなっている。

(15) 今後参加したい活動

問26 今後参加したい活動は何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-15-1 今後参加したい活動 全体



今後参加したい活動については、「趣味」(55.0%)が最も高かった。以下、「健康・スポーツ」(51.7%)、「わからない」(21.1%)、「地域行事」(8.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「わからない」が3.4ポイント高く、「地域行事」が3.7ポイント、「教育・伝統芸能」が2.7ポイント、「子育て支援」が4.3ポイント低くなっている。

図表4-15-2 今後参加したい活動 家族構成別

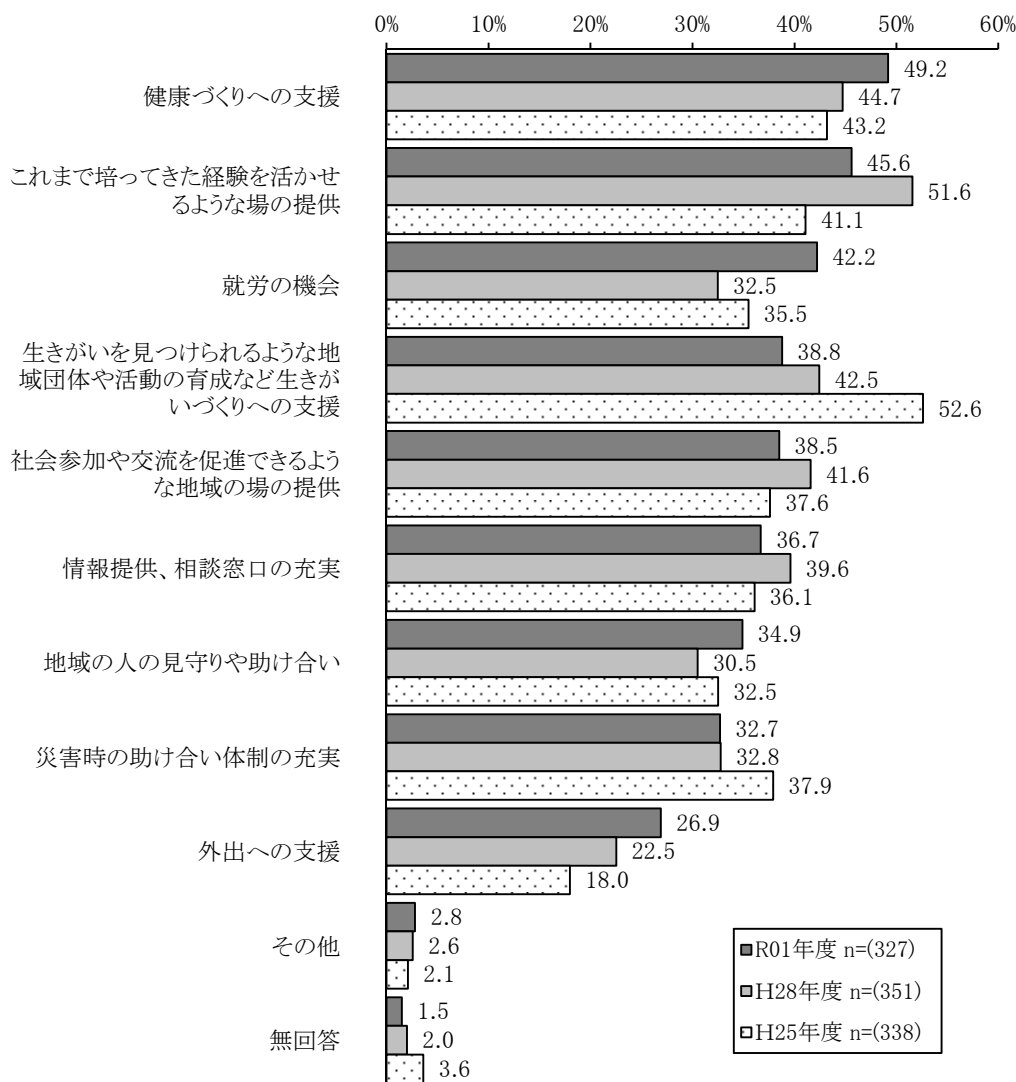
			趣味	健康・スポーツ	地域行事	清掃や緑化活動等	教育・伝統芸能等	高齢者の支援	交通安全、防犯活動等	子育て支援	その他	わからない	無回答
		n											
	全体	327	55.0	51.7	8.0	7.3	6.7	5.8	4.3	4.0	1.2	21.1	4.3
家族構成別	単身	37	54.1	48.6	5.4	13.5	8.1	10.8	-	5.4	-	27.0	-
	夫婦二人暮らし	84	60.7	50.0	13.1	6.0	10.7	1.2	6.0	2.4	1.2	17.9	4.8
	複数世代同居	156	54.5	53.8	5.1	6.4	5.1	4.5	3.8	3.8	1.3	22.4	3.8
	その他	48	47.9	50.0	10.4	8.3	4.2	14.6	6.3	6.3	2.1	18.8	8.3

家族構成別にみると、「趣味」は夫婦二人暮らしが60.7%で最も高く、次いで複数世代同居(54.5%)、単身(54.1%)の順となっている。「健康・スポーツ」は複数世代同居が53.8%で最も高く、夫婦二人暮らし、その他(各50.0%)の順となっている。

(16) 高齢者の社会参加のために地域が取り組むべき活動

問27 高齢者が社会参加しやすいようにするために、地域としてどんなことに取り組んでほしいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-16-1 高齢者の社会参加のために地域が取り組むべき活動 全体



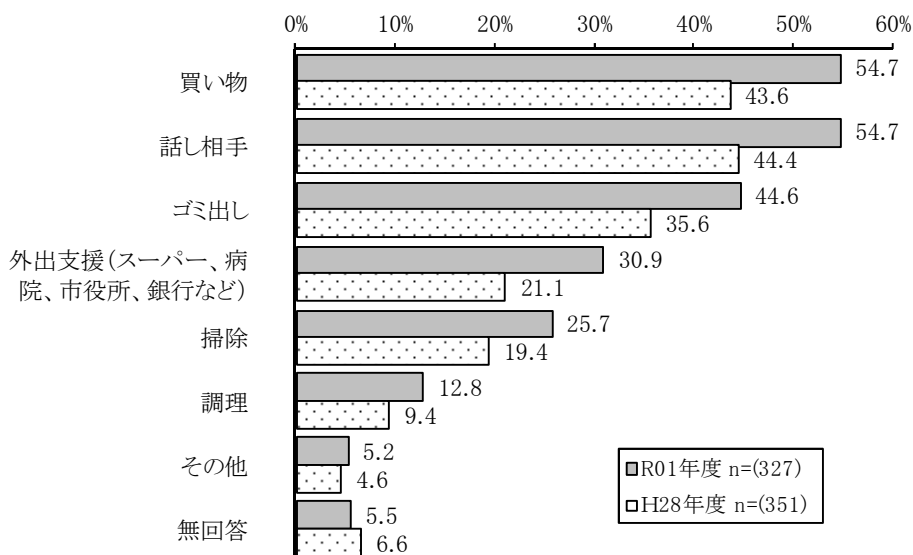
高齢者の社会参加に関する地域が取り組むべき活動については、「健康づくりへの支援」(49.2%)が最も高かった。以下、「これまで培ってきた経験を活かせるような場の提供」(45.6%)、「就労の機会」(42.2%)、「生きがいを見つけられるような地域団体や活動の育成など生きがいづくりへの支援」(38.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「健康づくりへの支援」が4.5ポイント、「就労の機会」が9.7ポイント、「地域の人の見守りや助け合い」が4.4ポイント、「外出への支援」が4.4ポイント高く、「これまで培ってきた経験を活かせるような場の提供」が6.0ポイント、「生きがいを見つけられるような団体や活動の育成など域生きがいづくりへの支援」が3.7ポイント、「社会参加や交流を促進できるような地域の場の提供」が3.1ポイント低くなっている。

(17) あなたができる地域の高齢者支援

問28 あなたは地域の高齢者のためにどんなことができますか。
 (あてはまる番号すべてに○印)

図表4-17-1 あなたができる地域の高齢者支援 全体



あなたができる地域の高齢者支援については、「買い物」と「話し相手」（ともに54.7%）が最も高かった。以下、「ゴミ出し」（44.6%）、「外出支援（スーパー、病院、市役所、銀行など）」（30.9%）となっている。

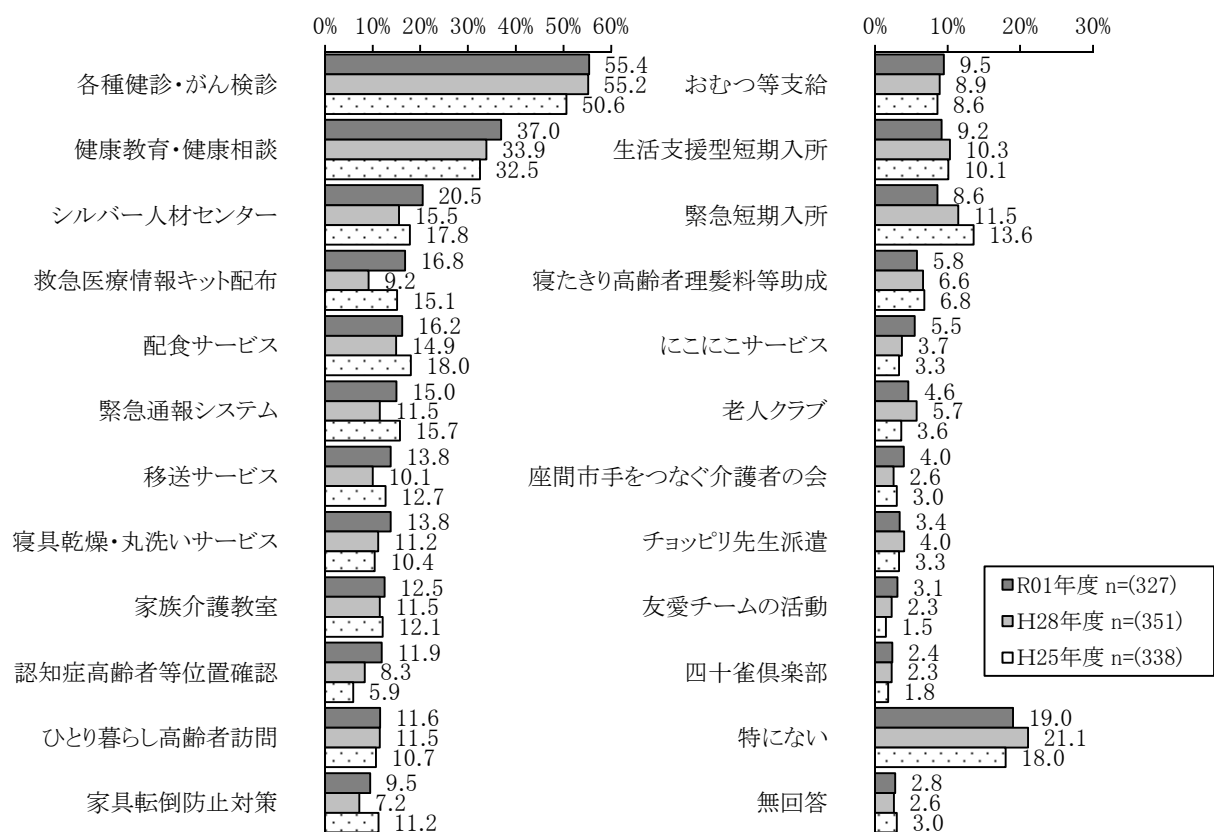
前回調査と比較すると、「買い物」が11.1ポイント、「話し相手」が10.3ポイント、「ゴミ出し」が9.0ポイント、「外出支援（スーパー、病院、市役所、銀行など）」が9.8ポイント、「掃除」が6.3ポイント、「調理」が3.4ポイント高くなっている。

5. 保健福祉サービスについて

(1) 今後利用したいサービス

問29 今後利用したいサービスは何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表5-1-1 今後利用したいサービス 全体



今後利用したいサービスについては、「各種健診・がん検診」(55.4%)が最も高かった。以下、「健康教育・健康相談」(37.0%)、「シルバー人材センター」(20.5%)「救急医療情報キット配布」(16.8%)となっている。一方、「特にない」は19.0%であった。

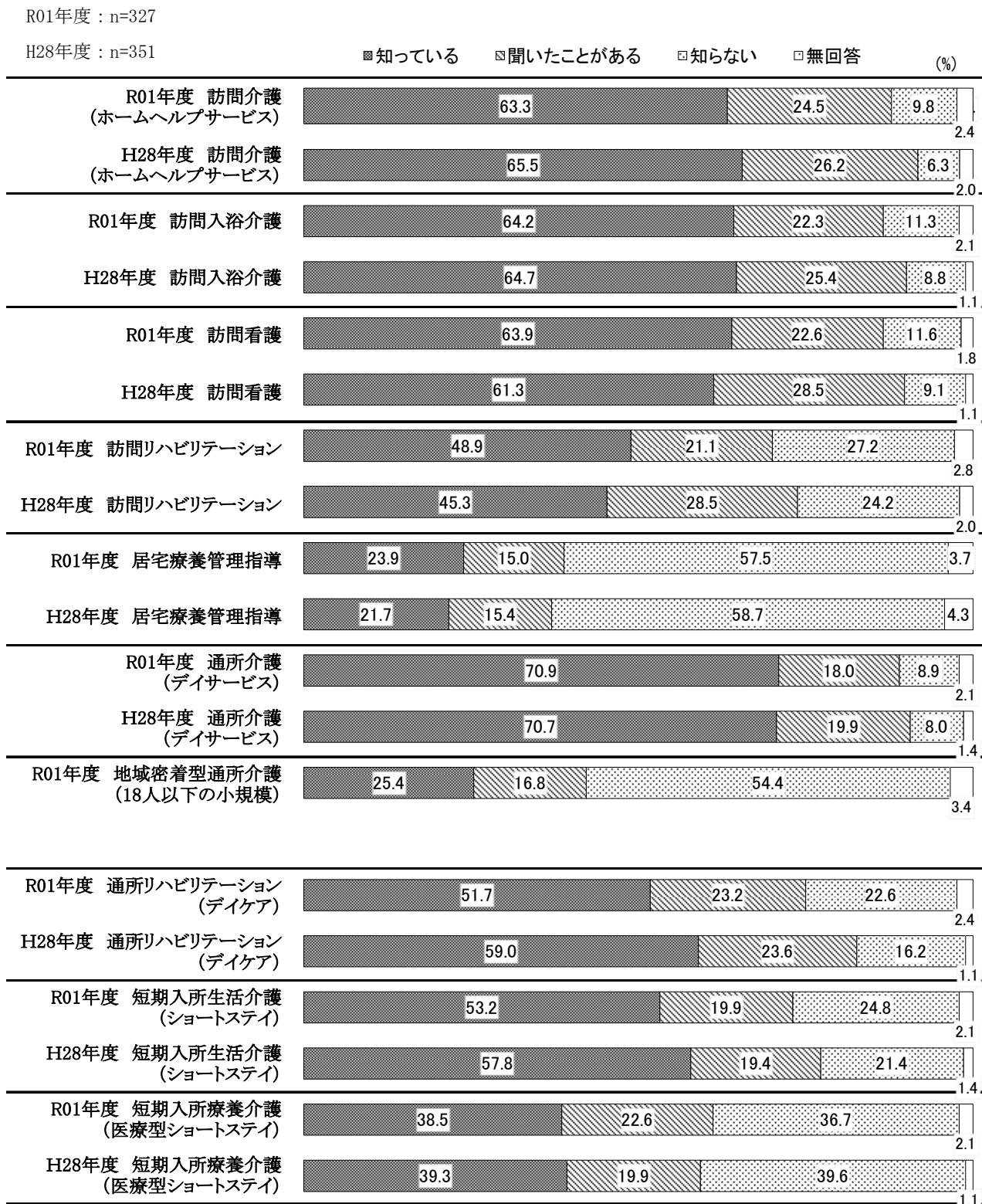
前回調査と比較すると、「健康教育・健康相談」が3.1ポイント、「シルバー人材センター」が5.0ポイント、「救急医療情報キット配布」が7.6ポイント、「緊急通報システム」が3.5ポイント、「認知症高齢者等位置確認」が3.6ポイント高く、「緊急短期入所」が2.9ポイント低くなっている。

6. 介護保険について

(1) 居宅サービスの認知度・利用意向

問30 次の介護保険サービス等についてご存知ですか。また、将来的に介護が必要になった場合、利用したいと思いますか。それぞれの項目について、1つ○印をつけてください。

図表6-1-1 居宅サービスの認知度（1） 全体

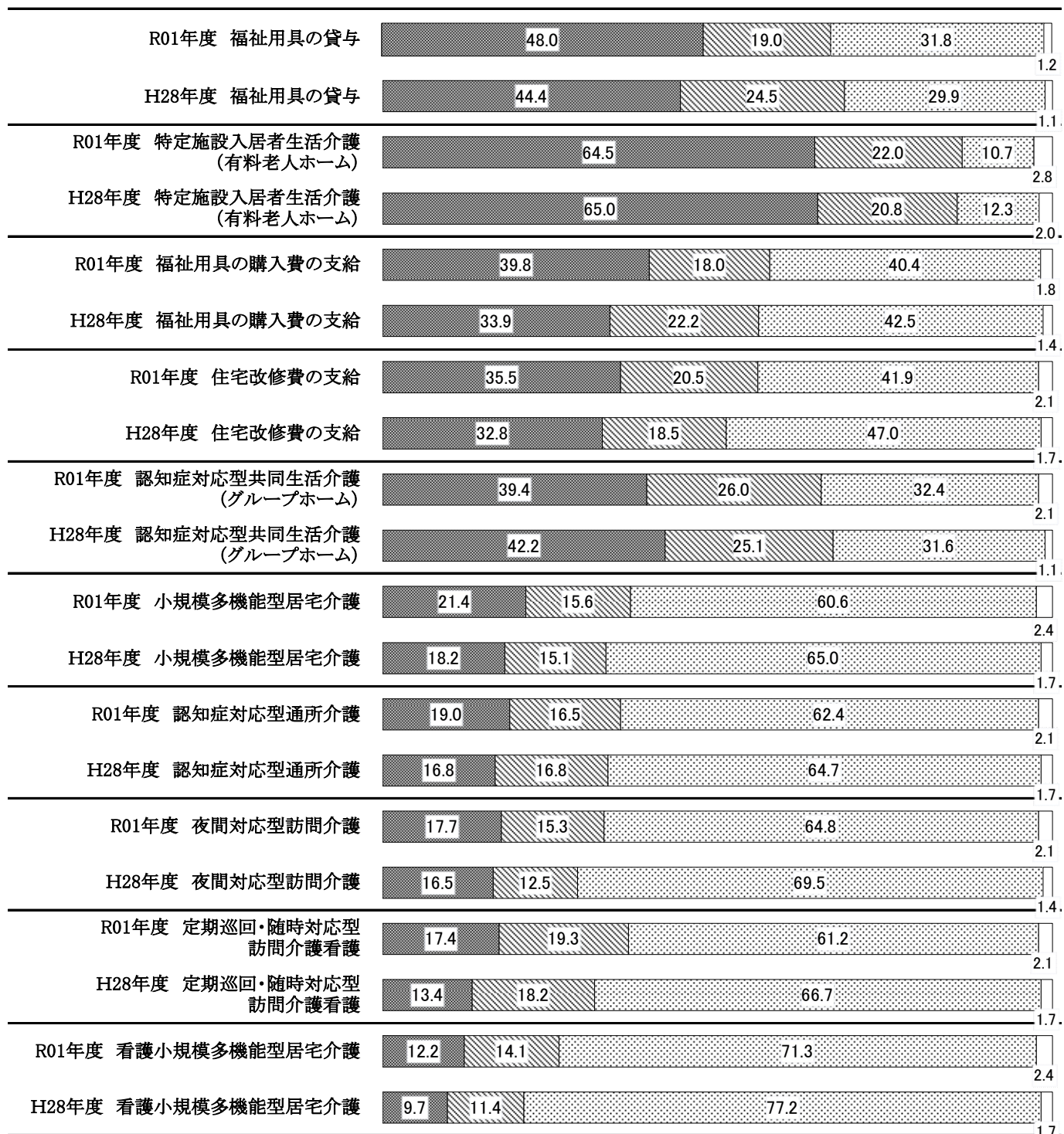


図表6-1-2 居宅サービスの認知度（2） 全体

R01年度：n=327

H28年度：n=351

■知っている □聞いたことがある □知らない □無回答 (%)



「知っている」と回答した割合の高い項目は、「通所介護（デイサービス）」（70.9%）、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）」（64.5%）、「訪問入浴介護」（64.2%）となっている。

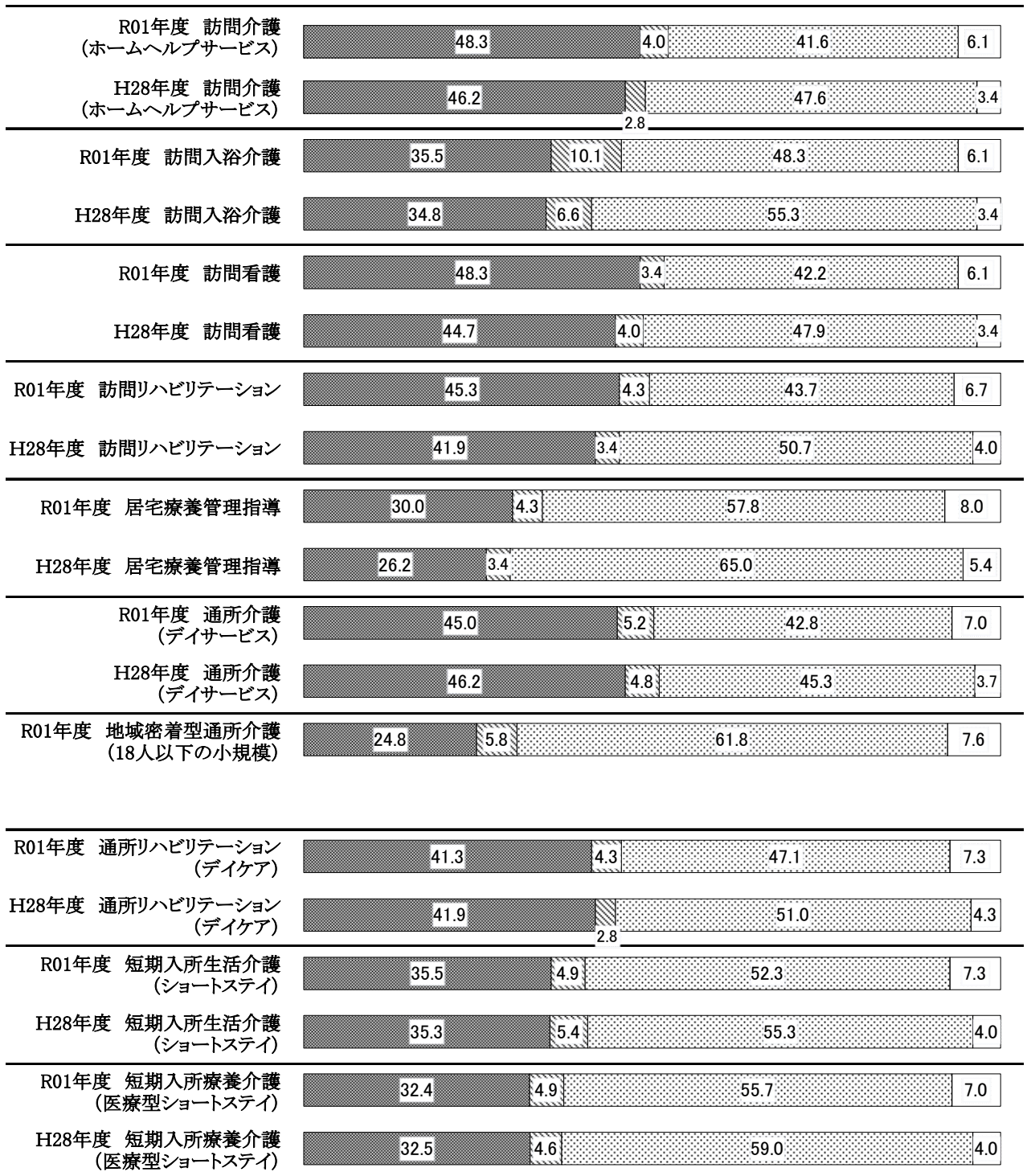
前回調査と比較すると、「知っている」については「福祉用具の購入費の支給」が5.9ポイント高くなっている。

図表6-1-3 居宅サービスの利用意向（1） 全体

R01年度：n=327

H28年度：n=351

■利用したい □利用したくない □わからない □無回答 (%)

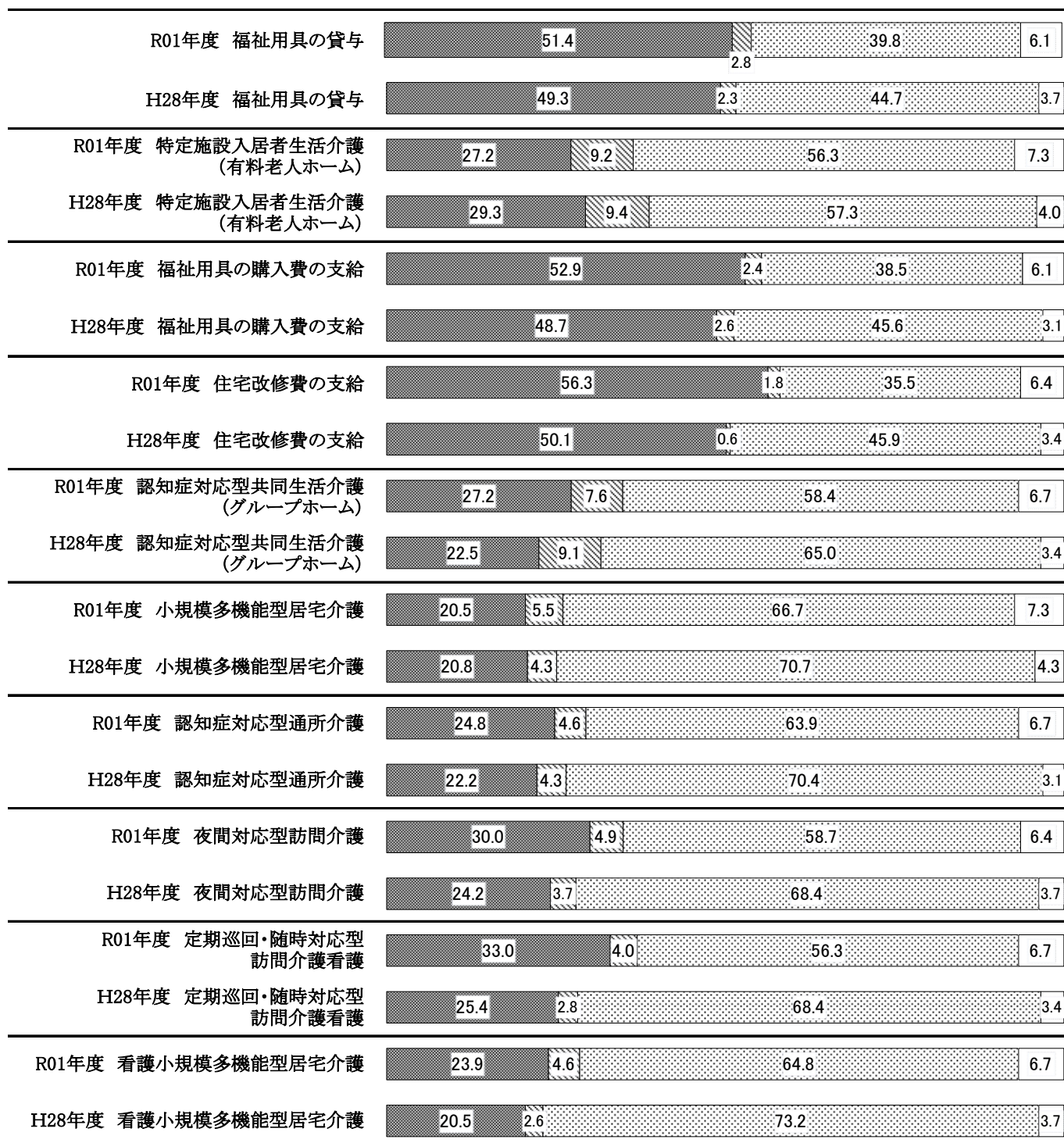


図表6-1-4 居宅サービスの利用意向（2） 全体

R01年度：n=327

H28年度：n=351

■ 利用したい □ 利用したくない □ わからない □ 無回答 (%)



「利用したい」と回答した割合の高い項目は、「住宅改修費の支給」(56.3%)、「福祉用具の購入費の支給」(52.9%)、「福祉用具の貸与」(51.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「利用したい」については「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が7.6ポイント、「住宅改修費の支給」が6.2ポイント、「夜間対応型訪問介護」が5.8ポイント高くなっている。

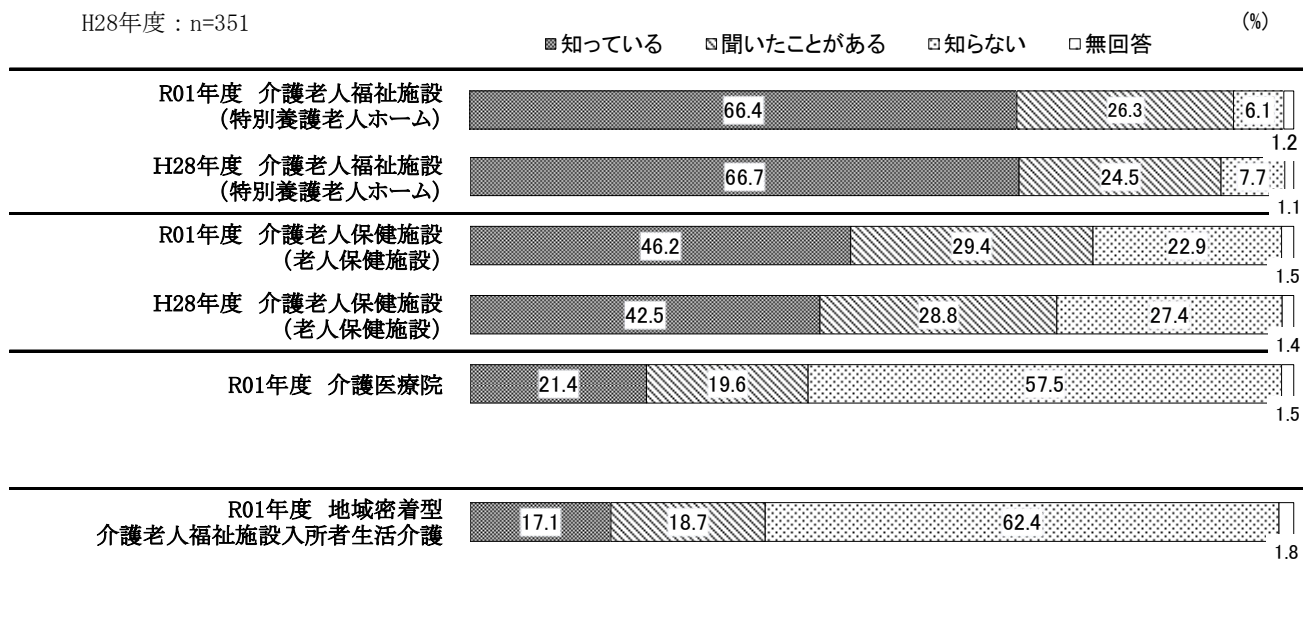
(2) 施設サービスの認知度・利用意向

問30 次の介護保険サービス等についてご存知ですか。また、将来的に介護が必要になった場合、利用したいと思いますか。それぞれの項目について、1つ○印をつけてください。

図表6-2-1 施設サービスの認知度 全体

R01年度：n=327

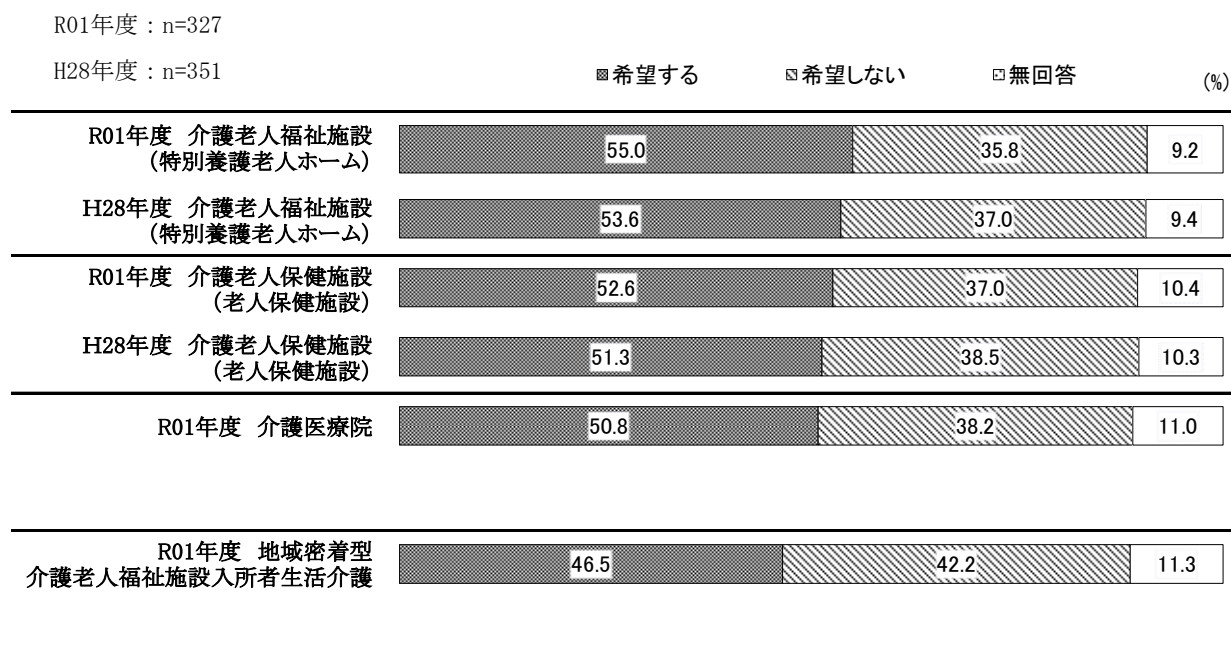
H28年度：n=351



「知っている」と回答した割合の高い項目は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(66.4%) となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が3.7ポイント高くなっている。

図表6-2-2 施設サービスの利用意向 全体



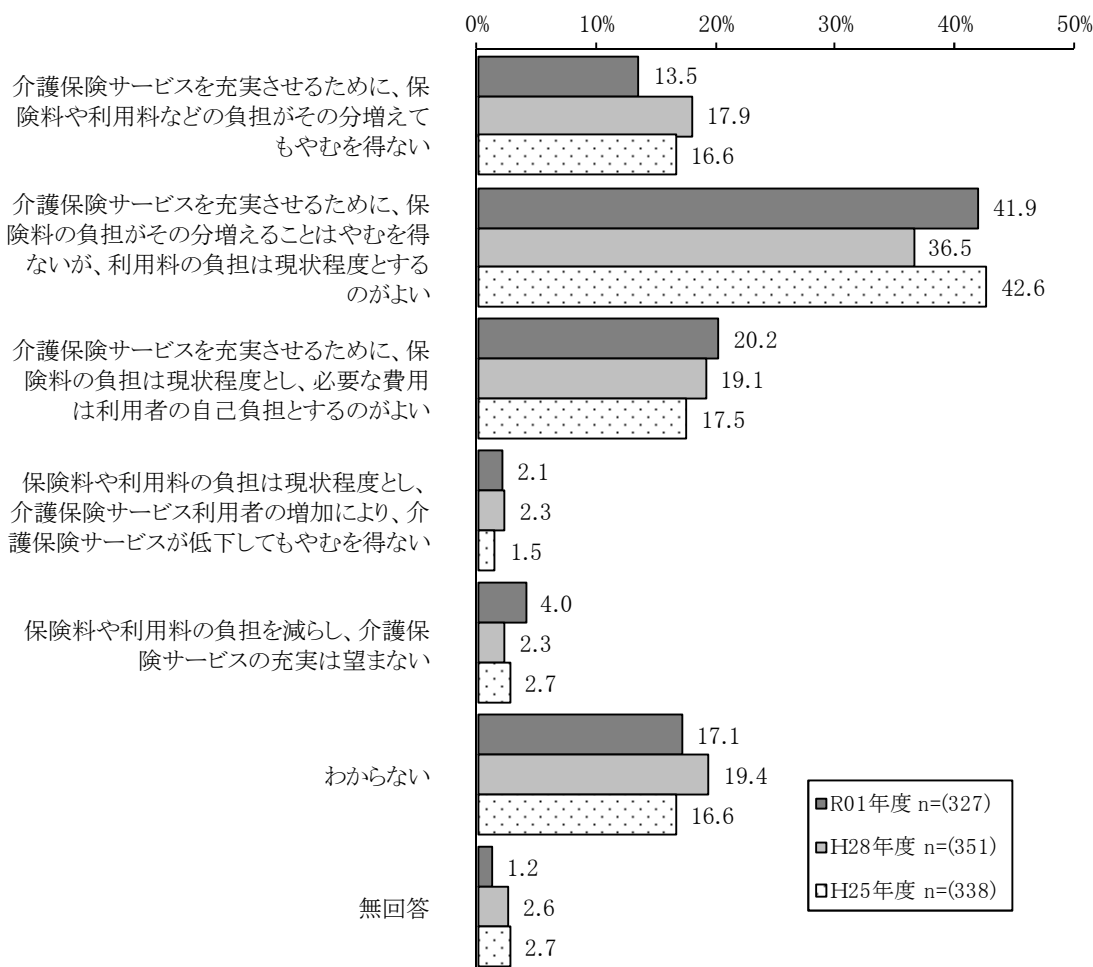
「利用したい」については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（55.0%）、「介護老人保健施設（老人保健施設）」（52.6%）、「介護医療院」（50.8%）が5割を超えている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が1.4ポイント、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が1.3ポイント高くなっている。

(3) 介護保険料の負担増に関する意向

問31 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○印は1つ)

図表6-3-1 介護保険料の負担増に関する意向 全体



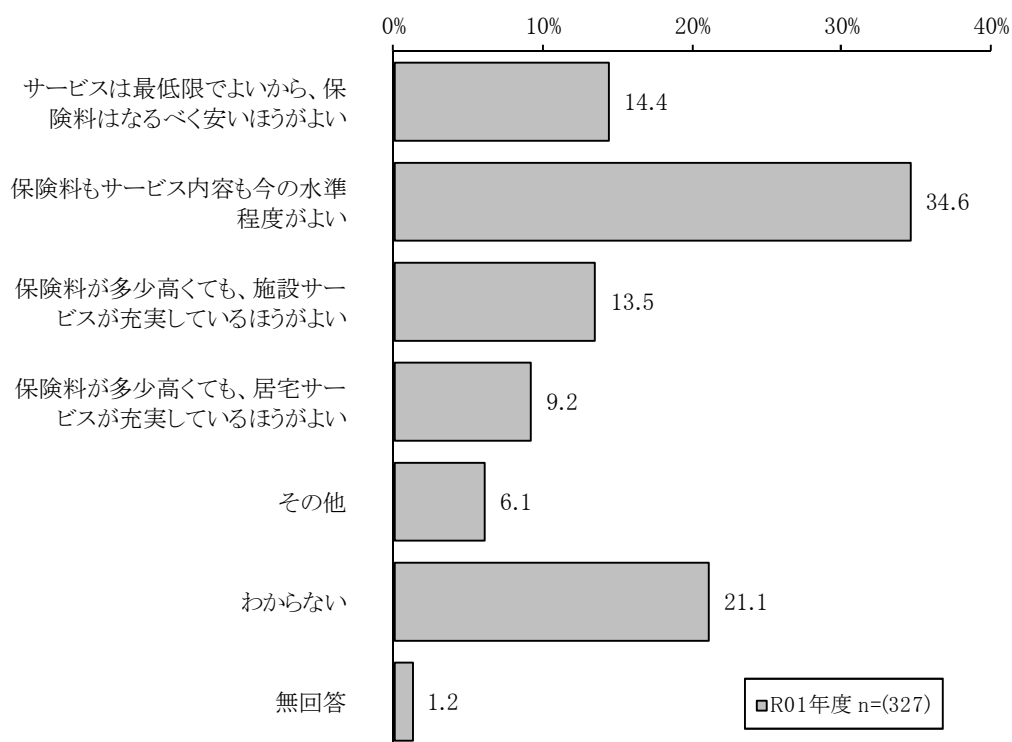
介護保険料の負担増に関する意向については、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい」(41.9%)が最も高かった。以下、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担は現状程度とし、必要な費用は利用者の自己負担とするのがよい」(20.2%)、「わからない」(17.1%)、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」(13.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい」が5.4ポイント高く、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」が4.4ポイント低くなっている。

(4) 介護保険料の料金設定

問32 今後の介護保険料の料金設定の方向性について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。(○印は1つ)

図表6-4-1 介護保険料の料金設定 全体

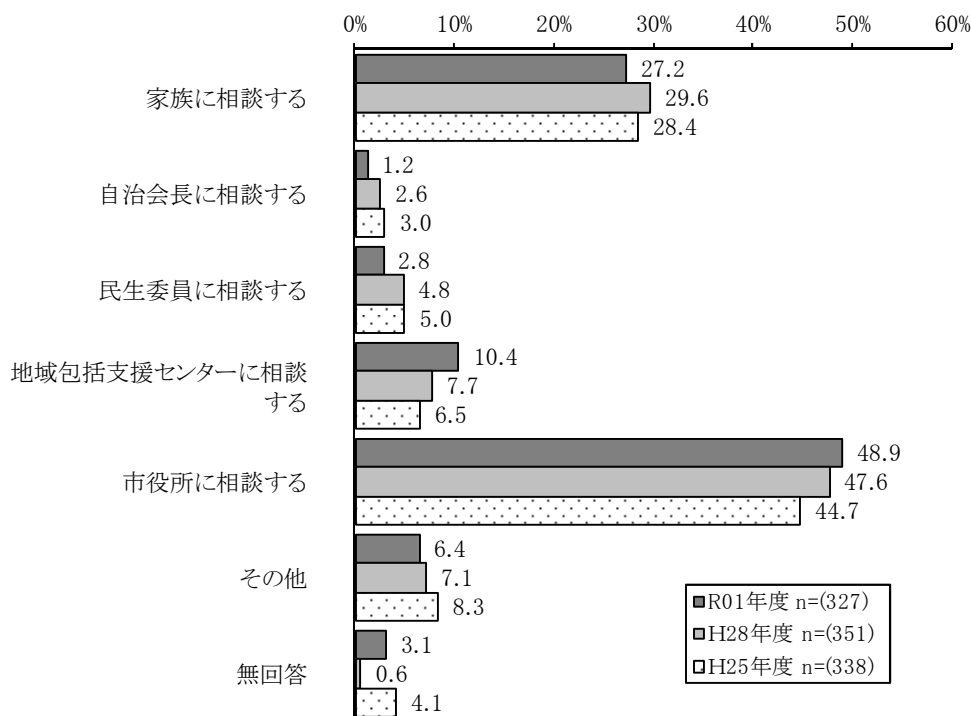


介護保険料の料金設定については、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」(34.6%)が最も高かった。以下、「わからない」(21.1%)、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい」(14.4%)、「保険料が多少高くても、施設サービスが充実しているほうがよい」(13.5%)となっている。

(5) 高齢者虐待を確認した際の対処法

問33 あなたは近所で高齢者虐待と思われることを目にしたとき、どのように対処されますか。(○印は1つ)

図表6-5-1 高齢者虐待を確認した際の対処法 全体



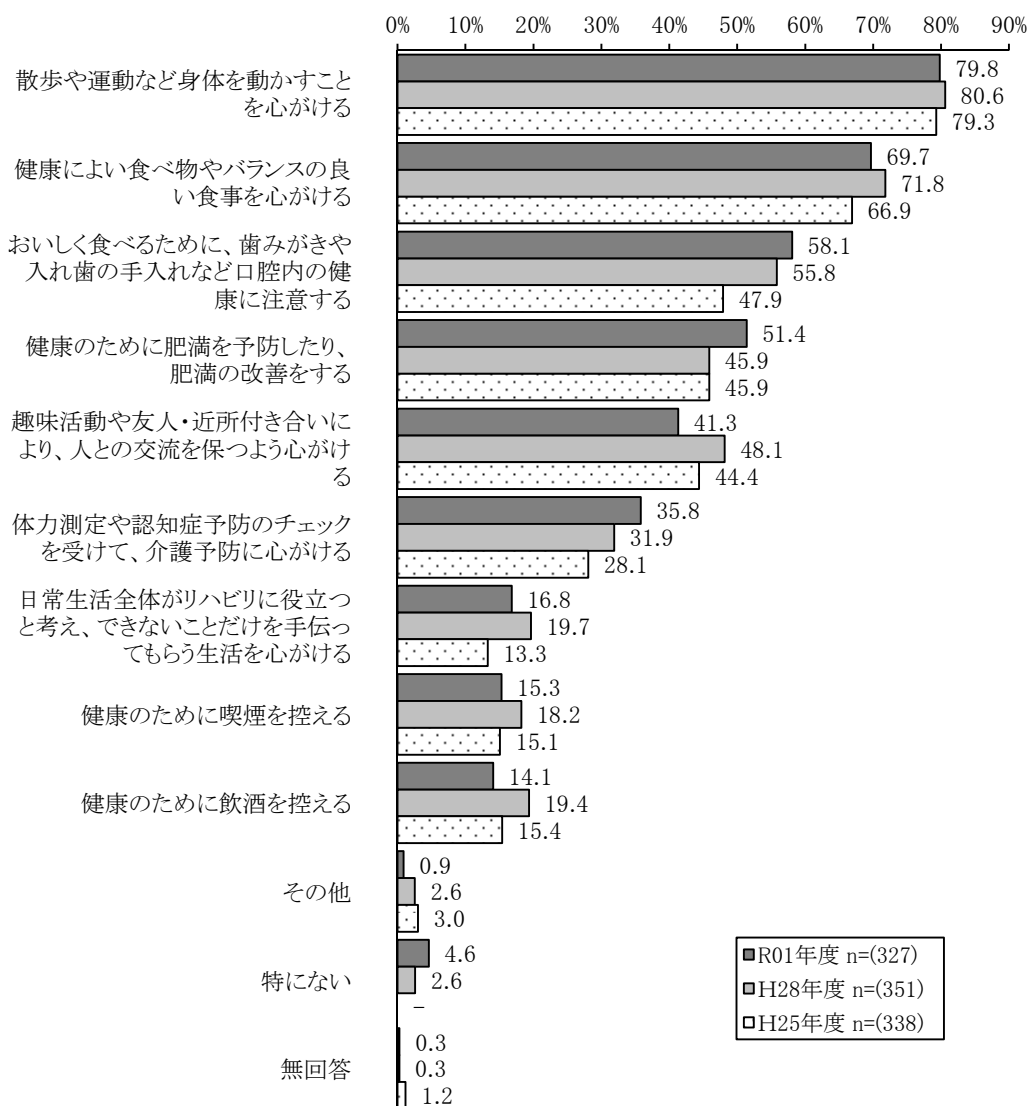
高齢者虐待を確認した際の対処法については、「市役所に相談する」(48.9%)が最も高かった。以下、「家族に相談する」(27.2%)、「地域包括支援センターに相談する」(10.4%)、「その他」(6.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」が2.7ポイント高く、「家族に相談する」が2.4ポイント、「民生委員に相談する」が2.0ポイント低くなっている。

(6) 健康づくりへの取り組み

問34 あなたが現在取り組んでいる、またはこれから取り組みたい健康づくりは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表6-6-1 健康づくりへの取り組み 全体



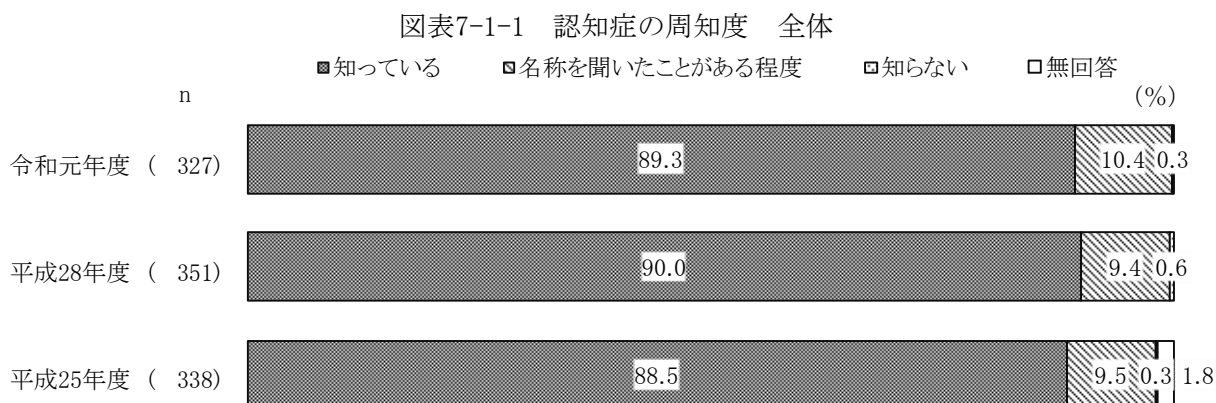
健康づくりへの取り組みについては、「散歩や運動など身体を動かすことを心がける」(79.8%)が最も高かった。以下、「健康によい食べ物やバランスの良い食事を心がける」(69.7%)、「おいしく食べるために、歯みがきや入れ歯の手入れなど口腔内の健康に注意する」(58.1%)、「健康のために肥満を予防したり、肥満の改善をする」(51.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「健康のために肥満を予防したり、肥満を改善する」が5.5ポイント、「おいしく食べるために、歯磨きや入れ歯の手入れなど口腔内の健康に注意する」が2.3ポイント、「体力測定や認知症予防のチェックを受けて、介護予防に心がける」が3.9ポイント高く、「趣味活動や友人・知人付き合いにより、人との交流を保つように心がける」が6.8ポイント、「日常生活全体がリハビリに役立つと考え、できないことだけを手伝ってもらう生活を心がける」が2.9ポイント、「健康のために喫煙を控える」が2.9ポイント、「健康のために飲酒を控える」が5.3ポイント低くなっている。

7. 認知症の周知度や理解について

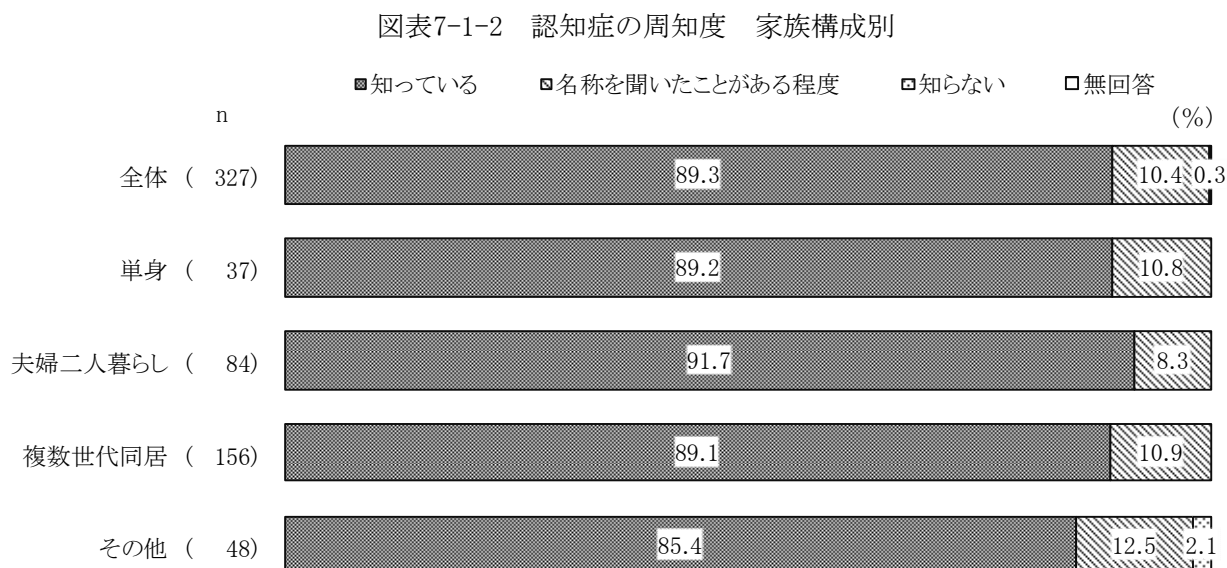
(1) 認知症の周知度

問35 あなたは、認知症のことを知っていますか。(○印は1つ)



認知症の周知度については、「知っている」(89.3%)が最も高かった。以下、「名称を聞いたことがある程度」(10.4%)、「知らない」(0.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「名称を聞いたことがある」が1.0ポイント高く、「知っている」が0.7ポイント低くなっている。

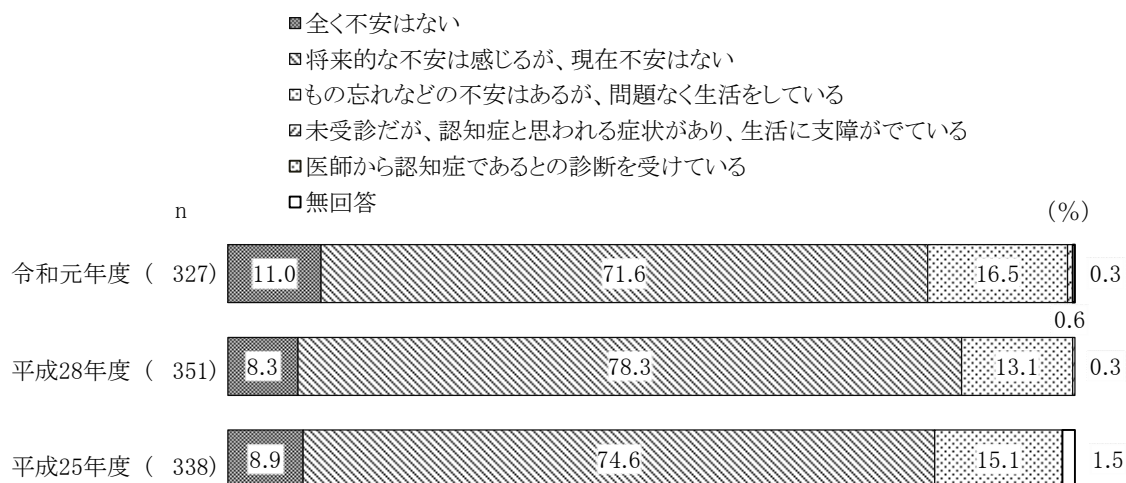


家族構成別にみると、「知っている」は夫婦二人暮らしが91.7%で最も高く、次いで単身(89.2%)、複数世帯同居(89.1%)の順となっている。「名称を聞いたことがある程度」は、そのほか12.5%で最も高く、次いで複数世代同居(10.9%)、単身(10.8%)の順となっている。

(2) 認知症に関して感じる不安

問36 あなたは、認知症に関して何らかの不安を感じることはありますか。(○印は1つ)

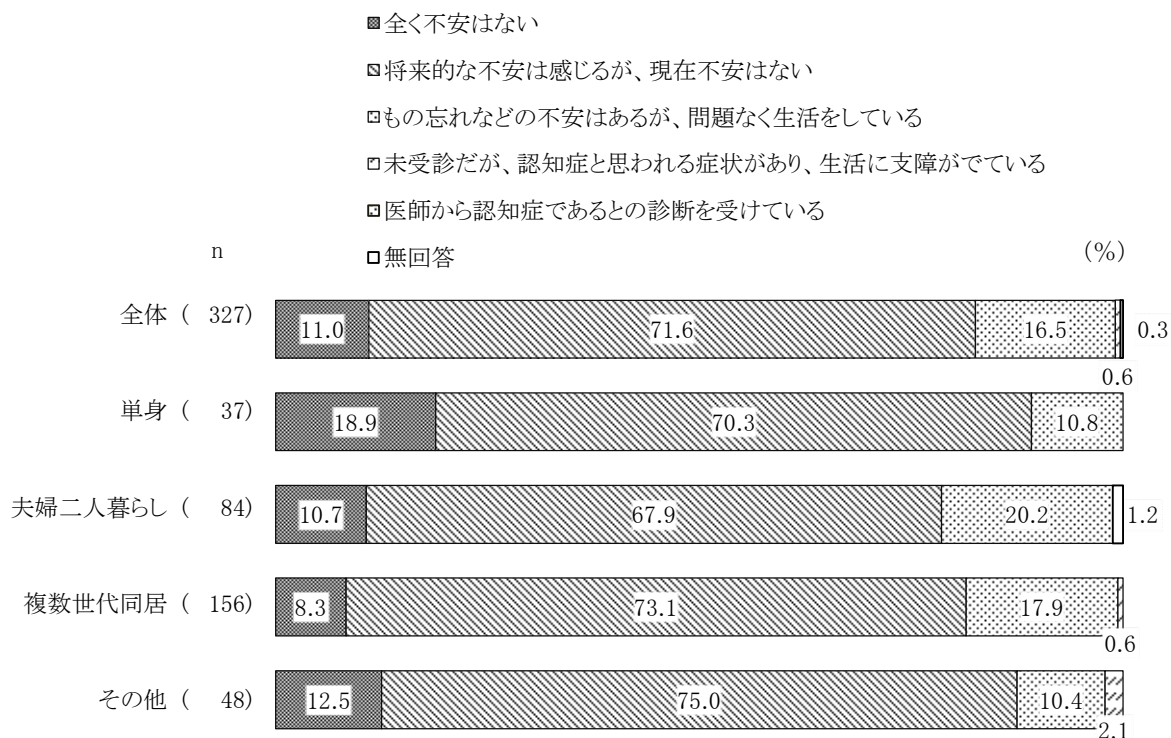
図表7-2-1 認知症に関して感じる不安 全体



認知症に関して感じる不安については、「将来的な不安を感じるが、現在不安はない」(71.6%)が最も高かった。以下、「もの忘れなどの不安はあるが、問題なく生活をしている」(16.5%)、「全く不安はない」(11.0%)、「未受診だが、認知症と思われる症状があり、生活に支障がでている」(0.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「全く不安を感じない」が2.7ポイント、「もの忘れなどの不安はあるが、問題なく生活している」が3.4ポイント高く、「将来的な不安を感じるが、現在不安はない」が6.7ポイント低くなっている。

図表7-2-2 認知症に関して感じる不安 家族構成別

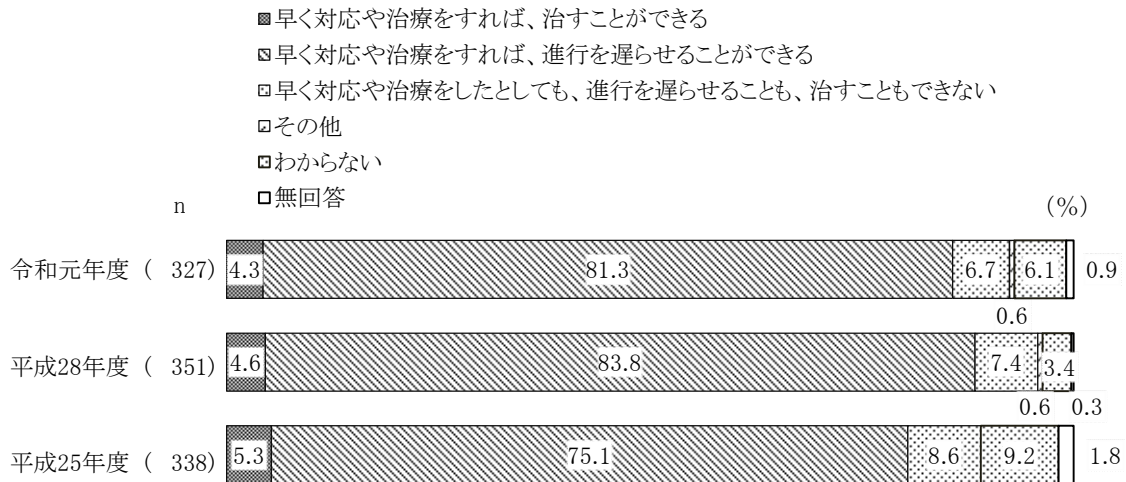


家族構成別にみると、「全く不安は感じない」は単身が 18.9%で最も高く、次いでその他 (12.5%)、夫婦二人暮らし (10.7%) の順となっている。「将来的な不安を感じるが、現在不安はない」はその他が 75.0%で最も高く、次いで複数世代同居 (73.1%)、単身 (70.3%) の順となっている。「もの忘れなどの不安はあるが、問題なく生活している」は夫婦二人暮らしが 20.2%で最も高く、次いで複数世代同居 (17.9%)、単身 (10.8%) の順となっている。

(3) 認知症の対応や治療に関するイメージ

問37 あなたは、認知症の対応や治療に関して、どのようなイメージがありますか。(○印は1つ)

図表7-3-1 認知症の対応や治療に関するイメージ 全体



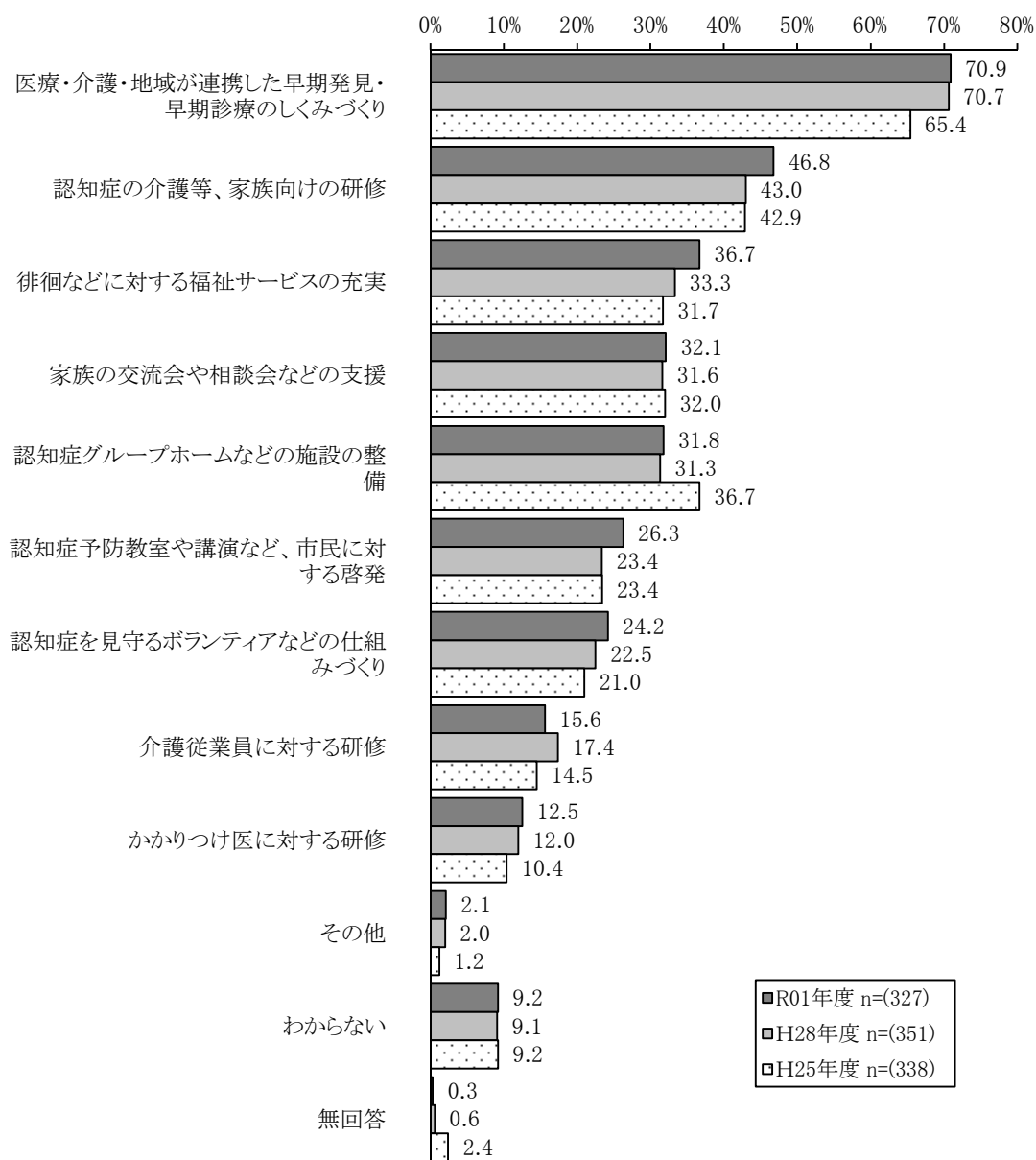
認知症の対応や治療に関するイメージについては、「早く対応や治療をすれば、進行を遅らせることができる」(81.3%)が最も高かった。以下、「早く対応や治療をしたとしても、進行を遅らせることも、治すこともできない」(6.7%)、「わからない」(6.1%)、「早く対応や治療をすれば、治すことができる」(4.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「早く対応や治療をすれば、進行を遅らせることができる」が2.5ポイント低くなっている。

(4) 認知症対策で重点をおくべき事項

問38 あなたは、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表7-4-1 認知症対策で重点をおくべき事項 全体



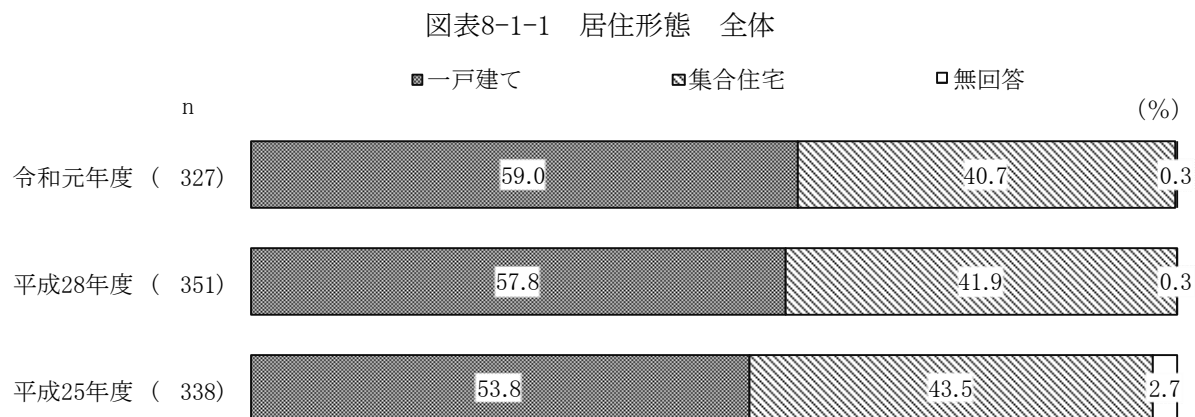
認知症対策で重点をおくべき事項については、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診療のしくみづくり」(70.9%)が最も高かった。以下、「認知症の介護等、家族向けの研修」(46.8%)、「徘徊などに対する福祉サービスの充実」(36.7%)、「家族の交流会や相談会などの支援」(32.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「認知症の介護等、家族向けの研修」が3.8ポイント、「徘徊などに対する福祉サービスの充実」が3.4ポイント、「認知症予防教室や講演など、市民に対する啓発」が2.9ポイント高くなっている。

8. 居住環境について

(1) 居住形態

問39 あなたのお住まいは、一戸建て、または集合住宅ですか。(○印は1つ)



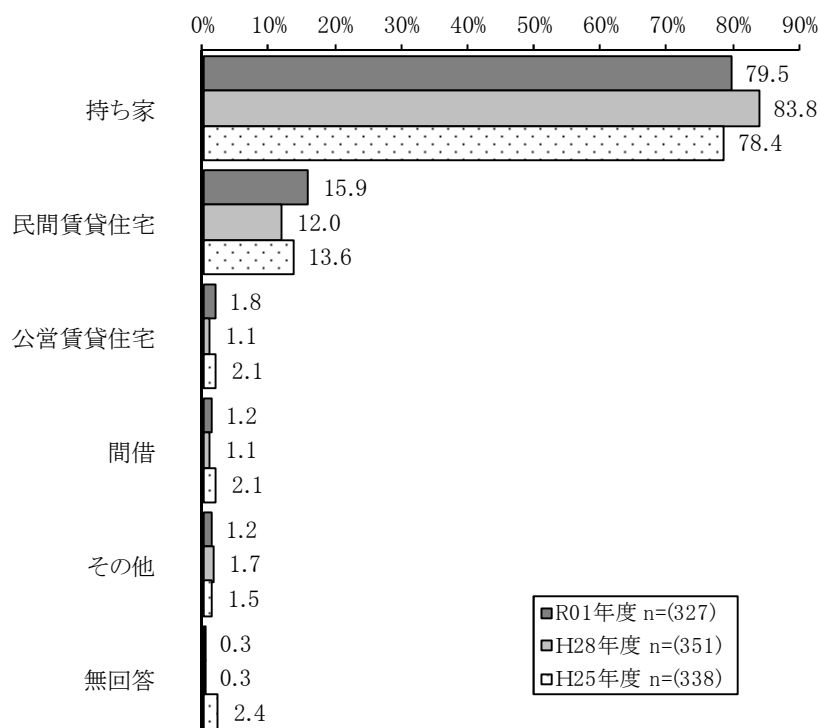
居住形態については、「一戸建て」は59.0%、「集合住宅」は40.7%となっている。

前回調査と比較すると、「一戸建て」が1.2ポイント高く、「集合住宅」が1.2ポイント低くなっている。

(2) 居住種別

問40 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。(○印は1つ)

図表8-2-1 居住種別 全体



居住種別については、「持ち家」(79.5%)が最も高かった。以下、「民間賃貸住宅」(15.9%)、「公営賃貸住宅」(1.8%)、「間借」(1.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「民間賃貸住宅」が3.9ポイント高く、「持ち家」が4.3ポイント低くなっている。

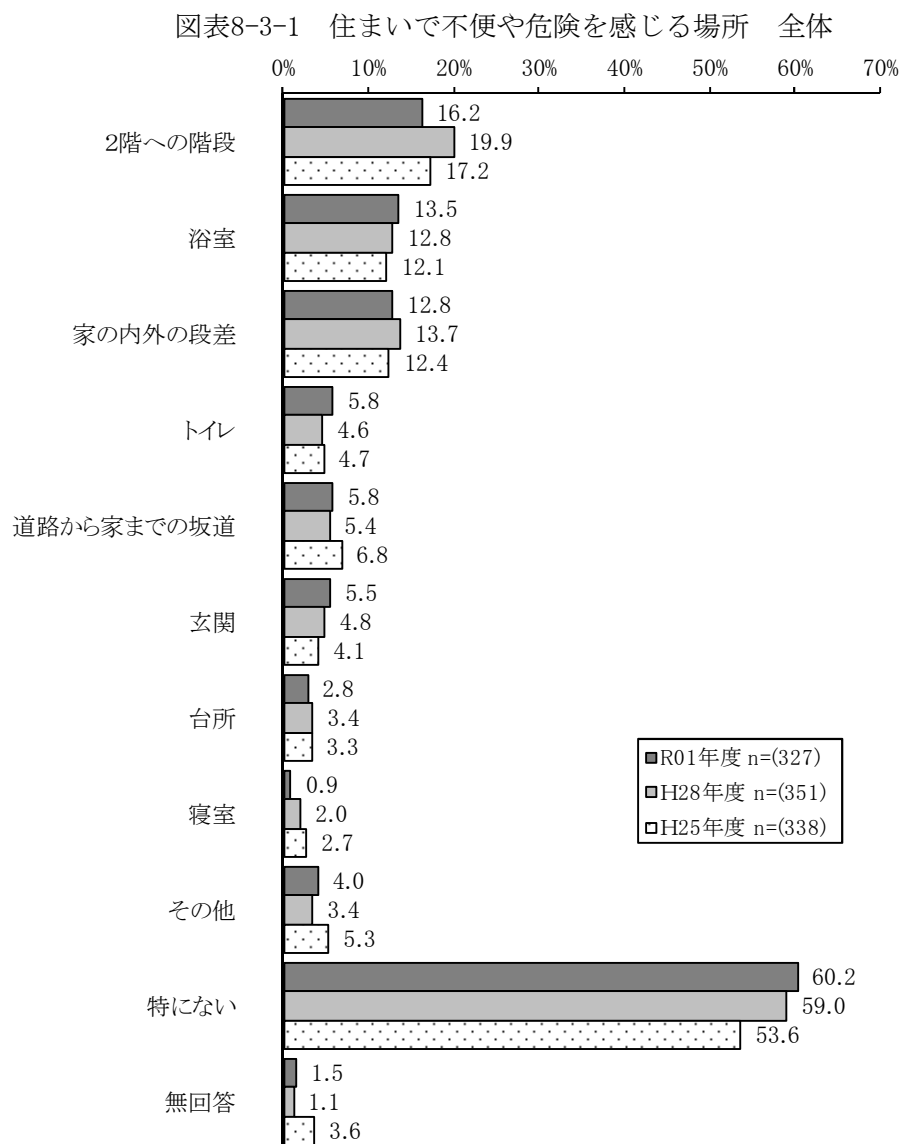
図表8-2-2 居住種別 居住形態別

		(%)						
		n	持ち家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅	間借	その他	無回答
	全体	327	79.5	15.9	1.8	1.2	1.2	0.3
居住形態別	一戸建て	193	95.3	3.1	-	0.5	1.0	-
	集合住宅	133	57.1	34.6	4.5	2.3	1.5	-

居住形態別にみると、「持ち家」は一戸建てで95.3%と高い。「民間賃貸住宅」は集合住宅で34.6%と高くなっている。

(3) 住まいで不便や危険を感じる場所

問41 現在のお住まいで、不便なところや危ないと思ったところがありますか。
 (あてはまる番号すべてに○印)



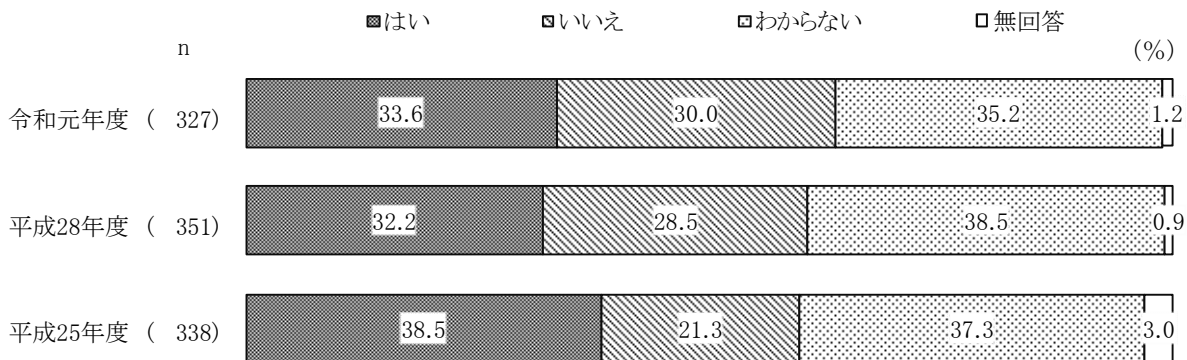
住まいで不便や危険を感じる場所については、「特にない」(60.2%)が最も高かった。一方具体的な選択肢の中では、「2階への階段」(16.2%)、「浴室」(13.5%)、「家の内外の段差」(12.8%)の順になっている。

前回調査と比較すると、「2階への階段」が3.7ポイント低くなっている。

(4) 将来的な住宅改修の意向

問42 将来、手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修がしたいですか。(○印は1つ)

図表8-4-1 将来的な住宅改修の意向 全体

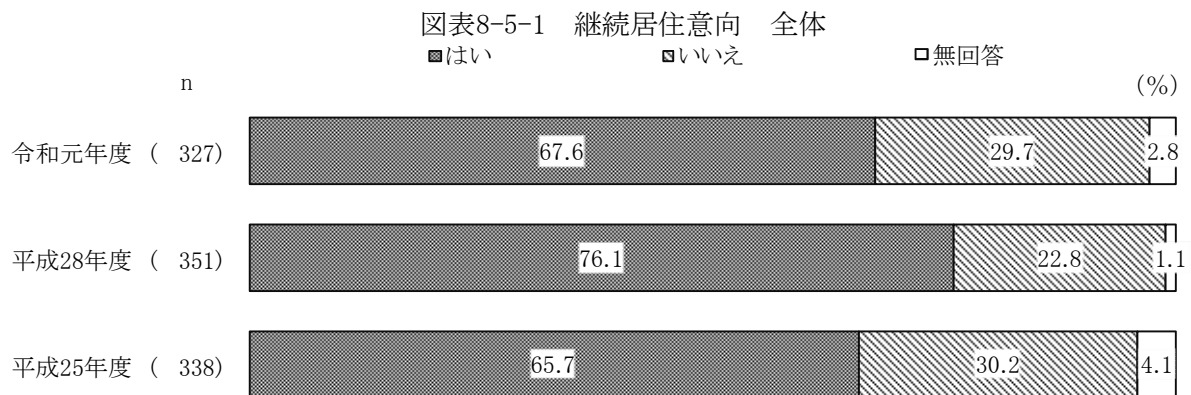


将来的な住宅改修の意向については、「わからない」(35.2%)が最も高かった。以下、「はい」(33.6%)、「いいえ」(30.0%)、「無回答」(1.2%)となっている。

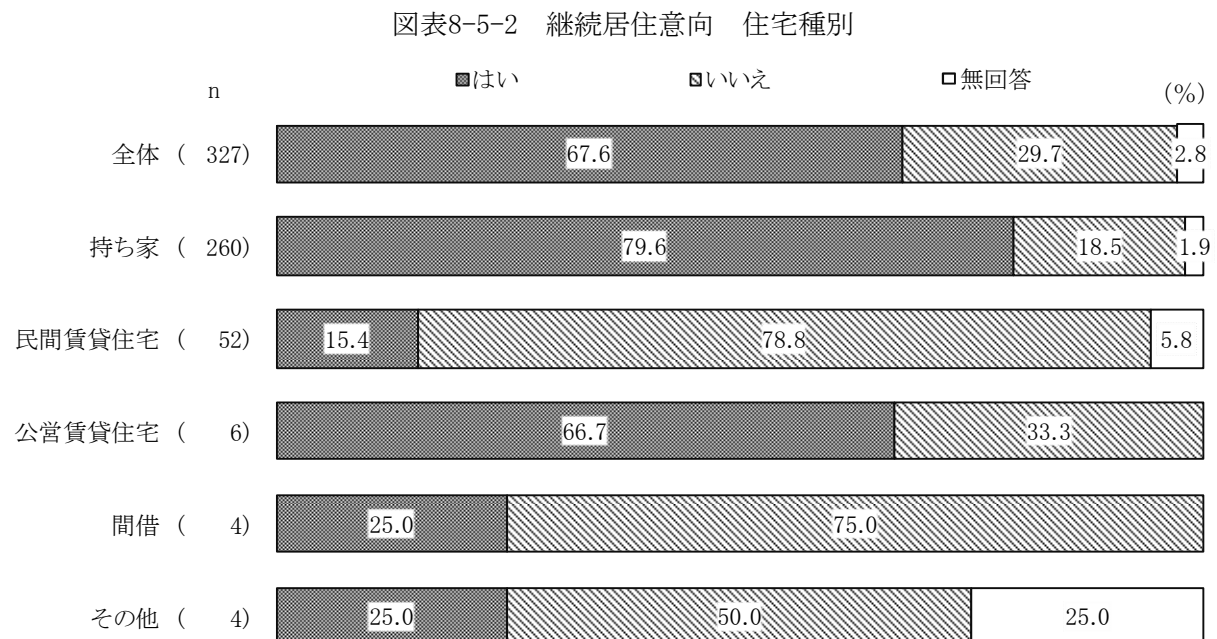
前回調査と比較すると、「はい」が1.4ポイント、「いいえ」が1.5ポイント高く、「わからない」が3.3ポイント低くなっている。

(5) 継続居住意向

問43 現在住んでいる所に、将来も住み続けたいですか。(○印は1つ)



継続居住意向については、「はい」が67.6%を占めていた。一方、「いいえ」は29.7%となっている。前回調査と比較すると、「はい」が8.5ポイント少なくなっている。

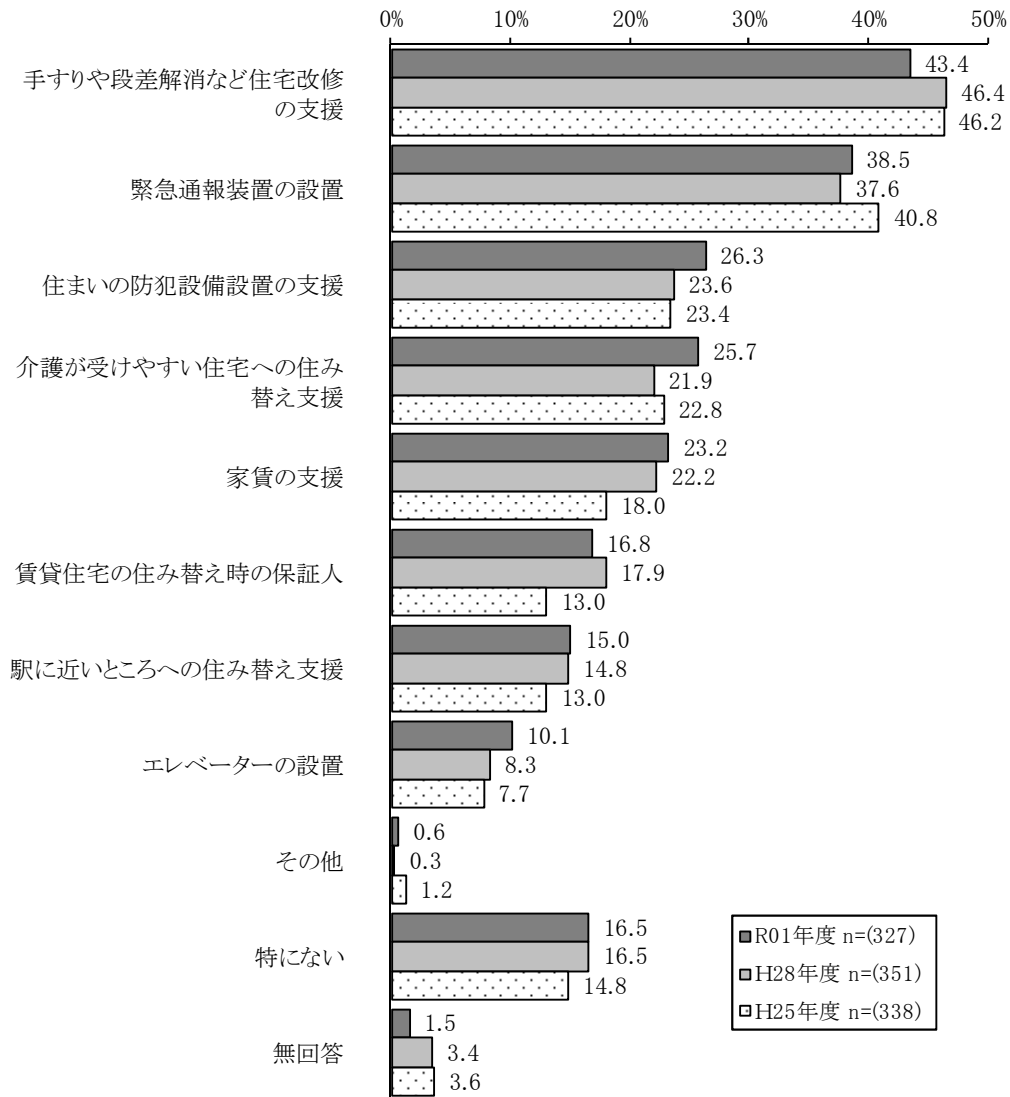


住宅種別にみると、「はい」は持ち家で79.6%と高い。「いいえ」は民間賃貸住宅で78.8%と高い。

(6) 住まいに関して必要な支援

問44 住まいに関して、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

図8-6-1 住まいに関して必要な支援 全体



住まいに関して必要な支援については、「手すりや段差解消など住宅改修の支援」(43.4%)が最も高かった。以下、「緊急通報装置の設置」(38.5%)、「住まいの防犯設備設置の支援」(26.3%)、「介護が受けやすい住宅への住み替え支援」(25.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「介護が受けやすい住宅への住み替え支援」が3.8ポイント、「住まいの防犯設備設置の支援」が2.7ポイント高く、「手すりや段差解消など住宅改修の支援」が3.0ポイント低くなっている。

9. 自由回答

問45 介護保険や高齢者保健福祉のことで、ご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

介護保険や高齢者保健福祉のことについて、55人から回答があった。大分類ごとに、主な意見を示す。なお、内容は意見の趣旨を損なわないよう一部要約したのものもある。

市・行政への要望	情報提供	相談・不安	介護保険制度全般	介護保険料・負担感	施設の整備	介護人材	保健・医療全般	その他
12	9	7	7	3	3	2	1	13

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【市・行政への要望】

- ・座間市は税金が高すぎる。乳児医療の所得制限など、ある程度はしかたがないが、年収だけで判断してほしくない。年金を払ってこなかった人が高齢になり、公的な援助を受けるのは不公平だと思う。少しでも働いて自立する方法を取れないか考えて欲しい。
- ・今後、高齢者の増加にともない、税収入の減少となるにもかかわらず、少子化対策ばかりに力を入れ過ぎではないかと思うことが多々あります。介護を必要とする人を家族にもつ人達が孤立しない為の対策や施設などの充実重点を置いた予算の使い方をして欲しいと思います。
- ・市役所を筆頭に座間の公共施設はどこも駅から遠くはなれているので不便で仕方ない。せめて年寄りだけでも無料でルートバスに乗れるようにしてもいいのではないのでしょうか。座間市の行政は他の市に比べて消極的かつ保守的でとても良いとは思えない。他の市を見習ってもっと住みやすい市にしてほしいです。
- ・将来的に介護ロボットなどを取り入れてもらいたい。
- ・59才で自営で仕事をしているので、先のことまであまり想像できないが、高齢者に住み良い地域になってほしい。
- ・周囲に、そのような人がいないのであまり意識したことがない。行政は、介護や高齢者を考えがちだが、若い世代（保育園等）や小中高生などの公園とか非行に走らない地域等を考えるのが必要だと思います。全ては、なかなか難しいですが、常に全体を見る姿勢が必要だと思います。頑張って座間を良くしましょう。市民も協力しますよ。
- ・相談時に、マニュアル通りの上辺だけの接し方でなく、本当に心から相手の気持ちになって寄り添い親身になって相談に乗ってくれる状況を望む。

【情報提供】

- ・介護を受ける前の支援の充実も考えて欲しい。なるべく行政や人に頼らず”自立”して永く暮らせる為は何をすべきなのか、何をすべきでないのかを知りたいと思う。困っている人を助けるのも必要だが、困らない様にするにはどうしたら良いのか、老いていく過程での課題が分かれば良いのと思う。
- ・将来、介護する側になった場合、介護方法や支援の受け方、補助金申請方法等の相談先を周知していただきたい。また、土・日でも相談出来るようになっていたら良いと思います。現状、家族、両親の介護は必要ない状況なので、情報のインプットが少ないです。ただし、いつかは…と思っているので、不安ではあります。
- ・インターネットなどを利用し、気軽に申請手続き出来る仕組みを増やしてほしい。
- ・自分にはまだ無縁だと考えていましたが、このアンケートをきっかけに現実問題として考えていかなければならないのだと意識するようになりました。時々、通りすがりに見かけるグループホームや小さな施設は利用されている気配が感じられず、実際に役立っているのかわかりませんでした。各々の利用実態などについての資料も見てみたいと思うようになりました。予算が限られているわけですから、何よりも無駄をなくして、効果的な対応を望んでおります。
- ・介護保険に対してわからない事が多すぎて、何があるのかわからない。わかりやすい説明でくれた説明がほしいと思います。介護の度合で受ける順番や受けなくても良と平等性にかけてと思います。払って少しの制度も受けられないなら（健康で問題なくて）いらないと思います。母も祖母も全く使わなくて亡くなりました。何の為の保険なのか支払ってる人にわかりやすく金額や使い道も含めて教えてもらいたいと思います。

【相談・不安】

- ・やはり経済面が最も不安を感じる。
- ・県外在住の両親を自宅近くで支援検討しているが、相談希望している自立はできているが、80歳共に過ぎていたため見守りが必要な状況、気軽に親の介護について相談できる場所が欲しいです。
- ・結局、貧乏人は十分な保障は受けられない。お金持ちと貧乏人の格差をなくしてほしい。
- ・私は今、フルタイムで朝から晩まで働いていますが、夫と自分の親の介護が必要となったとき、仕事を続けながらそれらもこなせるのか不安。
- ・私たちの年齢が上がり、介護が必要になってくる頃はそういう人が多くなる為、どこまで市からの負担をしてくれるか不安。現在、自分の親は幸い介護は必要なく元気だが、親が介護を必要となった時、市からの援助によってどこまでサービスを受けられるか不安におもう。

【介護保険制度全般】

- ・現在、主人が介護保険を利用しておりますが、有効期限が6ヶ月と短いと思います。他の地域では有効期限が1年と聞きました。何かと手間がかかりますので、有効期限をのばして頂きたいです。6ヶ月では病状などそんなに変わりはありません。ただ、面倒なだけです。
- ・家族だけの介護はとても大変です。地域の方の助けや、専門のヘルパーさんや、老人ホームの方々に助けて頂きました。周りの方々の助けが本当にありがたかったです。介護保険サービスは大変ですが、必要です。できるだけたくさんのサービスが受けられるとうれしいです。

- ・私の父は特養で介護サービスを受けて日々生活しています。(介護度3)、綾瀬市です。私は長男で兄弟はいません。本当は自宅で介護したい気持ちが強いのですが、生活・仕事の都合で別居して週末に特養へ行く生活スタイルです。1～2時間程度ですけど、世間話などするととても和みます。しかし、これが自宅で介護をしていると息が詰まり、ストレスがたまってくるのかもと自分の性格を考えた上で想像をしてしまいます。父との適度の距離を保つことで互いの良好の関係を築けていると考えています。その意味でも介護保険の意義を現役世代の方々にももっと知ってもらい理解してもらいたいと思います。
- ・介護に関わる従業員への国、地域のケアを充実させ(給料、その他の手当を上げるなど)高齢者が十分な介護を受けられる様な環境にしてもらいたい。高齢者への交通手段を充実させてもらいたい。(タクシーなどを自由に利用できるなど)(もちろん必要範囲内で)高齢者(無収入の方)に対する減税などはあるのか知りたい。
- ・誰もが平等にサービスを受けられますように。家族の不安が軽減するような、安心して相談できる場が広くあれば、と思います。(あるかもしれませんが…)

【施設の整備】

- ・特養や老健などの施設を増やし、介護に携わる職員の給料を増やしてほしい。老人が増えて、お世話をする人がいなくなるのは本当に困ると思います。(介護支援)
- ・私は、山梨県から両親をひきとり、2人介護しました。介護保険で使えるものはすべて使いました。自分の親でしたが、とても大変でした。父親は心臓、肺悪く歩行は困難でしたが、頭はしっかりしていたので、意志が通じることは良かったです。父が亡くなり、母と2人になったとき、認知性が、ありましたので、大変で私がうつになりました。主人はいましたが、会社があり、ほとんど2人で過ごしました。特養の施設がどこもいっぱい入れなかったのも、特養の施設をもう少し作ってほしいです。年金で支払いしてましたので、介護の大変さはやってみないと分かりません。想像を越えていましたので。
- ・介護施設に関わる職員のレベル向上、待遇向上。

【介護人材】

- ・両親の介護の経験より、無駄なサービスが多いように感じた。またケアマネジャーの仕事(存在)を疑問に思うことがあった。中途半端な在宅介護より特養を増してもらった方が良いと思う。
- ・高齢者保健福祉の事ですが、私の両親も高齢で、サニープレイスに出向いてこちらから色々聞かないと教えて頂けないのが現状です。聞いても、職員の方や包括センターの方の情報の乏しさ、聞いても分からなくてあっちこっちと回わされました。職員の方々にもっと勉強してもらいたいです。座間は他の市よりも福祉についての認識が遅れている様に思います。

【介護保険料・負担感】

- ・介護は最後の期間がわからないので、金額がどこまでかかるのか不安が常にある。サービスが手厚くなると税金が増えていくので、増税のペースがはやいので、生活の苦しさを感じます。
- ・介護保険がどのように利用されているのか知りたい。介護サービスを受ける高齢者が介護保険を払わなければならない現状に疑問を感じる。

【保健・医療全般】

- ・病院や施設ではなく、最期は住み慣れた自宅で迎えられるような、居宅サービスのしくみ、充実が望ましいです。

【その他】

- ・若い時にどういう生活をして来たかで、年を取ってからは健康面に色々と出て来る様です。自分の好きと思える趣味を持ち、友人を家族を大切に思う事。一人では増々年を取り生きては行けません。感謝の気持ちを持ち、高齢者一人一人の「ありがとう」と思える気持ちを持つ事が出来なければ、行政、医療機関がいくらがんばっても、きびしいと思います。医療機関に勤めていますので、人の振り見て我が振り直せ、考えさせられる事が日々沢山あります。これからも私は健康に気を付けて、生活して行きたいと思います。
- ・20年ほど前に座間に来て、介護をしていたが、その後亡くなったため、最近の介護などのことはわからない。又、自分、家族もまだ介護等を必要としていないので、現段階では将来、どのような介護を必要とするのか答えに困った。
- ・高齢者宅のゴミ出しなどは誰でも手伝える事なので、そう言うお手伝いをしてくれる人を積極的に募ってみるべき。地域の小学生など、もっと高齢者と関われるように、小学生のうちからボランティアに参加させる様にしたら良いと思う。
- ・悪くなりサポートが必要となる前に、元気な人たちへの悪くならない為のサポートが少ないと思う。悪くなってからでは遅いのでより長く元気な生活が送れる様に日頃から運動（体と頭の）など楽しく参加出来る様な体制づくりをした方が良い。
- ・駅から遠い為、バス停も近くにあり、タクシーを呼んでも時間がかかったり、雨の日すぐ来て頂ける高齢者や障害者にもう少し割引いたサービスがあれば使用したいと思う。
- ・病院への送り迎えなどが必要な時どのようにしたら良いのか、たのめる場所や人がいるのかなど必要な情報はどこでえられるか年をとっていると私の母などは知らない。
- ・うちの母は今年76才になります。買い物も徒歩で行くのですが、キャベツ1個持つもの重そうです。高齢者は無料で買った物を届けてくれるサービスがあればいいと思います。介護保険とは違いますが、歩道のコンクリートの穴や段差を直してほしいです。少しの段差でも高齢者にはつんのめって骨折してしまうなど歩いていて心配な場所もよくあります。結局母も段差につまづき右腕を骨折してしまいました。お年寄の方達から困っている事のアンケートをしたら見直すというのが見えてくるのではないのでしょうか。